

令和 4 年 度

# 事業 年 報



公益財団法人 やまがた健康推進機構

## はじめに

平素より、当機構の検(健)診事業に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「令和4年度 事業年報」を発行いたしましたので御高覧いただければ幸甚に存じます。

さて、令和4年度を顧みますと社会的にも新型コロナウイルス感染症への不安が残る中、感染症対策を維持、継続し安全、安心して受診できる環境を整え、各種検(健)診事業に努めてまいりました。

検(健)診事業におきましては、コロナ禍により大幅に減少しました事業収入の確保に向け職員一丸となり取り組んでまいりましたが、特に住民検診では、長引くコロナの影響に加え、人口減少、高齢化等により胃がん検診等に受診離れが見られ、目標としていたコロナ禍前、令和元年度の受診者数を確保する事はできませんでしたが、検(健)診、検査項目においては、人間ドックの新規オプション項目の設定や協会けんぽドックを新設するなど、受診者ニーズに沿った検査項目の充実を図り、受診勧奨に努めてまいりました。

今後とも、当機構の事業推進につきまして、御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年3月

公益財団法人やまがた健康推進機構  
理事長 中目千之

# 目 次

## 各種検(健)診事業

I 各種検(健)診の流れ	2
II 検(健)診委員会	
(1) 消化器検診委員会	6
(2) 呼吸器検診委員会	12
(3) 子宮がん検診委員会	19
(4) 乳がん検診委員会	23
(5) 循環器等健診・人間ドック委員会	30
(6) 超音波検査委員会	35
III 各種検(健)診事業報告	
(1) 胃がん検診	42
(2) 大腸がん検診	46
(3) 子宮頸がん検診	50
(4) 乳がん検診	54
(5) 呼吸器検診(肺がん)	58
(6) 呼吸器検診(結核)	64
(7) 前立腺がん検診	66
(8) 特定健康診査	69
(9) 特定保健指導	73
(10)人間ドック	76
(11)全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	79
(12)一般健康診断	82
(13)特殊健康診断	85
(14)学校検診	86
(15)腹部超音波検査	87
(16)骨粗鬆症検診	92
(17)肝炎ウイルス検査	95
(18)保健指導及び事後管理	98
(19)出前講座	99

## その他の事業

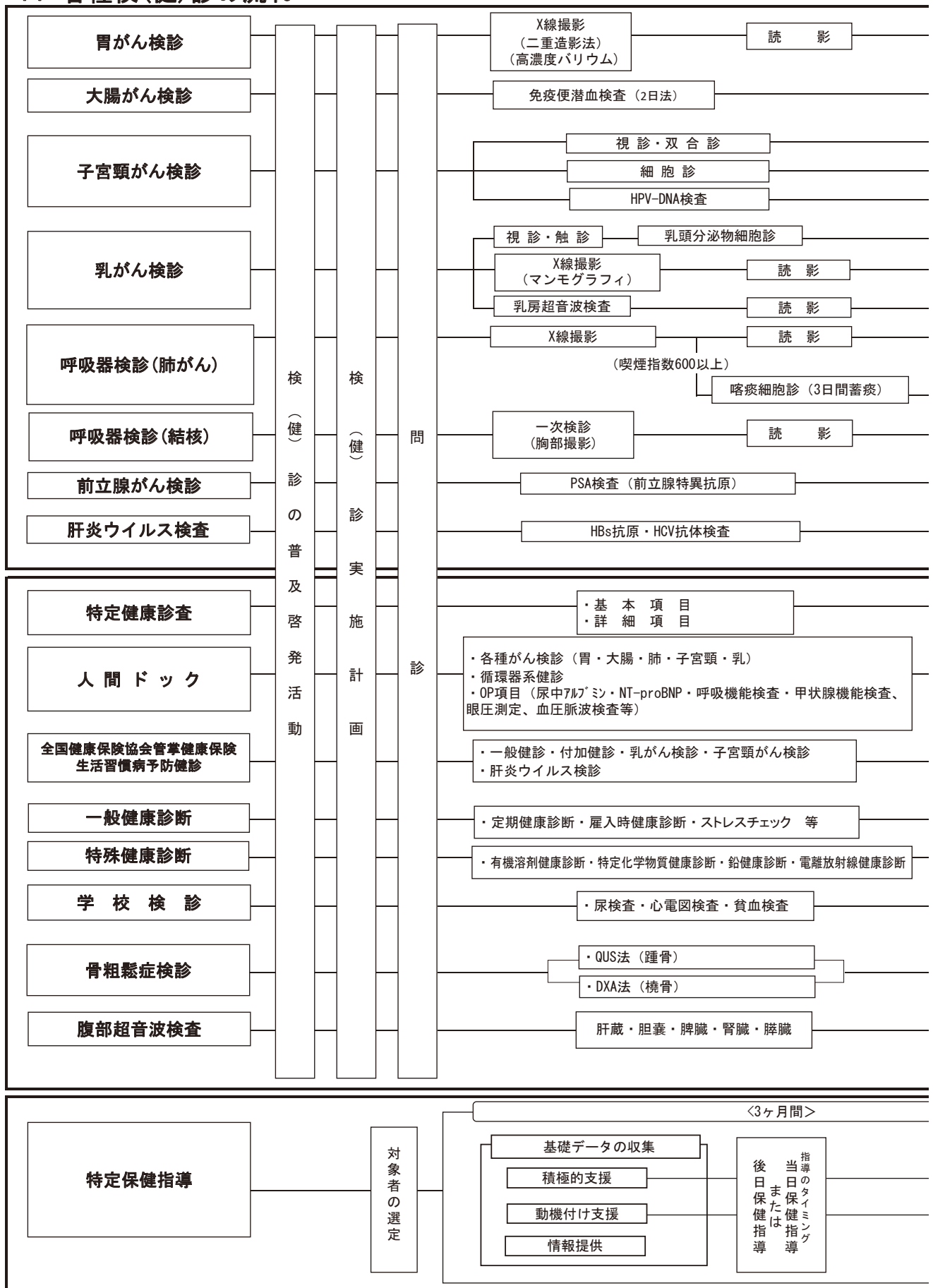
(1) 山形県がん総合相談支援センター事業	102
(2) 若者に対するがん予防支援事業	105

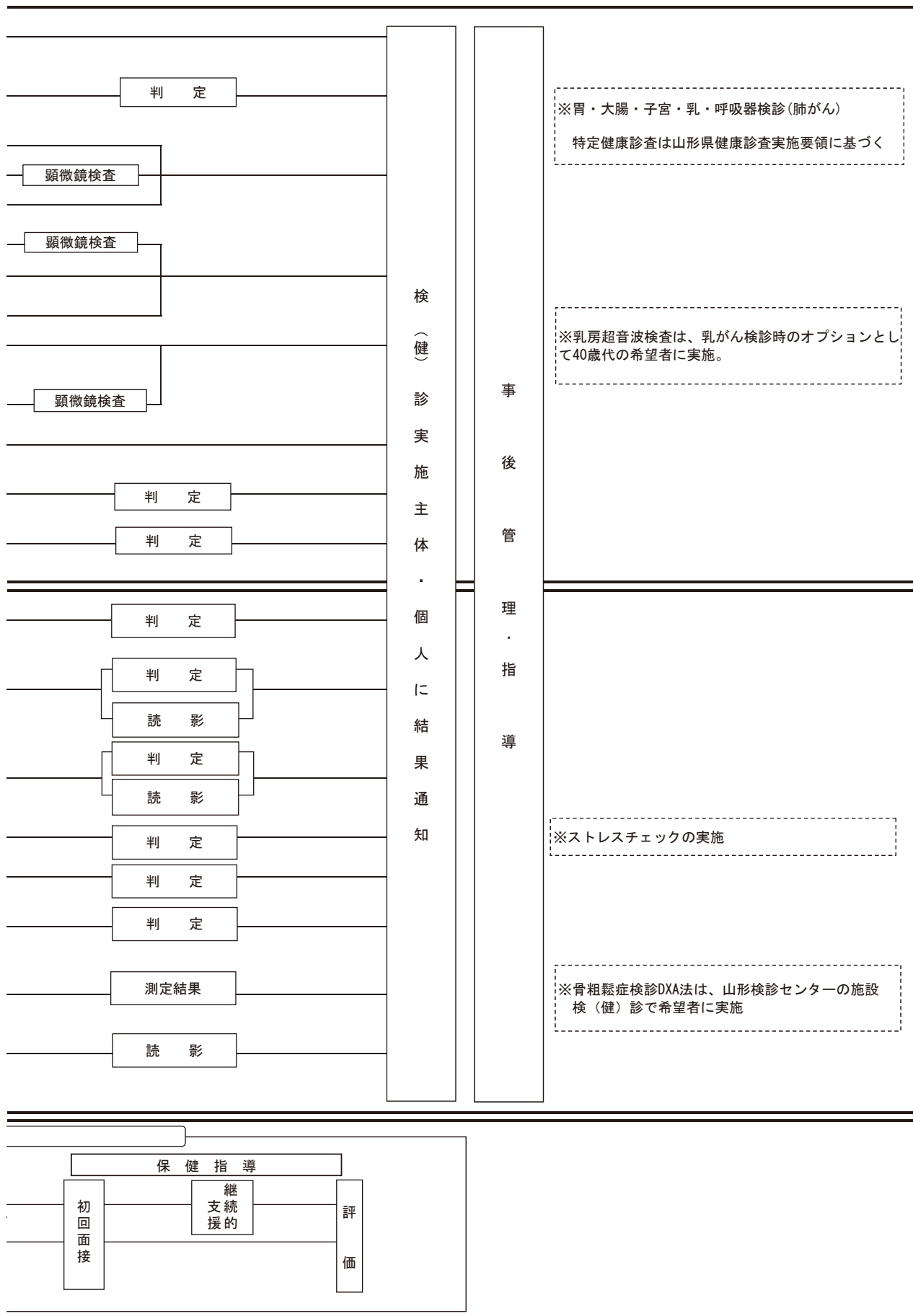
## 論文投稿

若者に対するがん予防支援事業の検討	108
大腸がん検診便潜血検査における2日分検体提出の必要性	109
軽度認知障害スクリーニングの実施成績	110
健診からみた心房細動有病率と治療の状況	113
過去5年間の当機構の超音波検査実施成績	120

# I . 各種検(健)診の流れ

# 1. 各種検(健)診の流れ





## Ⅱ. 検(健)診委員会

## II. 検(健)診委員会

### (1) 消化器検診委員会

#### 1. 事業評価

##### (1) 事業評価のためのチェックリスト等について

今年度のがん検診実施状況について「事業評価のためのチェックリスト」により評価を行った。

胃がん検診については、精度管理の内容を満たしていない項目として、胃部エックス線撮影に携わる技師の専門技師資格取得が進んでいない点と読影判定医の認定医取得が進んでいない点の2点について確認し、専門技師資格取得に関しては、今年度3名の資格取得を予定していることを報告。認定医取得に関しては、各医師会、各読影医へ引き続き依頼していくこととした。

大腸がん検診については、精度管理の内容を満たしていない項目はなく、すべての項目において条件を満たしていることを報告。

##### (2) プロセス指標 (表-1)

プロセス指標による評価では、健康増進法に基づき市町村で実施した令和4年度の地域住民の40歳～74歳までの検診の成績について、センターごとの要精検率、がん発見率等と国で示す事業評価指標の許容値、目標値と比較した成績をまとめ作成した。

令和4年度の胃がん検診の成績について、要精検率では、許容値11.0%以下であり、全体で6.0%と全ての検診センターで基準を満たしている。精検受診率では、全体で82.2%とこちらも全検診センターで許容値70%以上を満たしている。がん発見率では、許容値が0.11%以上と設定されているが、全体で0.08%と全センターで基準値を下回っていた。陽性反応適中度では、許容値1.0%以上と設定されており、全体で1.32%と基準を満たしており、全センターで許容値を上回る結果であった。

同様に大腸がん検診の成績について、要精検率では、許容値7.0%以下であり、全体で4.9%と全ての検診センターで基準を満たしている。精検受診率では、全体で75.5%と全センターで許容値70%以上を満たしている。がん発見率では、許容値が0.13%以上と設定されており、全体では0.15%と許容値を満たしているが、南陽検診センターで0.08%、最上検診センターが0.12%で許容値を満たしていない。陽性反応適中度では、許容値が1.9%以上と設定されており、全体で3.14%と許容値を満たしているが、南陽検診センターで1.84%と許容値を満たしていなかった。

表-1 プロセス指標

#### 胃がん検診 地域住民検診:40歳～74歳

##### <要精検率>

許容値:11.0%以下

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	7.7%	7.1%	6.7%	5.6%	5.3%
庄内	5.7%	5.6%	5.3%	5.1%	4.9%
最上	8.2%	8.2%	8.6%	7.6%	7.7%
米沢	9.9%	8.8%	7.6%	7.9%	8.1%
南陽	5.0%	7.1%	6.1%	5.8%	7.1%
合計	7.0%	7.0%	6.6%	6.0%	6.0%

##### <精検受診率>

許容値:70%以上 目標値:90%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	85.2%	81.1%	79.9%	84.5%	78.9%
庄内	84.5%	82.7%	86.5%	79.7%	81.3%
最上	85.5%	88.7%	85.6%	80.0%	83.2%
米沢	86.4%	84.9%	86.0%	86.8%	86.3%
南陽	81.1%	79.4%	79.1%	78.0%	84.9%
合計	84.8%	82.8%	82.7%	81.8%	82.2%



### <がん発見率>

許容値:0.11%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	0.10%	0.13%	0.05%	0.09%	0.07%
庄内	0.08%	0.09%	0.06%	0.11%	0.09%
最上	0.06%	0.12%	0.06%	0.04%	0.09%
米沢	0.18%	0.20%	0.21%	0.00%	0.09%
南陽	0.10%	0.05%	0.09%	0.07%	0.08%
合計	0.09%	0.11%	0.08%	0.08%	0.08%

### <陽性反応適中度>

許容値:1.0%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	1.25%	1.76%	0.82%	1.56%	1.24%
庄内	1.31%	1.69%	1.18%	2.21%	1.92%
最上	0.70%	1.51%	0.75%	0.58%	1.20%
米沢	1.84%	2.28%	2.79%	0.00%	1.09%
南陽	2.02%	0.74%	1.45%	1.24%	1.06%
合計	1.32%	1.58%	1.15%	1.31%	1.32%

### 大腸がん検診 地域住民検診:40歳~74歳

#### <要精検率>

許容値:7.0%以下

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	4.9%	5.2%	5.4%	4.8%	4.6%
庄内	5.5%	6.1%	6.0%	5.5%	5.3%
最上	6.2%	6.6%	6.0%	5.9%	5.6%
米沢	5.1%	6.2%	5.1%	5.5%	4.0%
南陽	5.5%	5.5%	6.0%	5.0%	4.6%
合計	5.4%	5.8%	5.7%	5.2%	4.9%

#### <精検受診率>

許容値:70%以上 目標値:90%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	78.0%	78.5%	70.5%	72.7%	76.0%
庄内	74.7%	75.2%	77.7%	74.6%	72.0%
最上	80.2%	81.1%	77.7%	73.7%	80.1%
米沢	78.3%	75.3%	71.2%	69.4%	73.8%
南陽	77.6%	76.1%	76.5%	70.9%	76.4%
合計	77.4%	77.4%	74.7%	72.8%	75.5%

### <がん発見率>

許容値:0.13%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	0.16%	0.20%	0.16%	0.16%	0.17%
庄内	0.11%	0.22%	0.12%	0.15%	0.20%
最上	0.19%	0.16%	0.24%	0.19%	0.12%
米沢	0.23%	0.18%	0.21%	0.30%	0.14%
南陽	0.11%	0.11%	0.14%	0.12%	0.08%
合計	0.15%	0.18%	0.16%	0.16%	0.15%

### <陽性反応適中度>

許容値:1.9%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	3.33%	3.87%	2.98%	3.31%	3.59%
庄内	1.95%	3.55%	2.08%	2.68%	3.87%
最上	3.09%	2.41%	3.98%	3.26%	2.23%
米沢	4.43%	2.83%	4.19%	5.56%	3.36%
南陽	2.07%	2.07%	2.33%	2.29%	1.84%
合計	2.78%	3.17%	2.86%	3.15%	3.14%

## 2. 検診成績

### (1) 令和4年度の実施状況:胃がん検診 (表-2)

令和4年度の受診者数は地域住民 38,878 人、職域職員 48,250 人、の合計 87,128 人であった。要精検者数は 5,103 人で要精検率は 5.9%であった。精検受診者数は 4,020 人で精検受診率は 78.8%であった。精密検査結果の内訳は、胃がん确诊が 57 人、胃がん疑いが 18 人、その他疾患(延べ数)が 3,383 人で、がん発見率は 0.07%、陽性反応適中度は 1.12%であった。

(2) 令和4年度の実施状況:大腸がん検診(表-3)

令和4年度の受診者数は地域住民 68,449 人、職域職員 61,768 人、の合計 130,217 人であった。要精検者数は 6,348 人で要精検率は 4.9%であった。精検受診者数は 4,618 人で精検受診率は 72.7%であった。精密検査結果の内訳は、大腸がん確診が 168 人、大腸がん疑いが 29 人、その他疾患(延べ数)が 2,999 人で、がん発見率は 0.13%、陽性反応適中度は 2.65%であった。

表-2 胃がん検診実施状況(地域住民+職域職員)

年齢別	受診者数	異常なし	精検 不要	要精検者数		精密検査結果						胃がん確診	
				人員	率	精検受診者	同左率	異常なし	胃がん確診	胃がん疑	その他 (延数)	陽性反応適中度	がん発見率
40歳未満	5,902	3,924	1,767	211	3.6	146	69.2	58	0	0	94	0.00	0.00
40~74歳	72,576	34,554	33,872	4,150	5.7	3,233	77.9	783	34	13	2,702	0.82	0.05
75歳以上	8,650	2,389	5,519	742	8.6	641	86.4	105	23	5	587	3.10	0.27
計	87,128	40,867	41,158	5,103	5.9	4,020	78.8	946	57	18	3,383	1.12	0.07

表-3 大腸がん検診実施状況(地域住民+職域職員)

年齢別	受診者数	便潜血陰性	要精検者数		精密検査結果						大腸がん確診	
			人員	率	精検受診者	同左率	異常なし	大腸がん確診	大腸がん疑	その他(延数)	陽性反応適中度	がん発見率
40歳未満	7,518	7,246	272	3.6	169	62.1	111	2	0	57	0.74	0.03
40~74歳	103,350	98,801	4,549	4.4	3,255	71.6	1,124	123	18	2,081	2.70	0.12
75歳以上	19,349	17,822	1,527	7.9	1,194	78.2	308	43	11	861	2.82	0.22
計	130,217	123,869	6,348	4.9	4,618	72.7	1,543	168	29	2,999	2.65	0.13

### 3. 胃がんリスク評価実施成績(表-4)

令和4年度の胃がんリスク評価受診者数は1,712人で、全体の要精検率は12.3%となった。  
がん発見者(疑い含)は1人であった。

表-4 胃がんリスク評価実施成績

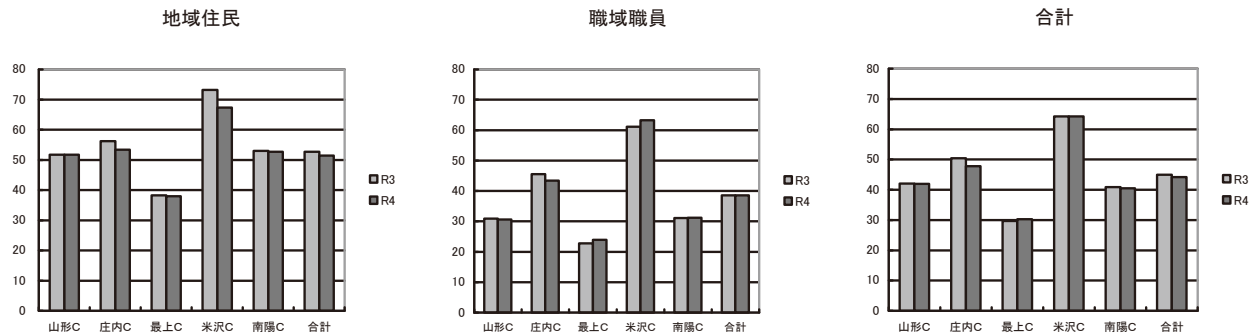
市町村	受診者数	胃がんリスク評価結果					精検 受診者数	精検受診率	胃がんリスク評価 精密検査結果			
		A群	B群	C群	D群	E群			異常なし	がん(疑い含)	その他疾患	
山形	山形市	101	68	16	15	2	0	25	75.8%	3	1	21
	上山市	39	19	7	13	0	0	0	0.0%	0	0	0
	天童市	125	92	20	10	3	0	3	100.0%	0	0	3
	山辺町	19	14	1	4	0	0	0	0.0%	0	0	0
	村山市	16	10	1	5	0	0	0	0.0%	0	0	0
	東根市	84	63	16	5	0	0	0	0.0%	0	0	0
	大石田町	4	3	0	0	1	0	1	100.0%	0	0	1
庄内	酒田市	158	105	26	22	5	0	38	71.7%	3	0	35
	庄内町	4	2	2	0	0	0	1	50.0%	0	0	1
最上	新庄市	110	65	21	22	1	1	34	77.3%	6	0	28
	金山町	20	13	2	5	0	0	6	85.7%	1	0	5
	最上町	14	12	2	0	0	0	1	50.0%	0	0	1
	舟形町	32	19	8	5	0	0	10	76.9%	2	0	8
	真室川町	32	16	7	7	2	0	10	62.5%	2	0	8
	大蔵村	47	34	5	7	0	1	8	66.7%	0	0	8
	鮭川村	15	5	4	6	0	0	10	100.0%	2	0	8
	戸沢村	13	5	5	3	0	0	4	50.0%	1	0	3
米沢	米沢市	88	57	13	18	0	0	0	0.0%	0	0	0
南陽	南陽市	40	25	7	7	0	1	0	0.0%	0	0	0
	長井市	63	38	11	11	2	1	0	0.0%	0	0	0
	川西町	27	17	6	3	1	0	0	0.0%	0	0	0
	白鷹町	5	4	1	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
	飯豊町	14	9	2	2	1	0	1	100.0%	0	0	0
	小国町	3	2	1	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
	事業所	639	507	87	41	2	2	0	0.0%	0	0	0
	計	1,712	1,204	271	211	20	6	152	72.4%	20	1	130

#### 4. 胃がん検診における読影判定区分(慢性胃炎)判定状況(表-5)

令和4年度胃がん検診受診者数は、地域住民 38,882 人、職域職員 48,246 人、合計 87,128 人で令和3年度より減少している。慢性胃炎の判定は、令和4年度地域住民 19,992 人、職域職員 18,559 人、合計 38,551 人で令和3年度よりも減少しており、判定率は米沢検診センターで 64.2%と高く、最上検診センターで 30.3%と低い結果となった。

表-5 胃がん検診における読影判定区分(慢性胃炎)判定状況

区分		受診者 A	精検不要					要精検者数			
			1	2			3a	3b	4	5	
				慢性胃炎 B	判定率 B/A	その他					合計
山形 センター	地域住民	14,286	5,916	7,379	51.7%	151	7,530	37	789	12	2
	職域職員	12,302	7,823	3,768	30.6%	195	3,963	15	499	1	1
	計	26,588	13,739	11,147	41.9%	346	11,493	52	1,288	13	3
庄内 センター	地域住民	9,488	3,687	5,071	53.4%	222	5,293	248	258	2	0
	職域職員	12,053	5,913	5,228	43.4%	418	5,646	275	216	2	1
	計	21,541	9,600	10,299	47.8%	640	10,939	523	474	4	1
最上 センター	地域住民	5,500	2,835	2,091	38.0%	131	2,222	64	379	0	0
	職域職員	6,757	4,514	1,618	23.9%	190	1,808	57	378	0	0
	計	12,257	7,349	3,709	30.3%	321	4,030	121	757	0	0
米沢 センター	地域住民	2,682	595	1,804	67.3%	47	1,851	9	225	2	0
	職域職員	8,128	2,306	5,134	63.2%	133	5,267	3	552	0	0
	計	10,810	2,901	6,938	64.2%	180	7,118	12	777	2	0
南陽 センター	地域住民	6,926	2,394	3,647	52.7%	360	4,007	430	84	5	5
	職域職員	9,006	4,884	2,811	31.2%	754	3,565	488	61	2	1
	計	15,932	7,278	6,458	40.5%	1,114	7,572	918	145	7	6
合計	地域住民	38,882	15,427	19,992	51.4%	911	20,903	788	1,735	21	7
	職域職員	48,246	25,440	18,559	38.5%	1,690	20,249	838	1,706	5	3
	計	87,128	40,867	38,551	44.2%	2,601	41,152	1,626	3,441	26	10



## 5. 今後の課題

- ・事業評価のためのチェックリスト項目達成に向けた、胃がん検診専門技師認定資格取得及び認定医師の確保。
- ・慢性胃炎チェックのセンター間のバラツキの整理
- ・ピロリ菌除菌後の受診者の読影での判定の仕方及び読影の精度管理

## (2) 呼吸器検診委員会

### 1. 事業評価

#### (1) プロセス指標（表-1）

プロセス指標による評価では、健康増進法に基づき市町村で実施した令和4年度の地域住民の40歳～74歳までの検診の成績について、センターごとの要精検率、がん発見率等を国で示す事業評価指標の許容値、目標値と比較し成績として作成した。

令和4年度の地域住民の成績について、要精検率は全センター許容値を満たしている。精検受診率は全センターで許容値を満たしているが、目標値には届いていない。がん発見率と陽性反応適中度では米沢と南陽で許容値以下となった。

表-1 プロセス指標

地域住民健診：40歳～74歳

【要精検率】許容値：3.0%以下

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	2.6%	2.2%	2.1%	1.6%	1.7%
庄内	2.9%	3.7%	3.1%	2.7%	2.1%
最上	2.7%	2.8%	3.1%	2.8%	2.9%
米沢	2.0%	2.4%	2.3%	1.8%	1.9%
南陽	2.2%	2.3%	2.1%	1.6%	2.1%
合計	2.6%	2.7%	2.5%	2.1%	2.1%

【精検受診率】許容値：70%以上 目標値：90%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	85.7%	85.1%	87.4%	82.7%	84.1%
庄内	88.4%	85.3%	88.3%	79.4%	85.6%
最上	82.8%	83.7%	80.0%	84.7%	84.3%
米沢	94.7%	83.9%	100.0%	85.5%	85.5%
南陽	89.0%	86.1%	85.2%	84.2%	88.4%
合計	89.0%	87.0%	86.7%	82.4%	85.3%

【がん発見率】許容値：0.03%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	0.04%	0.02%	0.04%	0.03%	0.03%
庄内	0.04%	0.05%	0.07%	0.01%	0.03%
最上	0.10%	0.02%	0.05%	0.05%	0.04%
米沢	0.05%	0.00%	0.06%	0.00%	0.00%
南陽	0.02%	0.00%	0.03%	0.03%	0.01%
合計	0.05%	0.02%	0.05%	0.03%	0.03%

【陽性反応適中度】許容値：1.3%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	1.37%	0.69%	2.06%	2.00%	1.87%
庄内	1.33%	1.42%	2.26%	0.25%	1.37%
最上	3.78%	0.84%	1.54%	1.69%	1.31%
米沢	2.67%	0.00%	2.41%	0.00%	0.00%
南陽	1.00%	0.00%	1.59%	2.05%	0.55%
合計	1.76%	0.84%	1.98%	1.22%	1.28%

## 2. 検診成績

### (1) 年次別実施状況(年度別実施状況)

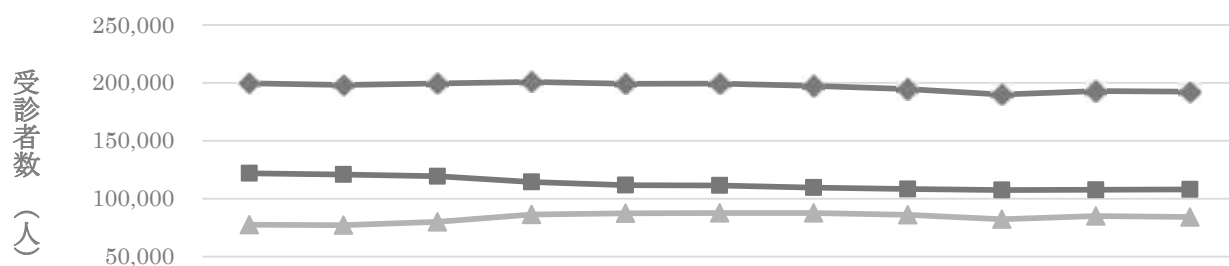
平成24年度からの当機構全体の合計数は、全12区分に分類して集計を行っており、①～④は地域住民健診で肺がん検診と結核検診に分類、⑤は大学や高校の学生、⑥は①～⑤に分類できないもの、⑦～⑪は職域健診に分類できないもの、右の表は喀痰細胞診検査の数を掲載している。

対象区分	胸部X線検査										喀痰細胞診検査			合計		
	肺がん検診 ①(住)	肺がん検診 ②(住)	胸部X線検査 ③(住)	結核検診 ④(住)	結核検診 ⑤(学) 大学高校 高専専修 等	①～⑤ 以外	結核検診 ⑦(職)	定期検診 ⑧(職)	肺がん検診 ⑨(職)	定期検診 ⑩(職)	⑦～⑩ 以外	合計	肺がん検診 ① ②(住)		肺がん検診 ⑨(職)	肺がん検診 以外 ⑫
													高危険群に 対し施行		高危険群 以外に施行 等	合計
対象年齢	40～64	65～	40～64	65～			～39	40～	40～				40～	40～		
平成24年度	31,384	37,145	2	7,656	18,381	6,172	32,166	9,127	55,445	2,140	199,618	1,035	752	1,370	3,157	
平成25年度	30,294	38,853	3	7,159	17,462	6,395	36,428	8,073	51,819	1,619	198,105	1,113	702	1,282	3,097	
平成26年度	28,376	43,655	4	5,230	11,501	8,350	38,986	8,023	53,228	2,075	199,428	923	630	1,336	2,889	
平成27年度	26,784	51,595	0	1,690	11,499	8,840	35,976	8,009	55,023	1,439	200,855	896	611	609	2,116	
平成28年度	24,844	54,575	0	1,071	10,779	6,937	35,158	8,041	55,633	2,165	199,203	925	542	1,615	3,082	
平成29年度	23,182	56,080	0	284	10,735	587	42,068	8,517	56,388	1,402	199,243	954	539	447	1,940	
平成30年度	21,736	56,804	0	213	10,453	1,177	40,071	9,199	56,855	842	197,350	842	486	0	1,328	
令和元年度	20,644	57,189	14	145	10,937	5,507	33,562	8,290	57,968	258	194,514	716	442	0	1,158	
令和2年度	18,896	54,902	0	152	10,602	5,434	33,212	8,525	57,963	226	189,912	635	520	181	1,336	
令和3年度	19,124	57,369	0	100	10,105	5,334	33,028	8,541	58,781	403	192,885	624	534	678	1,836	
令和4年度	18,115	57,345	0	80	8,861	446	39,026	8,764	59,493	161	192,291	509	478	882	1,869	

呼吸器検診の受診者数は、結核予防法の一部改正及び特定医療保険改正後の平成24年度以降は概ね200,000人前後で推移しているが、徐々に減少傾向にある。平成29年度、各市町村では結核検診から肺がん検診に移行したことに伴い、一部の地域を除き地域住民健診の大半が肺がん検診を受診している。

令和元年度、2年度は新型コロナウイルス感染症まん延により、受診者数減少が見られたが、令和3年度、4年度は受診者増加となっている。

### 呼吸器検診 実施状況 年次推移



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
◆ 全体	199,618	198,105	199,428	200,855	199,203	199,243	197,350	194,514	189,912	192,885	192,291
■ 結核検診	121,962	120,885	119,374	114,467	111,743	111,464	109,611	108,391	107,589	107,751	108,067
▲ 肺がん検診	77,656	77,220	80,054	86,388	87,460	87,779	87,739	86,123	82,323	85,132	84,224



(2)令和2年度～令和4年度 呼吸器検診読影状況(地区医師会呼吸器検診委員会別)

当機構では、各地区医師会に読影を依頼している。令和4年度は、合計192,291件の読影を依頼し、要精検者数は5,067人、要精検率は2.6%であった。要精検率について、令和2年度から減少している。検診日から読影終了までの日数が令和4年度は4日増となった。

地区医師会名	読影委員数 (人)	読影総数 胸部X線 (枚)	委員1名当 り読影数 (枚)	要精検E 判定者数 (人)	要精検E 率 (%)	要精検D 判定者数 (人)	要精検D 率 (%)	要精検 判定者数 (人)	要精検 率 (%)	検診日～ 読影依頼		読影依頼～ 読影終了		検診日～ 読影終了		
										平均 (日)	最長 (日)	平均 (日)	最長 (日)	平均 (日)	最長 (日)	
令和2年度	山形市	19	4,246	447	96	2.3	193	4.5	289	6.8	6.4	13	2.4	8	7.9	14
	天童・東村山	4	6,145	3,073	98	1.6	47	0.8	145	2.4	6.5	31	5.3	16	11.1	20
	上山市	4	12,149	6,075	240	2.0	256	2.1	496	4.1	9.8	28	2.6	16	11.5	32
	北村山地区	6	8,826	2,942	107	1.2	125	1.4	232	2.6	11.2	27	1.4	10	11.6	27
	新庄・最上	7	25,672	7,335	691	2.7	404	1.6	1,095	4.3	6.2	18	3.6	15	8.8	27
	酒田地区	11	46,364	8,430	1,204	2.6	272	0.6	1,476	3.2	4.4	20	1.8	7	5.2	22
	南陽・東置賜	7	16,206	4,630	410	2.5	156	1.0	566	3.5	6.2	16	6.0	6	6.4	16
	長井・西置賜	5	12,657	5,063	117	0.9	84	0.7	201	1.6	6.8	15	1.5	9	7.3	15
	米沢市	9	21,774	4,839	300	1.4	101	0.5	401	1.8	5.3	20	1.8	9	6.0	21
	その他	5	35,873	14,349	439	1.2	669	1.9	1,108	3.1	5.5	15	2.3	13	6.8	15
合計	77	189,912	—	3,702	1.9	2,307	1.2	6,009	3.2	—	31	—	16	—	32	
令和3年度	山形市	19	5,224	550	84	1.6	183	3.5	267	5.1	5.5	10	2.1	7	6.6	12
	天童・東村山	5	9,119	3,648	111	1.2	120	1.3	231	2.5	5.5	12	2.5	7	7.0	14
	上山市	3	6,327	4,218	56	0.9	69	1.1	125	2.0	4.8	15	2.2	5	6.1	15
	北村山地区	6	7,138	2,379	80	1.1	71	1.0	151	2.1	5.4	14	1.0	1	5.4	14
	新庄・最上	7	26,064	7,447	692	2.7	260	1.0	952	3.7	3.0	10	5.5	13	7.6	14
	酒田地区	13	46,722	7,188	1,076	2.3	272	0.6	1,348	2.9	3.0	13	1.6	6	3.6	15
	南陽・東置賜	7	17,528	5,008	333	1.9	127	0.7	460	2.6	3.6	14	1.1	6	4.0	14
	長井・西置賜	5	12,246	4,898	142	1.2	85	0.7	227	1.9	6.2	14	1.6	1	7.0	14
	米沢市	9	22,475	4,994	355	1.6	83	0.4	438	1.9	6.5	13	1.5	3	7.0	14
	その他	5	40,042	16,017	466	1.2	750	1.9	1,216	3.0	5.8	14	2.0	7	6.9	15
合計	79	192,885	—	3,395	1.8	2,020	1.0	5,415	2.8	—	15	—	13	—	15	
令和4年度	山形市	19	5,456	574	92	1.7	194	3.6	286	5.2	5.8	13	2.5	7	7.3	14
	天童・東村山	5	10,721	4,288	142	1.3	110	1.0	252	2.4	6.5	15	2.3	6	7.8	15
	上山市	3	5,370	3,580	50	0.9	45	0.8	95	1.8	6.2	16	2.2	6	7.4	16
	北村山地区	5	7,492	2,997	122	1.6	136	1.8	258	3.4	6.1	15	1.0	1	6.1	15
	新庄・最上	7	25,875	7,393	620	2.4	256	1.0	876	3.4	2.8	9	5.8	14	7.6	15
	酒田地区	13	46,752	7,193	879	1.9	290	0.6	1,169	2.5	2.8	10	1.5	8	3.3	10
	南陽・東置賜	7	17,310	4,946	386	2.2	171	1.0	557	3.2	3.2	14	1.0	8	3.3	14
	長井・西置賜	5	12,176	4,870	141	1.2	44	0.4	185	1.5	5.8	15	1.4	8	6.1	15
	米沢市	9	22,498	5,000	243	1.1	102	0.5	345	1.5	7.0	13	2.0	6	7.5	13
	その他	5	38,641	15,456	424	1.1	620	1.6	1,044	2.7	5.6	16	2.3	8	5.9	19
合計	78	192,291	—	3,099	1.6	1,968	1.0	5,067	2.6	—	16	—	14	—	19	

(3) 実施成績

40歳以上の地域住民の検診では、肺がん検診75,460人、結核検診80人と肺がん検診の受診割合が多かった。肺がん検診では、E判定からの要精検者数1,951人、精検受診率85.3%で肺がん発見数は31人、陽性応適中度1.59%、がん発見率は0.04%であった。D判定からの肺がん発見数は1名であった。

「地域住民」健診(40歳以上)

		1次検診							要精検者数 D+E	要精検率 (%)
		X線検査 受診者数	A	B	C	D	E			
			読影不能	異常所見 認めない	異常認めるが 精検不要	肺がん以外の 疾患の精査	肺がんに 対する精査			
肺がん検診	山形	26,343		22,169	2,762	860	552	1,412	5.4	
	庄内	20,418		17,890	1,737	212	579	791	3.9	
	最上	12,007		11,246	183	159	419	578	4.8	
	米沢	4,428		4,028	265	48	87	135	3.0	
	南陽	12,264		10,965	847	138	314	452	3.7	
	合計	75,460	0	66,298	5,794	1,417	1,951	3,368	4.5	
結核検診	山形	80		64	11	3	2	5	6.3	
	庄内									
	最上									
	米沢									
	南陽									
	合計	80	0	64	11	3	2	5	6.3	
地域住民健診合計		75,540	0	66,362	5,805	1,420	1,953	3,373	4.5	

		精密検査										陽性反応適中度 (肺癌) 4)/E	肺癌発見率 (%) 4)/a	
		D判定に対する 精検受診者数	精検受診率 (%)	精検確定結果 (回報書による)		陽性反応適中度 (結核) 2)/D1	結核発見率 (%) 2)/a	E判定に対する 精検受診者数	精検受診率 (%)	精検確定結果 (回報書による)				
				1)	2)					3)	4)			5)
				原発性肺がん 確診者数	肺結核 確診者数					精検完了者数	原発性肺癌 確診者数			肺結核 確診者数
肺がん検診	山形	708	82.3					467	84.6	446	13		2.36	0.05
	庄内	174	82.1					492	85.0	487	9		1.55	0.04
	最上	118	74.2					360	85.9	347	7		1.67	0.06
	米沢	39	81.3					76	87.4	74			0.00	0.00
	南陽	115	83.3	1				270	86.0	259	2		0.64	0.02
	合計	1,154	81.4	1	0	0	0	1,665	85.3	1,613	31	0	1.59	0.04
結核検診	山形	3	100					1	50.0	1				
	庄内													
	最上													
	米沢													
	南陽													
	合計	3	100	0	0	0	0	1	50.0	1	0	0	0	0
地域住民健診合計		1,157	81.5	1	0	0	0	1,666	85.3	1,614	31	0	1.59	0.04

「職域職員」健診(40歳以上)

		1次検診							要精検者数 D+E	要精検率 (%)
		X線検査 受診者数	A	B	C	D	E			
			読影不能	異常所見 認めない	異常認めるが 精検不要	肺がん以外 の疾患の精査	肺がん に対する精査			
肺がん検診	山形	3,784		3,459	237	31	57	88	2.3	
	庄内	1,561		1,471	59	6	25	31	2.0	
	最上	835		804	5	9	17	26	3.1	
	米沢	1,570		1,490	64	4	12	16	1.0	
	南陽	1,014		942	55	4	13	17	1.7	
	合計	8,764	0	8,166	420	54	124	178	2.0	
(定期検診 (結核))	山形	15,192		13,800	1,040	170	182	352	2.3	
	庄内	15,586		14,563	712	66	245	311	2.0	
	最上	8,578		8,280	66	69	163	232	2.7	
	米沢	9,430		8,786	474	45	125	170	1.8	
	南陽	10,707		9,936	526	61	184	245	2.3	
	合計	59,493	0	55,365	2,818	411	899	1,310	2.2	
職域健診合計		68,257	0	63,531	3,238	465	1,023	1,488	2.2	

		精密検査												
		D判定に対する 精検受診者数	精検受診率 (%)	精検確定結果 (回報書による)		陽性反応適中度 (結核) 2)/D1	結核発見率 (%) 2)/a	E判定に対する 精検受診者数	精検受診率 (%)	精検確定結果 (回報書による)			陽性反応適中度 (肺癌) 4)/E	肺癌発見率 (%) 4)/a
				1)	2)					3)	4)	5)		
				原発性肺がん 確認者数	肺結核 確認者数					精検完了者数	原発性肺癌 確認者数	肺結核 確認者数		
肺がん検診	山形	26	83.9					52	91.2	52	1		1.75	0.03
	庄内	4	66.7	1				22	88.0	20				
	最上	7	77.8					15	88.2	15				
	米沢	2	50.0					12	100.0	12				
	南陽	3	75.0					9	69.2	9	1		7.69	0.10
	合計	42	77.8	1	0	0.00	0.00	110	88.7	108	2	0	1.61	0.02
(定期健診 (結核))	山形	115	67.6		1	0.59	0.01	131	72.0	128	1		0.55	0.01
	庄内	49	74.2					186	75.9	182				
	最上	54	78.3					136	83.4	134	3		1.84	0.03
	米沢	28	62.2					88	70.4	88	3		2.40	0.03
	南陽	37	60.7					147	79.9	143	1		0.54	0.01
	合計	283	68.9	0	1	0.24	0.002	688	76.5	675	8		0.89	0.01
職域健診合計		325	69.9	1	1	0.22	0.001	798	78.0	783	10	0	0.98	0.01

(4) 喀痰細胞診検査成績表

高危険群所属者の割合は、令和4年度において15%と過去3年間ほぼ変化は見られなかった。喀痰検査提出者数は2,027件、要精検者は3人、要精検率は0.15%、精検受診率は100%であった。職域職員より1名の原発性がんが発見された。胸部X線では異常なしであった。

		肺がん検診受診者数	1次検査											精密検査			
			喀痰検査(高危険群)			喀痰検査(全体)		喀痰細胞診の判定基準と指導区分					要精密検査者率(%)	DE判定に対する精検受診者数(率)	精検結果 1)	陽性反応適中度(肺癌)	肺がん発見率
			所属者数(率)	受診者数(率)	提出者数(率)	受診者数	提出者数(率)	A	B	C	D	E					
								認めない	組織球を 正常上皮細胞 主に	中等度異型細胞	悪性腫瘍細胞の疑	悪性細胞を認める					
令和2年度	地域住民	73,798	11,375 (15)	691 (6)	635 (92)	813	748 (92)	2	740	1	3	2	5 (0.67)	5 (100)	1	20	0.12
	職域職員	8,525	1,101 (13)	550 (50)	520 (95)	1,603	1,419 (89)	20	1,393	6							
	合計	82,323	12,476 (15)	1,241 (10)	1,155 (93)	2,416	2,167 (90)	22	2,133	7	3	2	5 (0.23)	5 (100)	1	20	0.04
令和3年度	地域住民	76,493	11,749 (15)	669 (6)	624 (93)	832	780 (94)	1	776	2	1		1 (0.13)			0.00	0.00
	職域職員	8,641	1,127 (13)	559 (50)	534 (96)	1,681	1,498 (89)	10	1,486	1		1	1 (0.07)	1 (100)	1	100.0	0.06
	合計	85,134	12,876 (15)	1,228 (10)	1,158 (94)	2,513	2,278 (91)	11	2,262	3	1	1	2 (0.09)	1 (50)	1	50.0	0.04
令和4年度	地域住民	75,460	11,729 (16)	536 (5)	509 (95)	658	623 (95)	5	615	2	1		1 (0.16)	1 (100)		0.00	0.00
	職域職員	8,764	1,058 (12)	506 (48)	478 (94)	1,614	1,404 (87)	27	1,369	6	2		2 (0.14)	2 (100)	1	50.0	0.06
	合計	84,224	12,787 (15)	1,042 (8)	987 (95)	2,272	2,027 (89)	32	1,984	8	3		3 (0.15)	3 (100)	1	33.3	0.04

### (3)子宮がん検診委員会

#### 1.事業評価

##### 1) プロセス指標 (表-1)

令和4年度子宮がん検診実施状況について、国が示す事業評価指標の許容値及び目標値を各検診センター別に比較した。

令和4年度の地域住民の成績は、全体の要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度の全てにおいて許容値を満たしていた。

表-1 プロセス指標 地域住民検診:20歳~74歳

【要精検率】許容値:1.4%以下						【精検受診率】許容値:70%以上 目標値:90%以上					
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	0.8%	0.7%	0.9%	1.0%	0.8%	山形	81.1%	72.7%	83.3%	83.6%	70.5%
庄内	0.6%	0.8%	0.9%	0.6%	0.7%	庄内	78.1%	86.4%	90.7%	93.3%	94.3%
最上	0.8%	1.2%	1.0%	0.9%	0.9%	最上	95.7%	85.2%	93.9%	88.9%	91.7%
米沢	1.0%	0.4%	0.9%	0.7%	0.7%	米沢	90.0%	75.0%	82.4%	83.3%	75.0%
南陽	0.8%	0.8%	1.0%	1.1%	1.0%	南陽	90.9%	78.1%	77.8%	86.4%	73.0%
合計	0.7%	0.8%	0.9%	0.9%	0.8%	合計	85.7%	80.0%	85.6%	86.5%	80.3%
【がん発見率】許容値:0.05%以上						【陽性反応適中度】許容値:4.0%以上					
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	0.07%	0.01%	0.08%	0.02%	0.04%	山形	9.43%	2.27%	9.09%	1.49%	4.55%
庄内	0.10%	0.07%	0.05%	0.04%	0.08%	庄内	18.75%	9.09%	5.56%	6.67%	11.43%
最上	0.07%	0.00%	0.16%	0.05%	0.00%	最上	8.70%	0.00%	15.15%	5.56%	0.00%
米沢	0.10%	0.00%	0.06%	0.00%	0.00%	米沢	10.00%	0.00%	5.88%	0.00%	0.00%
南陽	0.12%	0.02%	0.04%	0.05%	0.08%	南陽	15.15%	3.13%	4.44%	4.55%	8.11%
合計	0.09%	0.03%	0.07%	0.03%	0.05%	合計	12.42%	3.87%	7.91%	3.51%	5.92%

#### 2.検診成績

##### 1) 令和4年度の実施状況 (表-2, 3)

受診者数は35,108人、要精検者数は468人、要精検率1.33%であった。要精密検査の内訳は、ASC-US 177人(0.50%) ASC-H 80人(0.23%) LSIL 129人(0.37%) HSIL 74人(0.21%) SCC 1人(0.003%) AGC 7人(0.02%) AIS 1人(0.002%) Adenocarcinoma 1人(0.003%)であった。

細胞診成績と精密検査結果(表-3)をみると、精密検査結果は、CIN1 116人(31.5%) CIN2 39人(10.6%) CIN3 25人(6.8%) AIS 2人(0.5%) その他の疾患 30名(8.2%) 異常なしが156名(42.4%)であった。

細胞診結果HSIL上皮内がん、AISで精検結果異常なしであった4例について再鏡検を行ったが、当初の判定と異なるものはなかった。

表-2 年齢別細胞診成績

区分	受診者数	要精検者数	要精密検査									
			扁平上皮系					腺系				
			ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno.	Other.	
～29歳	1,322	66 (4.99)	12 (0.91)	12 (0.91)	36 (2.72)	6 (0.45)						
30～39歳	3,266	94 (2.88)	28 (0.86)	12 (0.37)	27 (0.83)	26 (0.80)					1 (0.03)	
40～49歳	6,454	※1 156 (2.42)	※1 56 (0.87)	34 (0.53)	32 (0.50)	※1 32 (0.50)		※1 3 (0.05)	1 (0.02)			
50～59歳	6,879	95 (1.38)	45 (0.65)	14 (0.20)	25 (0.36)	8 (0.12)	1 (0.01)	2 (0.03)				
60～69歳	9,415	30 (0.32)	22 (0.23)	4 (0.04)	3 (0.03)			1 (0.01)				
70歳～	7,772	27 (0.35)	14 (0.18)	4 (0.05)	6 (0.08)	2 (0.03)		1 (0.01)				
合計	35,108	468 (1.33)	177 (0.50)	80 (0.23)	129 (0.37)	74 (0.21)	1 (0.003)	7 (0.02)	1 (0.002)	1 (0.003)		

※1:ASC-US+AGC 1名 HSIL(上皮内がん)+AGC 1名

表-3 細胞診成績と精密検査結果

	要精検者数	精検受診者数	異形成			上皮内がん		浸潤がん		体癌	その他	異常なし
			CIN1	CIN2	腺	CIN3	AIS	SCC	Adeno.			
ASC-US	177	142 (80.2)	※2 19 (13.4)	7 (4.9)		2 (1.4)	※2 1 (0.7)				16 (11.3)	97 (68.3)
ASC-H	80	63 (78.8)	21 (33.3)	12 (19.0)		8 (12.7)					5 (7.9)	17 (27.0)
LSIL	HPV感染疑い	1										
	軽度異形成	128	106 (82.8)	62 (58.5)	7 (6.6)						8 (7.5)	29 (27.4)
HSIL	中等度異形成	7	6 (85.7)	2 (33.3)	1 (16.7)	1 (16.7)					1 (16.7)	1 (16.7)
	高度異形成	30	24 (80.0)	7 (29.2)	7 (29.2)	4 (16.7)						6 (25.0)
	上皮内がん	37	21 (56.8)	4 (19.0)	5 (23.8)	9 (42.9)						3 (14.3)
SCC	1	1 (100.0)				1 (100.0)						
AGC	7	4 (57.1)	※2 1 (25.0)				※2 1 (25.0)					2 (50.0)
AIS	1	1 (100.0)										1 (100.0)
Adenocarcinoma	1											
Other malign.												
合計	470	368 (78.3)	116 (31.5)	39 (10.6)		25 (6.8)	2 (0.5)				30 (8.2)	156 (42.4)

※2:ASC-US+AGC 1名はCIN1、AISにそれぞれ計上

2)細胞診検査精度管理の状況(表-4)

①年次別年齢別受診状況

受診者は50歳以上が全体の約70%を占めており、20-30歳代は全体の約13%にとどまり、横ばい傾向であった。要精検率は20-30歳代が高く、受診率向上が課題であった。

表-4 年次別年齢別受診状況

		平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
～29 歳	受診者数	1,337	1,306	1,319	1,312	1,322
	要精検率	2.8%	3.6%	4.4%	4.9%	5.0%
30～39 歳	受診者数	3,733	3,584	3,537	3,571	3,266
	要精検率	3.1%	3.1%	3.1%	2.4%	2.9%
40～49 歳	受診者数	6,991	6,807	6,673	6,728	6,454
	要精検率	2.3%	2.3%	2.3%	2.7%	2.4%
50～59 歳	受診者数	7,810	7,374	7,211	7,032	6,879
	要精検率	0.9%	0.9%	1.4%	1.0%	1.4%
60～69 歳	受診者数	11,067	10,425	10,032	9,699	9,415
	要精検率	0.3%	0.3%	0.5%	0.4%	0.3%
70 歳～	受診者数	6,642	7,051	7,195	7,641	7,772
	要精検率	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%	0.3%
合計	受診者数	37,580	36,547	35,967	35,983	35,108
	初回受診者数	7,172	7,959	7,696	7,130	6,731

## ②標本不適正率

平成 27 年度より HOLOGIC 製 ThinPrep を導入し、血液量の多い検体や細胞量少数の検体は再作製を行い、不適正標本減少に努めている。令和 4 年度は不適正件数が 1 件あり再検査を実施した。

## 3.細胞診・HPV-DNA 検査併用検診の実施状況

令和 3 年度の実施成績(表-5,6,7)

令和 3 年度(初年度)1,419 人に実施し、1 年後検診該当者が 37 人(2.6%)であった。1 年後検診該当となった37人のうち、令和4年度に17人(45.9%)が同検診を行った。そのうち要精検者は8人(47.1%)であった。精密検査結果は、要精検となった8人のうち2年連続細胞診 NILM/HPV 陽性で精検未受診者が1人(12.5%)異常なし5人(62.5%)CIN2-3 疑い1人(12.5%)初年度 NILM/HPV 陽性、1 年後再検査 ASC-US/HPV 陽性の1人が異常なしであった。

表-5 令和 3 年度実施状況

N=1,419

初年度 (令和 3 年度)		HPV 検査	
		－	＋
細胞診 検査	NILM	1,374	33
	ASC-US	4	1
	その他	5	2

指導区分		
定期検査	1 年後検診	要精密検査
1,374	37	8
96.8%	2.6%	0.6%

表-6 1年後検診実施状況

2年目 (令和4年度) 1年後検診		NILM/HPV(+)		ASC-US/HPV(-)		再検 受診率
		HPV検査				
		-	+	-	+	
細胞診 検査	NILM	8	7	1		45.9%
	ASC-US		1			
	その他					

表-7 1年後検診精密検査結果

初年度 (R3)		1年後検診 (R4)			
検診結果		検診結果		精密検査結果	
細胞診	HPV	細胞診	HPV	組織診	受診者数
NILM	+	NILM	+	未受診	1
		NILM	+	異常なし	5
		NILM	+	CIN2-3 疑い	1
		ASC-US	+	異常なし	1

#### 4. 今後の課題及び検討事項

- ・ 地域住民における、各検診センターの年代別の検診実施状況を分析
- ・ 細胞診・HPV-DNA 検査併用検診実施状況について、1年後検診対象者の詳細な受診状況の分析
- ・ 強い精検勧奨への取り組みを全実施主体へ拡大



## (4)乳がん検診委員会

### 1.事業評価

#### (1) プロセス指標(表-1)

プロセス指標による評価では、健康増進法に基づき市町村で実施した令和4年度の地域住民の40歳～74歳までの検診の成績について、センター別に要精検率、がん発見率等を国で示す事業評価指標の許容値、目標値と比較した。

令和4年度地域住民の成績について、要精検率は全てのセンターで許容値を満たしているが、南陽3.1%、米沢6.7%とセンターで開きがみられた。経年的に高かった最上の要精検率が低下している。精検受診率は全センターで目標値の90%を超える成績であった。がん発見率は山形、南陽の2センターが許容値を満たしていなかったが、陽性反応適中度は全てのセンターで許容値を満たしていた。庄内のがん発見率、陽性反応適中度は共に高い値で推移している。

表-1 プロセス指標 地域住民検診(40～74歳)

<要精検率>許容値:11.0%以下

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	3.5%	3.8%	3.9%	4.3%	3.8%
庄内	4.7%	4.1%	4.7%	4.6%	4.2%
最上	6.8%	8.0%	8.6%	5.8%	5.4%
米沢	7.4%	5.0%	5.5%	6.4%	6.7%
南陽	5.7%	4.5%	3.7%	3.5%	3.1%
合計	5.2%	4.8%	5.1%	4.6%	4.3%

<精検受診率>許容値:80%以上 目標値:90%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	90.6%	87.0%	91.7%	92.1%	91.1%
庄内	95.1%	87.7%	93.5%	92.8%	94.7%
最上	94.6%	94.1%	93.0%	92.0%	93.8%
米沢	93.8%	96.8%	93.8%	92.6%	90.7%
南陽	91.7%	91.7%	88.8%	94.3%	91.0%
合計	93.0%	91.0%	92.1%	92.7%	92.2%

<がん発見率>許容値:0.23%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	0.15%	0.22%	0.18%	0.24%	0.12%
庄内	0.31%	0.39%	0.24%	0.54%	0.38%
最上	0.42%	0.25%	0.21%	0.14%	0.28%
米沢	0.31%	0.11%	0.12%	0.37%	0.28%
南陽	0.15%	0.20%	0.15%	0.38%	0.12%
合計	0.24%	0.24%	0.18%	0.33%	0.21%

<陽性反応適中度>許容値:2.5%以上

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
山形	4.29%	5.69%	4.56%	5.64%	3.13%
庄内	6.56%	9.52%	5.23%	11.76%	9.09%
最上	6.13%	3.16%	2.45%	2.47%	5.21%
米沢	4.17%	2.13%	2.08%	5.79%	4.24%
南陽	2.63%	4.39%	4.14%	10.76%	3.76%
合計	4.69%	4.97%	3.65%	7.09%	4.88%

## 2.検診成績

### (1)令和4年度実施状況(表-2・表-3)

受診者数は地域住民が21,870人、職域職員が13,193人、合計35,063人であった。うち併用検診の受診者数は1,658人、MMG単独検診は33,405人であった。乳がん検診におけるMMG単独検診の割合は全体で約95%であり、庄内を除くセンターはすべてMMG単独検診であった。

地域住民、職域職員合計での要精検率は併用検診6.5%、MMG単独検診4.7%、合計4.7%であった。精検受診率は併用検診94.4%、MMG単独検診91.1%、合計91.3%であった。がん確診者数(率)は併用検診4人(0.24%)、MMG単独検診67人(0.20%)であった。

MMG単独検診+併用検診において総合計の要精検率は初回受診で9.2%、受診歴ありで3.7%であった。がん確診者数(率)は初回受診が24人(0.36%)、受診歴ありが47人(0.17%)であり、例年初回受診の要精検率、がん発見率が高い傾向にある。陽性反応適中度は受診歴ありで数値が高い傾向にあり比較読影の効果と考えられる。

## (2) 令和4年度乳房超音波検査実施状況(表-4)

一部実施主体においてマンモグラフィ受診者の40歳代を対象にオプション項目として実施している。  
全センターでの受診者数は751人、要精検率は7.3%、がん確診者数は2人であった。

表-4 令和4年度 乳房超音波検査実施状況  
対象: 40~49歳(MMG併用で一部事業にて実施)

センター	区分	乳がん検診受診者数 A	一次検診									精密検査結果								
			U S 受診者数 B	U S 受診率 B/A	異常なし	精検不要	判定区分					要精検率 C/B	精検受診者数 D	同左率 D/C	発見疾患(延べ数)					
							根拠別の要精検者数								乳がん確診者	乳がん疑い	乳腺症	乳腺良性腫瘍	その他	異常なし
							U S のみ	視触診+U S	マンモ+U S	視触診+マンモ+U S	要精検者の合計 C									
山形	40~44歳	840	139	16.5%	79	47	10		3	13	9.4%	12	92.3%	1		2	5		4	
	45~49歳	1,048	181	17.3%	99	74	7		1	8	4.4%	7	87.5%			1	4		2	
	計	1,888	320	16.9%	178	121	17		4	21	6.6%	19	90.5%	1		3	9		6	
庄内	40~44歳	721	55	7.6%	37	15	1		2	3	5.5%	3	100.0%				3			
	45~49歳	643	47	7.3%	34	10	3			3	6.4%	2	66.7%	1					1	
	計	1,364	102	7.5%	71	25	4		2	6	5.9%	5	83.3%	1			3		1	
最上	40~44歳	579	126	21.8%	95	20	10		1	11	8.7%	8	72.7%				5		3	
	45~49歳	608	150	24.7%	99	36	14		1	15	10.0%	14	93.3%			2	6	1	5	
	計	1,187	276	23.3%	194	56	24		2	26	9.4%	22	84.6%			2	11	1	8	
米沢	40~44歳	424	9	2.1%	6	3				0	0.0%									
	45~49歳	497	15	3.0%	8	7				0	0.0%									
	計	921	24	2.6%	14	10				0	0.0%									
南陽	40~44歳	776	12	1.5%	7	4	1			1	8.3%	1	100.0%				1			
	45~49歳	903	17	1.9%	14	2			1	1	5.9%	1	100.0%			1				
	計	1,679	29	1.7%	21	6	1		1	2	6.9%	2	100.0%			1	1			
合計	40~44歳	3,340	341	10.2%	224	89	22	0	6	28	8.2%	24	85.7%	1	0	2	14	0	7	
	45~49歳	3,699	410	11.1%	254	129	24	0	3	27	6.6%	24	88.9%	1	0	4	10	1	8	
	計	7,039	751	10.7%	478	218	46	0	9	55	7.3%	48	87.3%	2		6	24	1	15	

## 3. 今後の課題及び検討事項

- マンモグラフィと乳房超音波検査の総合判定に向けて、現状把握、課題整理を行う。

(表一2) 令和4年度 乳がん検診実施状況 総合計 (地域住民・職域職員)

	併用検診										MMG単独検診										乳がん検診合計					
	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	精検受診状況		陽性反応適中度	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	精検受診状況		陽性反応適中度	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	精検受診状況		陽性反応適中度	受診者数	要精検者数(率)	精検受診者数(率)	精検受診状況		陽性反応適中度		
				異常なし	がん確認(率)					異常なし	がん確認(率)					異常なし	がん確認(率)					異常なし	がん確認(率)		異常なし	がん確認(率)
山形	地域住民						6,888	259	3.8%	237	91.5%	157	8	0.12%	72	3.09	6,888	259	3.8%	237	91.5%	157	8	0.12%	72	3.09
	職域職員						3,110	194	6.2%	182	93.8%	100	7	0.23%	75	3.61	3,110	194	6.2%	182	93.8%	100	7	0.23%	75	3.61
	計						9,998	453	4.5%	419	92.5%	257	15	0.15%	147	3.31	9,998	453	4.5%	419	92.5%	257	15	0.15%	147	3.31
庄内	地域住民	1,607	103	6.4%	97	94.2%	2,116	40	1.9%	37	92.5%	20	9	0.43%	8	22.50	2,116	40	1.9%	37	92.5%	20	9	0.43%	8	22.50
	職域職員	51	4	7.8%	4	100.0%	2,517	81	3.2%	74	91.4%	35	5	0.20%	34	6.17	2,517	81	3.2%	74	91.4%	35	5	0.20%	34	6.17
	計	1,658	107	6.5%	101	94.4%	4,633	121	2.6%	111	91.7%	55	14	0.30%	42	11.57	4,633	121	2.6%	111	91.7%	55	14	0.30%	42	11.57
最上	地域住民						4,170	211	5.1%	196	92.9%	127	11	0.26%	58	5.21	4,170	211	5.1%	196	92.9%	127	11	0.26%	58	5.21
	職域職員						2,292	152	6.6%	138	90.8%	84	4	0.17%	50	2.63	2,292	152	6.6%	138	90.8%	84	4	0.17%	50	2.63
	計						6,462	363	5.6%	334	92.0%	211	15	0.23%	108	4.13	6,462	363	5.6%	334	92.0%	211	15	0.23%	108	4.13
米沢	地域住民						2,057	133	6.5%	122	91.7%	93	6	0.29%	23	4.51	2,057	133	6.5%	122	91.7%	93	6	0.29%	23	4.51
	職域職員						2,179	185	8.5%	161	87.0%	89	8	0.37%	64	4.32	2,179	185	8.5%	161	87.0%	89	8	0.37%	64	4.32
	計						4,236	318	7.5%	283	89.0%	182	14	0.33%	87	4.40	4,236	318	7.5%	283	89.0%	182	14	0.33%	87	4.40
南陽	地域住民						5,032	154	3.1%	141	91.6%	94	5	0.10%	42	3.25	5,032	154	3.1%	141	91.6%	94	5	0.10%	42	3.25
	職域職員						3,044	148	4.9%	131	88.5%	80	4	0.13%	47	2.70	3,044	148	4.9%	131	88.5%	80	4	0.13%	47	2.70
	計						8,076	302	3.7%	272	90.1%	174	9	0.11%	89	2.98	8,076	302	3.7%	272	90.1%	174	9	0.11%	89	2.98
合計	地域住民	1,607	103	6.4%	97	94.2%	20,263	797	3.9%	733	92.0%	491	39	0.19%	203	4.89	20,263	797	3.9%	733	92.0%	491	39	0.19%	203	4.89
	職域職員	51	4	7.8%	4	100.0%	13,142	760	5.8%	686	90.3%	388	28	0.21%	270	3.68	13,142	760	5.8%	686	90.3%	388	28	0.21%	270	3.68
	計	1,658	107	6.5%	101	94.4%	33,405	1,557	4.7%	1,419	91.1%	879	67	0.20%	473	4.30	33,405	1,557	4.7%	1,419	91.1%	879	67	0.20%	473	4.30

(表-3.1) 令和4年度 年齢階層別乳がん検診実施状況 (MMG 単独検診+併用検診)

区分	一次検診結果														精密検査結果										区分															
	判定区分														発見疾病(延べ数)																									
	要 精 査 者 数				同 左 率				初 回 受 診 者 数						同 左 率		受 診 者 数		乳 腺 症		乳 腺 良 性 腫 瘍		そ の 他			異 常 な し		が ん 発 見 率		関 連 反 応 適 中 度										
	A	B	C	D	B/E	C/A-E	D/A	D/A	E	F	G	H	I	J	初回	1年前	2年前	3年前	F/D	F	乳がん検診 受診歴あり	乳がん疑 受診歴あり	初回	1年前		2年前	3年前	G/E	(H+I+J)/(A-E)	初回	(H+I+J)/C									
40歳未満	1,434	46	44	90	7.1%	5.6%	6.3%	648	83	14				1				92.2%	83																					
40～44歳	3,340	144	114	258	11.1%	5.6%	7.7%	1,292	236	6				1				91.5%	236																					
45～49歳	3,699	94	178	272	12.7%	6.0%	7.4%	743	242	2				2				89.0%	242																					
50～54歳	3,850	76	162	238	10.4%	5.2%	6.2%	734	212	6				2				89.1%	212																					
55～59歳	3,755	51	110	161	7.8%	3.5%	4.3%	650	143	1				3				88.8%	143																					
60～64歳	5,061	97	144	241	10.2%	3.5%	4.8%	951	226	4				3				93.8%	226																					
65～69歳	5,172	49	101	150	7.2%	2.3%	2.9%	684	142	4				3				94.7%	142																					
70～74歳	5,562	32	126	158	5.7%	2.5%	2.8%	561	147	2				8				93.0%	147																					
75～79歳	2,204	18	54	72	7.8%	2.7%	3.3%	231	68	1				1				94.4%	68																					
80歳以上	986	5	19	24	3.4%	2.3%	2.4%	145	21									87.5%	21																					
合 計	35,063	612	1,052	1,664	9.2%	3.7%	4.7%	6,639	1,520	24	23	22	2	2	6	2	4	91.3%	1,520	214	241	62	933																	
40歳未満	293	14	11	25	10.1%	7.1%	8.5%	138	23									92.0%	23																					
40～44歳	840	38	24	62	11.2%	4.8%	7.4%	340	57	3				1				91.9%	57																					
45～49歳	1,048	39	52	91	17.6%	6.3%	8.7%	221	83	1								91.2%	83																					
50～54歳	1,074	20	32	52	8.9%	3.8%	4.8%	225	45	2								86.5%	45																					
55～59歳	1,080	18	22	40	10.8%	2.4%	3.7%	166	36	1				2				90.0%	36																					
60～64歳	1,320	27	32	59	12.5%	2.9%	4.5%	216	55	1								93.2%	55																					
65～69歳	1,658	16	26	42	9.7%	1.7%	2.5%	165	42	2								100.0%	42																					
70～74歳	1,655	11	35	46	8.2%	2.3%	2.8%	134	44									95.7%	44																					
75～79歳	760	6	23	29	8.8%	3.3%	3.8%	68	27									93.1%	27																					
80歳以上	270	1	6	7	3.4%	2.5%	2.6%	29	7									100.0%	7																					
合 計	9,998	190	263	453	11.2%	3.2%	4.5%	1,702	419	7	7	1	1	1	2	2		92.5%	419	78	52	19	257																	
山 形																																								
40歳未満																																								
40～44歳																																								
45～49歳																																								
50～54歳																																								
55～59歳																																								
60～64歳																																								
65～69歳																																								
70～74歳																																								
75～79歳																																								
80歳以上																																								
合 計																																								

(表-3.2) 令和4年度 年齢階層別乳がん検診実施状況 (MMG 単独検診+併用検診)

区分	精密検査結果																																						
	一次検査結果										発見疾病(延べ数)												陽性反応適中度																
	判定区分					要 精 検 査					初回受診者数		初回受診率		受診者数		同左率		乳がん確認 受診歴あり		乳がん疑 受診歴あり		乳 腺 良 性 腫 瘍		そ の 他		がん発見率 (HH)/ (A-E)		初 回										
	受診者数		異常認めず		初回		同左率		受診歴あり		同左率		合計		同左率		E		F		F/D		G		H		I		J		G/E		G/B		(HH)/(A-E)		(HH)/C		
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ			
40歳未満	264	6	4.5%	6	4.5%	6	4.5%	12	4.5%	132	50.0%	12	100.0%	12	100.0%	3	1	9		3	1	9														40歳未満			
40～44歳	721	26	8.2%	13	3.2%	39	5.4%	316	43.8%	33	43.8%	33	84.6%	33	84.6%	8	12	13		8	12	13													40～44歳				
45～49歳	643	610	9	6.7%	24	4.7%	33	5.1%	135	21.0%	30	90.9%	30	90.9%	7	8	13		7	8	13													8.33	45～49歳				
50～54歳	749	714	19	10.9%	16	2.8%	35	4.7%	174	23.2%	33	94.3%	33	94.3%	5	8	16		5	8	16													5.26	50～54歳				
55～59歳	641	620	4	2.8%	17	3.4%	21	3.3%	143	22.3%	21	100.0%	21	100.0%	2	3	9		2	3	9														0.40%	55～59歳			
60～64歳	922	878	16	6.8%	28	4.1%	44	4.8%	236	25.6%	42	95.5%	42	95.5%	1	1	28		1	1	28														6.25	60～64歳			
65～69歳	704	693	3	2.0%	8	1.4%	11	1.6%	149	21.2%	11	100.0%	11	100.0%	2	2	5		2	2	5															33.33	65～69歳		
70～74歳	1,039	1,017	3	2.1%	19	2.1%	22	2.1%	145	14.0%	21	95.5%	21	95.5%	1	1	9		1	1	9															33.33	70～74歳		
75～79歳	374	367	2	3.5%	5	1.6%	7	1.9%	57	15.2%	6	85.7%	6	85.7%	1	1	5		1	1	5															0.32%	75～79歳		
80歳以上	234	230	2	3.3%	2	1.1%	4	1.7%	60	25.6%	3	75.0%	3	75.0%	1	1	2		1	1	2															20.00	80歳以上		
合 計	6,291	6,063	90	5.8%	138	2.9%	228	3.6%	1,547	24.6%	212	93.0%	212	93.0%	4	1	109		35	40	109														4.44	合 計			
40歳未満	241	224	8	7.4%	9	6.8%	17	7.1%	108	44.8%	15	88.2%	15	88.2%	2	2	11		2	2	11																40歳未満		
40～44歳	579	521	32	15.5%	26	7.0%	58	10.0%	207	35.8%	54	93.1%	54	93.1%	1	1	36		9	7	36															3.13	40～44歳		
45～49歳	608	556	20	14.7%	32	6.8%	52	8.6%	136	22.4%	47	90.4%	47	90.4%	8	14	23		8	14	23																	0.48%	45～49歳
50～54歳	647	596	7	7.5%	44	7.9%	51	7.9%	93	14.4%	47	92.2%	47	92.2%	1	1	26		8	10	26																1.08%	50～54歳	
55～59歳	658	622	10	8.3%	26	4.8%	36	5.5%	121	18.4%	34	94.4%	34	94.4%	1	1	20		1	6	20																0.37%	55～59歳	
60～64歳	1,069	1,010	25	12.7%	34	3.9%	59	5.5%	197	18.4%	54	91.5%	54	91.5%	1	1	33		4	10	33																4.00	60～64歳	
65～69歳	995	955	8	5.7%	32	3.7%	40	4.0%	141	14.2%	37	92.5%	37	92.5%	2	1	25		1	6	25																0.35%	65～69歳	
70～74歳	1,077	1,046	3	2.8%	28	2.9%	31	2.9%	106	9.8%	30	96.8%	30	96.8%	1	1	25		2	2	25																0.10%	70～74歳	
75～79歳	395	382	3	7.3%	10	2.8%	13	3.3%	41	10.4%	12	92.3%	12	92.3%	1	1	8		3	3	8																0.28%	75～79歳	
80歳以上	193	187	1	3.2%	5	3.1%	6	3.1%	31	16.1%	4	66.7%	4	66.7%	3	4	4				4																	0.25%	80歳以上
合 計	6,462	6,099	117	9.9%	246	4.7%	363	5.6%	1,181	18.3%	334	92.0%	334	92.0%	3	4	211		35	60	211																2.56	合 計	



## (5)循環器等健診・人間ドック委員会

### 1.各種検診実施状況

#### (1)人間ドック及び特定健康診査実績推移（表1）

令和2年度からの受診者数の推移は令和3年度、人間ドック・特定健康診査ともに増加したが、令和4年度、ともに減少した。また、集計対象受診者数(人間ドック・特定健康診査受診者の40歳から74歳の特定健診対象者を再掲した数)も約4,000人の減少であった。

表 1

集計対象者受診者数(人)

		令和2年度				令和3年度				令和4年度				R2年度	R3年度	R4年度
		人間ドック		計	特定健康診査	人間ドック		計	特定健康診査	人間ドック		計	特定健康診査	人間ドックおよび特定健康診査 40～74歳		
		地域住民	職域職員			地域住民	職域職員			地域住民	職域職員					
全検診センター	男性	11,556	2,783	14,339	22,609	12,172	2,889	15,061	23,526	12,229	2,727	14,956	23,224	26,206	27,617	25,915
	女性	15,818	2,458	18,276	29,031	16,337	2,365	18,702	30,276	16,294	2,154	18,448	29,614	35,586	37,099	34,835
	合計	27,374	5,241	32,615	51,640	28,509	5,254	33,763	53,802	28,523	4,881	33,404	52,838	61,792	64,716	60,750

\* 特定健康診査合計: 特定健康診査を実際に実施した数

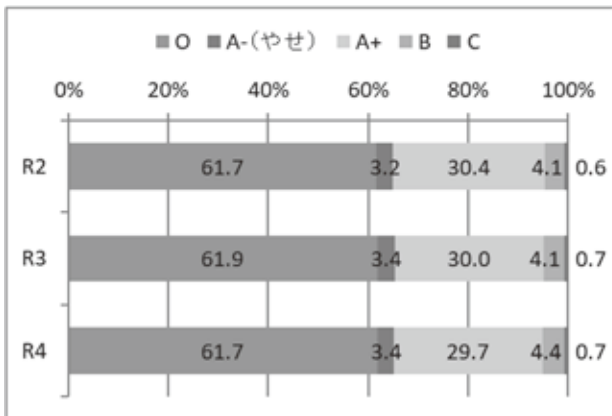
#### (2)検査項目別・判定別成績(図1)

男性は血圧、血糖、脂質、女性は血糖、脂質について服薬治療の割合が増加傾向にあった。また、HbA1cについて、男女とも異常なし割合が減少傾向にあった。

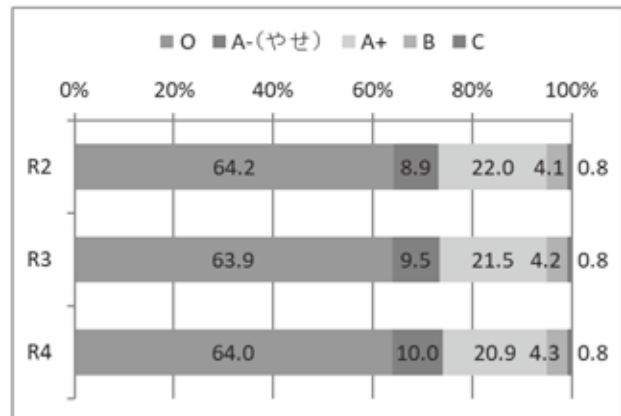
(判定区分: O 異常なし A 要観察 B 要指導 C 精密検査 D1 治療 D2 治療中)

図 1

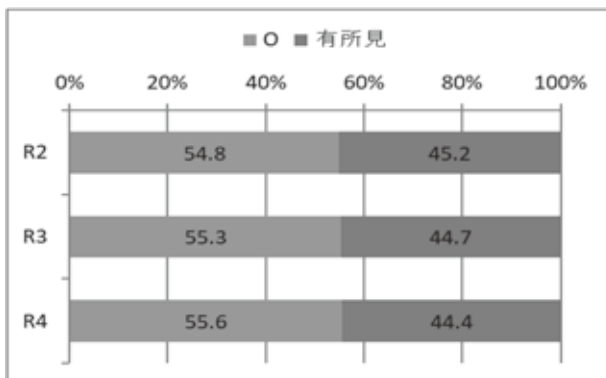
#### <BMI> 男性



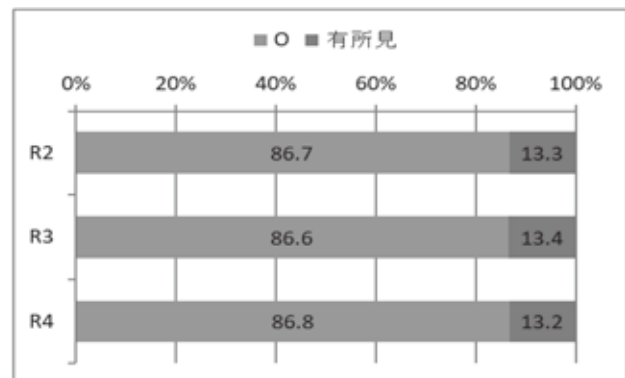
#### 女性



#### <腹囲> 男性

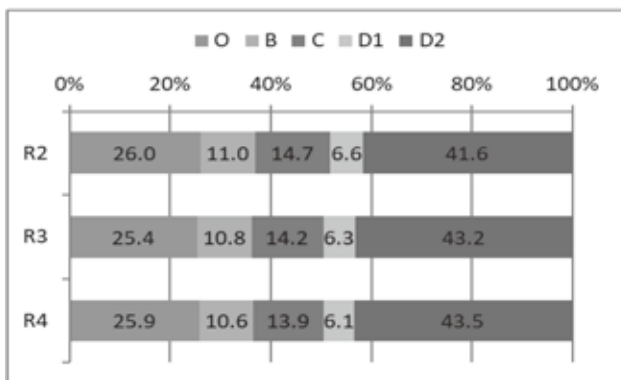


#### 女性

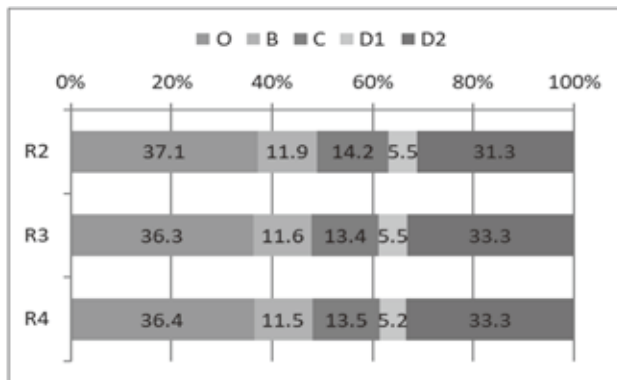




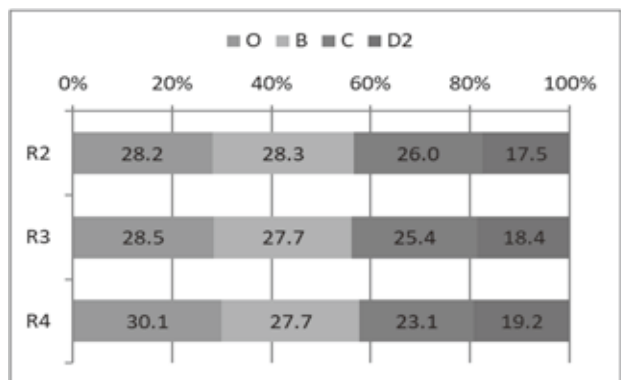
<血圧> 男性



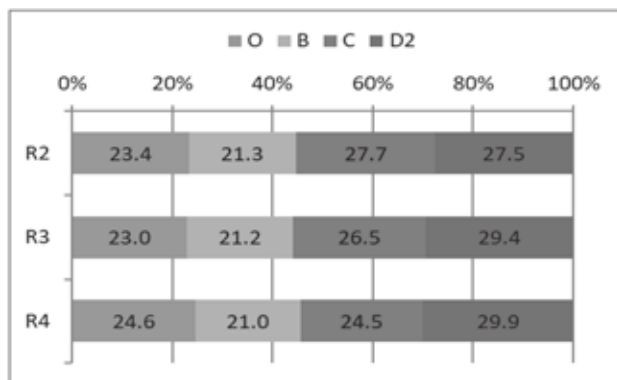
女性



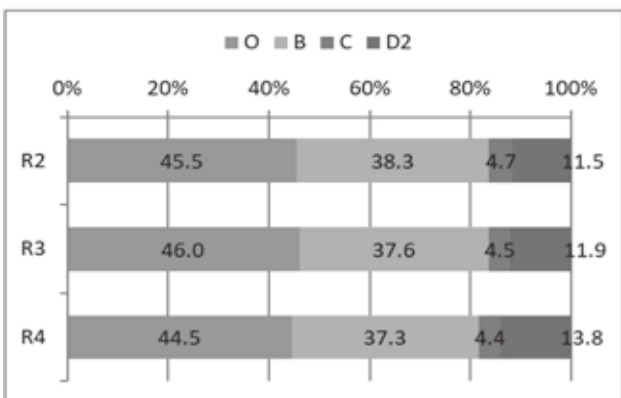
<脂質> 男性



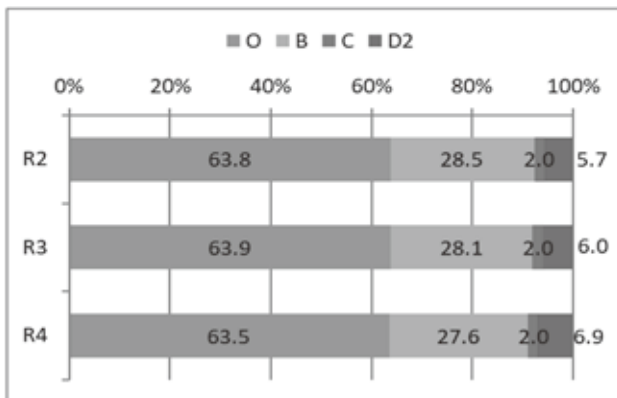
女性



<血糖> 男性

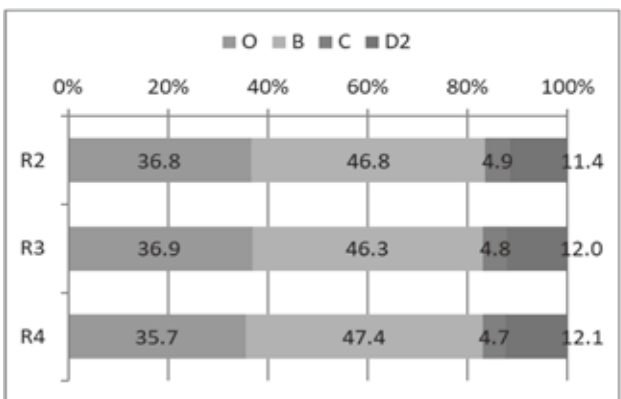


女性

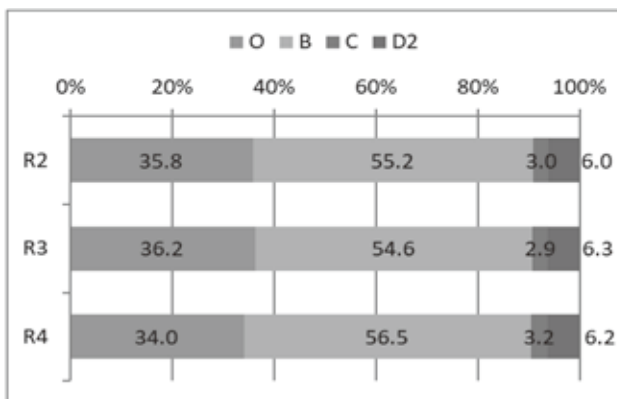


\* 随時血糖を除く

<HbA1c> 男性



女性



## 2. 特定健康診査・特定保健指導実施状況及び評価

(1) 令和3年度特定保健指導実施状況(表1、図2~5)

特定保健指導実施率は33.9%(特定保健指導対象者のうち特定保健指導終了者)であり、国(24.6%)、県(30.4%)よりも高い結果となった。

表1 第3期実施計画と令和3年度推進機構の成績

	特定保健指導実施率
第3期(30年度~)実施目標(国)	45.0%
参考 令和3年度 実施成績(国)	24.6%
参考 令和3年度 実施成績(県)	30.4%
令和3年度 機構成績	33.9%

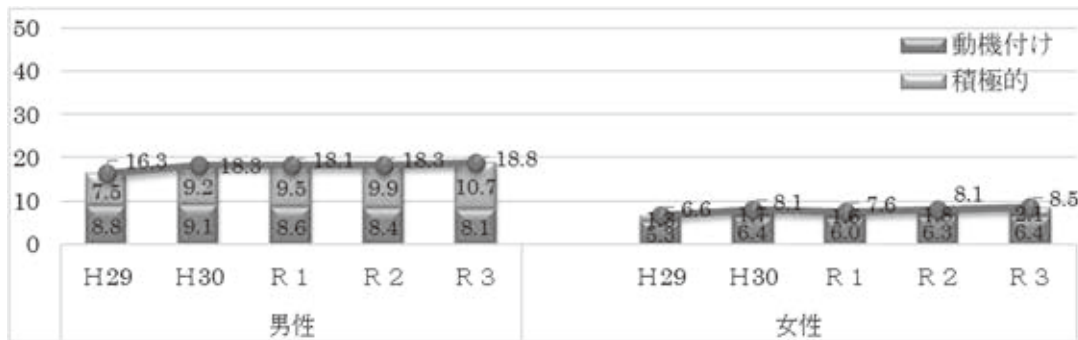
引用・令和3年度山形県生活習慣病検診等管理指導協議会 循環器疾患等部会資料一覧

2021年度特定健康診査・特定保健指導実施状況について【概要】-厚生労働省-

図2

特定保健指導該当率(%)

指導該当者数/特定健診受診者数

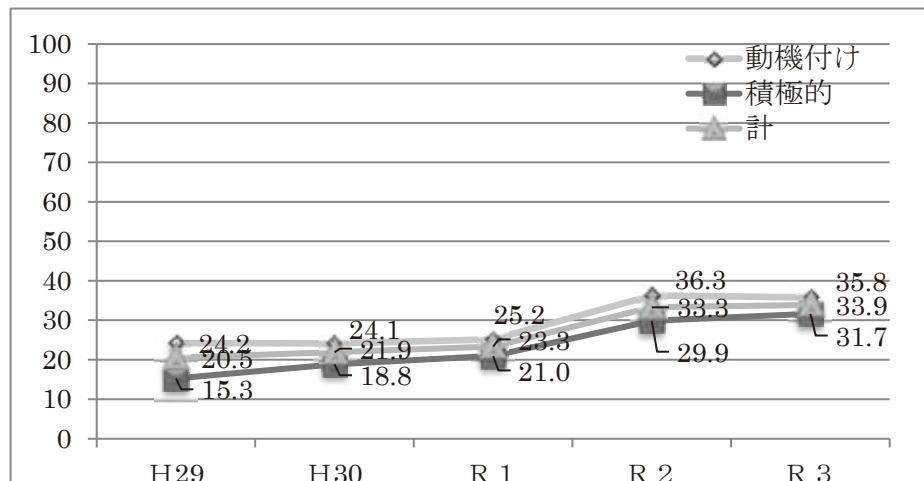


特定保健指導該当率は、男女ともに平成29年度から令和3年度にかけて横ばいの状況であった。

図3

特定健康診査実施率(%)

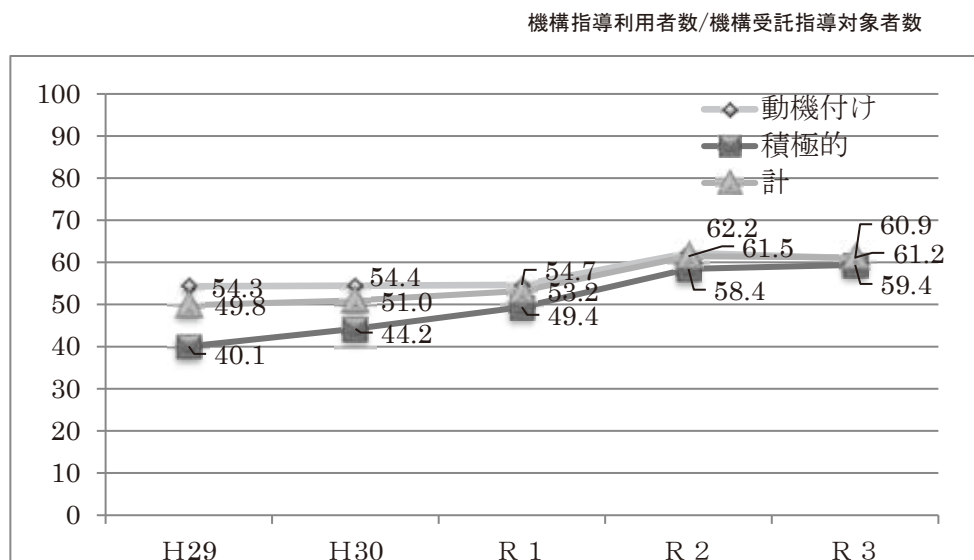
機構指導終了者数/機構指導対象数



特定保健指導実施率は、平成 29 年度から令和 2 年度にかけて動機付け支援、積極的支援ともに増加傾向にあり、動機付け支援 12.1 ポイント、積極的支援 14.6 ポイント、全体計で 12.8 ポイント増加した。令和 2 年度から令和 3 年度にかけては横ばいの状況であった。

図 4

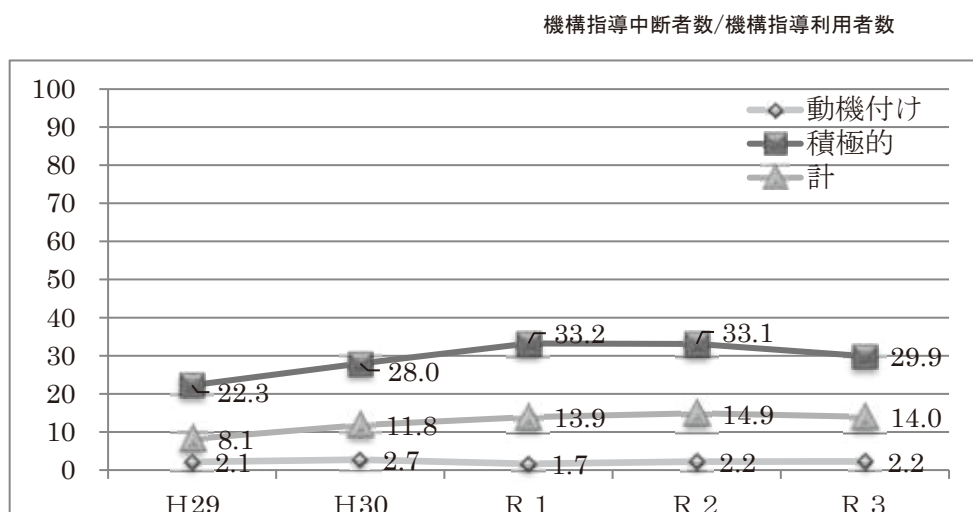
## 特定保健指導利用率(%)



特定保健指導利用率は、平成 29 年度から令和 2 年度にかけて増加傾向にあり、動機付け支援 7.9 ポイント、積極的支援 18.3 ポイント、全体計で 11.7 ポイント増加した。令和 2 年度から令和 3 年度にかけては横ばいの状況であった。

図 5

## 特定保健指導中断率(%)



特定保健指導中断率は、低く推移しており、動機付け支援の中断の主な理由は資格喪失などであった。積極的支援の中断率は、動機付け支援より割合が高くなっており、令和 2 年度から令和 3 年度にかけて 3.2 ポイント減少した。

(2) 令和3年度特定保健指導実施者 結果状況(表2、図6)

評価状況： 動機付け支援 2, 108人 \*受託実施した動機付け支援相当は、動機付け支援に含む  
 積極的支援 1, 279人

表2

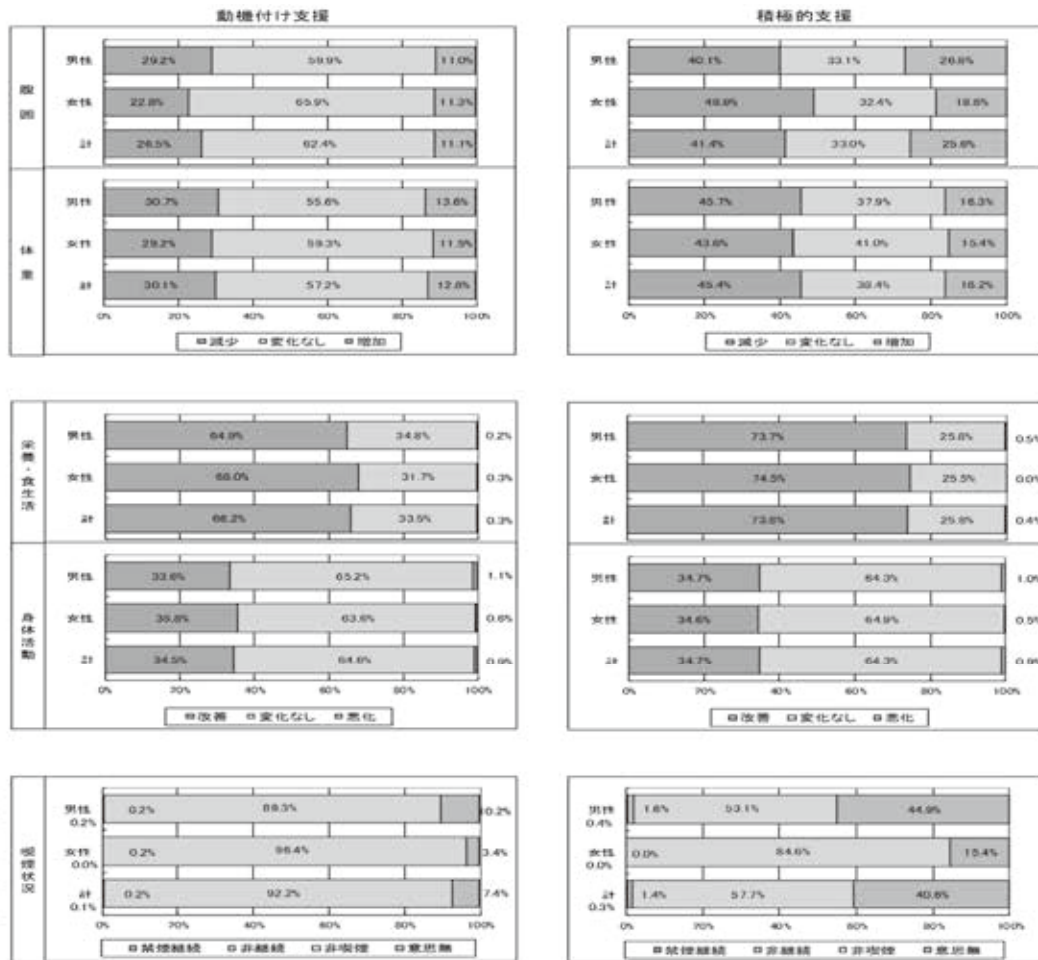
腹囲・体重の評価

		動機付け支援 (平均値)			積極的支援 (平均値)		
		初回	最終	差±SD	初回	最終	差±SD
腹囲 (cm)	男性	89.6	89.1	-0.5 ±2.0	92.6	92.0	-0.6 ±4.5
	女性	88.2	87.9	-0.3 ±1.9	96.2	95.3	-0.9 ±3.8
体重 (kg)	男性	74.9	74.4	-0.4 ±1.7	81.2	80.2	-0.9 ±2.3
	女性	65.7	65.2	-0.4 ±1.4	75.8	75.1	-0.7 ±2.0

※ 減少は腹囲・体重-1.0(cm・kg)以下、変化なしは±0.9(cm・kg)以下、増加は+1.0(cm・kg)以上

令和3年度に特定保健指導を利用し、最終評価を実施した人の状況について、動機付け支援より積極的支援の方が体重や腹囲の減少、栄養・食生活面に改善傾向がみられた。

図6



※禁煙継続 : 最終評価まで禁煙を継続した者  
 非継続 : 禁煙を継続できなかった者  
 非喫煙 : 喫煙していない者  
 意思無 : 禁煙の意志を示さず、喫煙を続けている者

## (6)超音波検査委員会

### 1.評価項目と成績

令和4年度の受診者数は地域住民 17,062 人、職域職員 14,109 人の合計 31,171 人であった。令和3年度より受診者数が 1,778 人減少した。要精検者は 1,858 人、要精検率は 6.0%、がん発見率は 0.07%、陽性反応的中度は 1.13%であった。(表 1)

—評価項目と成績—(表 1)

全検診センター						地域住民					職域職員				
評価項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
受診者数(人)	35,700	34,150	32,781	32,949	31,171	20,844	19,981	18,576	18,461	17,062	14,856	14,169	14,205	14,488	14,109
要精検者数(人)	1,418	1,750	1,604	1,780	1,858	822	1,114	953	1,047	1,073	596	636	651	733	785
精検受診者数(人)	1,124	1,393	1,306	1,433	1,482	676	918	792	849	884	448	475	514	584	598
がん発見数(人)	14	13	19	13	21	14	13	13	9	11	0	0	6	4	10
要精検率(%)	4.0	5.1	4.9	5.4	6.0	3.9	5.6	5.1	5.7	6.3	4.0	4.5	4.6	5.1	5.6
精検受診率(%)	79.3	79.6	81.4	80.5	79.8	82.2	82.4	83.1	81.1	82.4	75.2	74.7	79.0	79.7	76.2
がん発見率(%)	0.04	0.04	0.06	0.04	0.07	0.07	0.07	0.07	0.05	0.06	0.00	0.00	0.04	0.03	0.07
陽性反応適中度(%)	0.99	0.74	1.18	0.73	1.13	1.70	1.17	1.36	0.86	1.03	0.00	0.00	0.92	0.55	1.27

山形検診センター						地域住民					職域職員				
評価項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
受診者数(人)	11,943	11,451	10,826	10,823	10,324	7,472	7,278	6,716	6,730	6,400	4,471	4,173	4,110	4,093	3,924
要精検者数(人)	455	522	534	567	675	285	369	363	379	480	170	153	171	188	195
精検受診者数(人)	372	428	454	476	570	247	308	313	320	416	125	120	141	156	154
がん発見数(人)	6	6	7	5	8	6	6	5	4	5	0	0	2	1	3
要精検率(%)	3.8	4.6	4.9	5.2	6.5	3.8	5.1	5.4	5.6	7.5	3.8	3.7	4.2	4.6	5.0
精検受診率(%)	81.8	82.0	85.0	84.0	84.4	86.7	83.5	86.2	84.4	86.7	73.5	78.4	82.5	83.0	79.0
がん発見率(%)	0.05	0.05	0.06	0.05	0.08	0.08	0.08	0.07	0.06	0.08	0.00	0.00	0.05	0.02	0.08
陽性反応適中度(%)	1.32	1.15	1.31	0.88	1.19	2.11	1.63	1.38	1.06	1.04	0.00	0.00	1.17	0.53	1.54

庄内検診センター						地域住民					職域職員				
評価項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
受診者数(人)	7,508	7,309	6,681	6,617	6,315	4,311	4,292	3,596	3,462	3,083	3,197	3,017	3,085	3,155	3,232
要精検者数(人)	201	246	232	285	295	115	164	141	147	142	86	82	91	138	153
精検受診者数(人)	170	193	186	231	230	103	128	122	114	111	67	65	64	117	119
がん発見数(人)	3	1	5	4	2	3	1	3	2	1	0	0	2	2	1
要精検率(%)	2.7	3.4	3.5	4.3	4.7	2.7	3.8	3.9	4.2	4.6	2.7	2.7	2.9	4.4	4.7
精検受診率(%)	84.6	78.5	80.2	81.1	78.0	89.6	78.0	86.5	77.6	78.2	77.9	79.3	70.3	84.8	77.8
がん発見率(%)	0.04	0.01	0.07	0.06	0.03	0.07	0.02	0.08	0.06	0.03	0.00	0.00	0.06	0.06	0.03
陽性反応適中度(%)	1.49	0.41	2.16	1.40	0.68	2.61	0.61	2.13	1.36	0.70	0.00	0.00	2.20	1.45	0.65

最上検診センター						地域住民					職域職員				
評価項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
受診者数(人)	6,608	6,083	6,087	6,089	6,152	4,581	4,053	4,049	3,962	4,021	2,027	2,030	2,038	2,127	2,131
要精検者数(人)	217	271	296	343	354	150	180	198	235	240	67	91	98	108	114
精検受診者数(人)	171	210	242	267	287	118	145	157	182	195	53	65	85	85	92
がん発見数(人)	2	3	1	0	8	2	3	0	0	4	0	0	1	0	4
要精検率(%)	3.3	4.5	4.9	5.6	5.8	3.3	4.4	4.9	5.9	6.0	3.3	4.5	4.8	5.1	5.3
精検受診率(%)	78.8	77.5	81.8	77.8	81.1	78.7	80.6	79.3	77.4	81.3	79.1	71.4	86.7	78.7	80.7
がん発見率(%)	0.03	0.05	0.02	0.00	0.13	0.04	0.07	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.05	0.00	0.19
陽性反応適中度(%)	0.92	1.11	0.34	0.00	2.26	1.33	1.67	0.00	0.00	1.67	0.00	0.00	1.02	0.00	3.51

米沢検診センター						地域住民					職域職員				
評価項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
受診者数(人)	4,017	3,759	3,803	3,996	3,862	1,355	1,210	1,145	1,239	1,135	2,662	2,549	2,658	2,757	2,727
要精検者数(人)	271	254	222	254	248	114	111	70	96	75	157	143	152	158	173
精検受診者数(人)	211	204	175	203	184	95	101	56	82	63	116	103	119	121	121
がん発見数(人)	2	1	3	3	2	2	1	2	2	1	0	0	1	1	1
要精検率(%)	6.7	6.8	5.8	6.4	6.4	8.4	9.2	6.1	7.7	6.6	5.9	5.6	5.7	5.7	6.3
精検受診率(%)	77.9	80.3	78.8	79.9	74.2	83.3	91.0	80.0	85.4	84.0	73.9	72.0	78.3	76.6	69.9
がん発見率(%)	0.05	0.03	0.08	0.08	0.05	0.15	0.08	0.17	0.16	0.09	0.00	0.00	0.04	0.04	0.04
陽性反応適中度(%)	0.74	0.39	1.35	1.18	0.81	1.75	0.90	2.86	2.08	1.33	0.00	0.00	0.66	0.63	0.58

南陽検診センター						地域住民					職域職員				
評価項目	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
受診者数(人)	5,624	5,548	5,384	5,424	4,518	3,125	3,148	3,070	3,068	2,423	2,499	2,400	2,314	2,356	2,095
要精検者数(人)	274	457	320	331	286	158	290	181	190	136	116	167	139	141	150
精検受診者数(人)	200	358	249	256	211	113	236	144	151	99	87	122	105	105	112
がん発見数(人)	1	2	3	1	1	1	2	3	1	0	0	0	0	0	1
要精検率(%)	4.9	8.2	5.9	6.1	6.3	5.1	9.2	5.9	6.2	5.6	4.6	7.0	6.0	6.0	7.2
精検受診率(%)	73.0	78.3	77.8	77.3	73.8	71.5	81.4	79.6	79.5	72.8	75.0	73.1	75.5	74.5	74.7
がん発見率(%)	0.02	0.04	0.06	0.02	0.02	0.03	0.06	0.10	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05
陽性反応適中度(%)	0.36	0.44	0.94	0.30	0.35	0.63	0.69	1.66	0.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67

## 2.腹部超音波検査結果

受診者数 31, 171 人、異常なし 7, 794 人 (25.0%)、有所見者数 23, 377 人 (75.0%) であった。有所見率は令和 3 年度より 1.5 ポイント増加した。臓器別有所見率は、各センターで若干の間差を認めるが、受診者構成(性別・年齢)による影響があるため特に問題はないと考えている。(表 2)

—腹部超音波検査結果—(表 2)

	合 計		山形検診c		庄内検診c		最上検診c		米沢検診c		南陽検診c	
A受診者数	31,171	—	10,324	33%	6,315	20%	6,152	20%	3,862	12%	4,518	15%
B異常なし	7,794	25.0%	2,118	20.5%	1,691	26.8%	1,996	32.4%	990	25.6%	999	22.1%
C有所見者数	23,377	75.0%	8,206	79.5%	4,624	73.2%	4,156	67.6%	2,872	74.4%	3,519	77.9%
異常なし	130	0.4%	42	0.4%	58	0.9%	9	0.1%	6	0.2%	15	0.3%
要観察	20,702	66.4%	7,299	70.7%	4,059	64.3%	3,773	61.3%	2,524	65.4%	3,047	67.4%
要再検	681	2.2%	187	1.8%	210	3.3%	20	0.3%	93	2.4%	171	3.8%
要精検	1,858	6.0%	675	6.5%	295	4.7%	354	5.8%	248	6.4%	286	6.3%
要医療	6	0.0%	3	0.0%	2	0.0%		0.0%	1	0.0%		0.0%
肝 臓	18,453	59.2%	6,772	65.6%	3,450	54.6%	2,890	47.0%	2,351	60.9%	2,990	66.2%
肝腫瘍性病変	820	2.6%	308	3.0%	97	1.5%	171	2.8%	133	3.4%	111	2.5%
肝血管腫	991	3.2%	316	3.1%	219	3.5%	145	2.4%	184	4.8%	127	2.8%
肝嚢胞	8,244	26.4%	2,993	29.0%	1,620	25.7%	1,432	23.3%	993	25.7%	1,206	26.7%
肝石灰化	951	3.1%	315	3.1%	168	2.7%	150	2.4%	92	2.4%	226	5.0%
肝硬変	2	0.0%	2	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
慢性肝炎	2	0.0%	2	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
脂肪肝	7,356	23.6%	2,797	27.1%	1,328	21.0%	984	16.0%	933	24.2%	1,314	29.1%
肝内胆管拡張	48	0.2%	21	0.2%	12	0.2%	6	0.1%	8	0.2%	1	0.0%
肝内結石	2	0.0%	1	0.0%		0.0%	1	0.0%		0.0%		0.0%
肝その他	37	0.1%	17	0.2%	6	0.1%	1	0.0%	8	0.2%	5	0.1%
胆 道 系	8,803	28.2%	3,234	31.3%	1,655	26.2%	1,472	23.9%	1,140	29.5%	1,302	28.8%
胆嚢腫瘍性病変	9	0.0%	2	0.0%	3	0.0%	4	0.1%		0.0%		0.0%
胆嚢ポリープ	4,674	15.0%	1,776	17.2%	824	13.0%	642	10.4%	699	18.1%	733	16.2%
胆嚢炎	0	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
胆嚢腺筋症	10	0.0%		0.0%	2	0.0%		0.0%	3	0.1%	5	0.1%
胆嚢壁肥厚	665	2.1%	344	3.3%	57	0.9%	88	1.4%	97	2.5%	79	1.7%
胆泥	25	0.1%	15	0.1%	1	0.0%	3	0.0%	1	0.0%	5	0.1%
胆嚢結石	1,800	5.8%	543	5.3%	358	5.7%	456	7.4%	212	5.5%	231	5.1%
総胆管結石	2	0.0%		0.0%	2	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
総胆管拡張	406	1.3%	168	1.6%	54	0.9%	76	1.2%	32	0.8%	76	1.7%
胆道その他	1,212	3.9%	386	3.7%	354	5.6%	203	3.3%	96	2.5%	173	3.8%
脾 臓	677	2.2%	212	2.1%	207	3.3%	56	0.9%	69	1.8%	133	2.9%
脾腫瘍性病変	54	0.2%	25	0.2%	6	0.1%	9	0.1%	4	0.1%	10	0.2%
脾嚢胞	65	0.2%	34	0.3%	9	0.1%	11	0.2%	4	0.1%	7	0.2%
脾腫	114	0.4%	35	0.3%	18	0.3%		0.0%	37	1.0%	24	0.5%
脾その他	444	1.4%	118	1.1%	174	2.8%	36	0.6%	24	0.6%	92	2.0%
腎 臓	14,850	47.6%	5,711	55.3%	2,655	42.0%	2,457	39.9%	1,841	47.7%	2,186	48.4%
腎腫瘍性病変	381	1.2%	150	1.5%	40	0.6%	67	1.1%	74	1.9%	50	1.1%
腎嚢胞	10,715	34.4%	4,291	41.6%	1,891	29.9%	1,894	30.8%	1,118	28.9%	1,521	33.7%
腎結石	3,382	10.8%	1,186	11.5%	636	10.1%	449	7.3%	569	14.7%	542	12.0%
水腎症	0	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
腎盂拡張	237	0.8%	51	0.5%	39	0.6%	33	0.5%	68	1.8%	46	1.0%
腎腫大	7	0.0%	4	0.0%	1	0.0%		0.0%	1	0.0%	1	0.0%
腎萎縮	39	0.1%	13	0.1%	8	0.1%	7	0.1%	3	0.1%	8	0.2%
腎その他	89	0.3%	16	0.2%	40	0.6%	7	0.1%	8	0.2%	18	0.4%
膵 臓	786	2.5%	402	3.9%	95	1.5%	126	2.0%	96	2.5%	67	1.5%
膵腫瘍性病変	147	0.5%	62	0.6%	13	0.2%	21	0.3%	41	1.1%	10	0.2%
膵嚢胞	377	1.2%	185	1.8%	59	0.9%	80	1.3%	23	0.6%	30	0.7%
主膵管拡張	227	0.7%	135	1.3%	17	0.3%	23	0.4%	31	0.8%	21	0.5%
膵その他	35	0.1%	20	0.2%	6	0.1%	2	0.0%	1	0.0%	6	0.1%
その 他	274	0.9%	96	0.9%	45	0.7%	49	0.8%	26	0.7%	58	1.3%

\*一人に対し重複した所見はそれぞれを集計



### 3. カテゴリー分類集計

術者の総合カテゴリー分類から見た医師の判定結果を比較した。カテゴリー【1】と分類した 98.5%が「異常なし」、カテゴリー【2】及び【3'】は「要観察」、カテゴリー【3】及び【4】は「要精査」が最も率が高く、カテゴリー【5】としたものはすべて「要精査」となり、疑いも含めがんが発見された。総合カテゴリー【3】で「要観察」「要再検」と判定となった所見には胆嚢ポリープ(5mm 以上 10mm 未満)や腫瘍径の小さな充実性病変などが該当していた。(表 3 上)

全く描出できずカテゴリー【0】と評価したものは、膵臓が最も多く、次いで脾臓で令和 3 年度とほとんど差はなかった。(表 3 下)

－カテゴリー分類集計－(表 3 上・下)

	受診者数	%	判定結果										
			O: 異常なし		A: 要観察		B: 要再検		C: 要精査		D: 要医療		
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
総合カテゴリー分類	【0】	14	0.0%	6	42.9%	6	42.9%	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%
	【1】	8,026	25.7%	7,903	98.5%	122	1.5%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	【2】	18,507	59.4%	15	0.1%	18,127	97.9%	183	1.0%	179	1.0%	3	0.0%
	【3'】	1,520	4.9%	0	0.0%	1,278	84.1%	140	9.2%	101	6.6%	1	0.1%
	【3】	2,440	7.8%	0	0.0%	842	34.5%	336	13.8%	1,261	51.7%	1	0.0%
	【4'】	355	1.1%	0	0.0%	288	81.1%	12	3.4%	55	15.5%	0	0.0%
	【4】	307	1.0%	0	0.0%	39	12.7%	8	2.6%	259	84.4%	1	0.3%
	【5】	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%
合計	31,171	100.0%	7,924	25.4%	20,702	66.4%	681	2.2%	1,858	6.0%	6	0.0%	

カテゴリー分類	肝臓		胆嚢・胆道		膵臓		脾臓		腎臓	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
【0】	1	0.0%	26	0.1%	639	2.0%	414	1.3%	6	0.0%
【1】	15,468	49.6%	23,995	77.0%	29,777	95.5%	30,090	96.5%	20,776	66.7%
【2】	13,822	44.3%	5,308	17.0%	77	0.2%	599	1.9%	9,968	32.0%
【3'】	627	2.0%	557	1.8%	288	0.9%	26	0.1%	169	0.5%
【3】	688	2.2%	1,260	4.0%	338	1.1%	41	0.1%	236	0.8%
【4'】	328	1.1%	6	0.0%	17	0.1%	0	0.0%	5	0.0%
【4】	235	0.8%	19	0.1%	35	0.1%	1	0.0%	11	0.0%
【5】	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	31,171	100.0%	31,171	100.0%	31,171	100.0%	31,171	100.0%	31,171	100.0%

### 4. 精度管理について

受診者数 31, 171 人、精検指示者数 1, 858 人(6.0%)、精検受診者数 1, 482 人(80%)、異常ありと回報された受診者数 1, 183 人(80%)であった。がん発見数は疑いも含み、肝癌 6 件、転移性肝腫瘍 3 件、胆嚢癌 1 件、膵癌 3 件、腎癌 5 件、その他の悪性疾患 3 件の計 21 件であった。(表 4)

—精密検査結果(回報書集計結果)—(表4)

受診者数【31,171人】		合計	山形	庄内	最上	米沢	南陽
A精検指示者数		1,858	675	295	354	248	286
		6.0%	6.5%	4.7%	5.8%	6.4%	6.3%
B精検受診者数		1,482	570	230	287	184	211
		80%	84%	78%	81%	74%	74%
C異常なし		299	122	49	53	36	39
D異常あり		1,183	448	181	234	148	172
		80%	79%	79%	82%	80%	82%
肝臓	肝癌	4	2		2		
	肝癌(疑)	2		1	1		
	肝内胆管癌	0					
	転移性肝腫瘍	1			1		
	転移性肝腫瘍(疑)	2	1		1		
	肝腫瘤性病変	7	2	1	1	2	1
	肝血管腫	314	80	53	60	52	69
	肝嚢胞	149	56	17	42	9	25
	肝石灰化	4	1		1		2
	肝硬変	3	2		1		
	慢性肝炎	3	2		1		
	脂肪肝	73	26	8	11	9	19
	肝内胆管拡張	1					1
肝内結石	2	1				1	
肝その他	21	4	6	3	4	4	
胆嚢・胆道	胆嚢癌	1				1	
	胆嚢腫瘤性病変	2			2		
	胆嚢ポリープ	95	28	16	15	8	28
	胆嚢炎	22	4	10	2	3	3
	胆嚢腺筋症	138	74	18	12	14	20
	胆嚢壁肥厚	5	2		2	1	
	胆嚢結石	99	33	18	17	13	18
	総胆管癌(疑)	0					
	総胆管結石	6	1	2	2	1	
	総胆管拡張	35	17	5	8	2	3
胆道その他	21	8	5	3	2	3	
膵臓	膵癌	2	2				
	膵癌(疑)	1					1
	膵腫瘤性病変	81	47	9	15	8	2
	膵嚢胞	79	39	9	15	10	6
	膵その他	49	29	3	6	9	2
脾臓	脾腫瘤性病変	7	4		2		1
	脾嚢胞	2	1	1			
	脾腫	1	1				
	脾その他	3	2	1			
腎臓	腎癌計	5	1	1	2	1	
	(右腎癌)	3	1	1	1		
	(左腎癌)	1			1		
	腎癌(疑)	1				1	
	腎血管筋脂肪腫	28	12	5	4	3	4
	腎腫瘤性病変	13	5	2	2	2	2
	腎嚢胞	103	46	16	22	12	7
	腎結石	32	10	5	9	8	
	水腎症	2	2				
	腎盂拡張	10	3	2	2	1	2
腎その他	14	3	3	3	2	3	
その他	副腎腫瘍	15	8		4	2	1
	腹部大動脈瘤	12	2	4	4	1	1
	その他の悪性疾患	3	2		1		
	その他	58	26	8	7	6	11

※一人に対し重複した診断はそれぞれを集計し、「その他の悪性疾患」には疑いも含まれています。



## 5.がん発見年次推移

令和4年度のがん発見数は確定診13件、がん発見率0.04%、適中度は0.70%であった。がん疑いも含めると発見数21件(0.07%)、適中度1.13%であった。発見がんの部位別累計では、腎癌105件、次いで転移性肝腫瘍50件、肝癌43件、膵臓癌36件であった。受診履歴では逐年受診56.1%、次いで初回受診26.2%であった。(表5)

—がん発見年次推移—(表5)

	H3～H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	累計	部位別 発見率	受診履歴			
									初回	逐年	再受診	
悪性 確定 診断	肝癌	30	1	3	2	3	4	43	0.006%	15	18	10
	肝内胆管癌	2	3					5	0.001%		4	1
	転移性肝腫瘍	40	3	4		2	1	50	0.007%	9	33	8
	胆嚢癌	23	1		3	1	1	29	0.004%	10	16	3
	総胆管癌	6	1		2			9	0.001%	1	6	2
	腎癌	85	1	3	8	4	4	105	0.014%	38	48	19
	膵臓癌	31	1	1	1		2	36	0.005%	4	28	4
	転移性膵癌	2						2	0.000%		1	1
	尿管癌	4						4	0.001%		4	
	副腎癌	1						1	0.000%		1	
	胃癌	7		1		1		9	0.001%	1	6	2
	大腸癌	2						2	0.000%		1	1
	膀胱癌	2			1			4	0.001%		3	1
	前立腺癌	1						1	0.000%		1	
	卵巣癌	1						1	0.000%			1
	卵管癌	1						1	0.000%			1
	悪性リンパ腫	5		1	1			7	0.001%	1	6	
	直腸癌の骨転移	1						1	0.000%	1		
	十二指腸乳頭部癌	3						3	0.000%		1	2
	後腹膜腫瘍	1			1			2	0.000%	1	1	
	前骨髄球性白血病		1					1	0.000%	1		
	胃切除リンパ節転移		1					1	0.000%		1	
	胃GIST		1					1	0.000%	1		
中皮腫	1						1	0.000%			1	
結腸癌術後多発転移						1	1	0.000%		1		
癌性腹膜炎						1	1	0.000%	1			
計	249	14	13	19	13	13	321	0.043%	84	180	57	
発見率	0.04%	0.04%	0.04%	0.06%	0.04%	0.04%	0.04%	—	26.2%	56.1%	17.7%	
適中度	—	0.99%	0.74%	1.18%	0.73%	0.70%	—	—	—	—	—	
悪性 疑	肝癌(疑)	7		1	1	3	2	14	0.002%	2	8	4
	転移性肝腫瘍(疑)	2			1		2	5	0.001%	1	2	2
	胆嚢癌(疑)	3	2	1				6	0.001%	3	1	2
	総胆管癌(疑)	5			1	1		7	0.001%	2	4	1
	腎癌(疑)	6	2	6		4	1	19	0.003%	4	12	3
	尿管癌(疑)	1					2	3	0.000%	1	2	
	膵臓癌(疑)	8		2	1	2	1	14	0.002%	3	9	2
	十二指腸GIST(疑)	1						1	0.000%		1	
	悪性リンパ腫(疑)	2		1		1		4	0.001%		2	2
	十二指腸乳頭部(疑)		1					1	0.000%		1	
	胃癌(疑)	1						1	0.000%		1	
	後腹膜腫瘍(疑)					1		1	0.000%			1
	計	36	5	11	4	12	8	76	0.010%	16	43	17
合計	285	19	24	23	25	21	397	0.053%	100	223	74	
発見率	0.05%	0.05%	0.07%	0.07%	0.08%	0.07%	0.05%	—	25.2%	56.2%	18.6%	
適中度	—	1.34%	1.37%	1.43%	1.40%	1.13%	—	—	—	—	—	

## Ⅲ. 各種檢(健)診事業報告

### Ⅲ各種検(健)診事業報告

#### (1)胃がん検診

##### <検診方法>

・対象者：原則として40歳以上の地域住民及び職域職員

・方 法：問診、胃部エックス線撮影

<撮影方法> 基準撮影法Ⅰ：8枚

基準撮影法Ⅱ：12枚

高濃度バリウム(200%W/V)130ml使用

発泡剤 5.0g使用

(日本消化器がん検診学会 新・胃X線撮影法ガイドラインによる)

##### <結 果>

令和4年度の受診者数は、87,128人であり、初回受診率は、15.4%であった。要精検率は5.9%で内訳は地域住民6.6%、職域職員5.3%であった。精検受診率は78.8%で、内訳は地域住民83.4%、職域職員74.1%と職域職員が低率であった。がん発見率は0.07%で、内訳は地域住民0.12%、職域職員0.02%と職域職員が低率であった。年齢階層別のがん発見数は、65-69歳が17.5%、70-74歳が28.1%と最も高く、75-79歳が19.3%、80歳以上が21.1%で、がん発見数57件のうち65歳以上が49件で全体の86.0%を占めていた。精密検査・主要所見別割合は胃がんが1.42%、胃ポリープ13.8%、胃潰瘍4.03%、十二指腸潰瘍1.29%、異常なしが23.5%だった

##### <当年度実績>

	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検受診率 C/B	がん発見数 D	がん発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	38,878	2,551	6.6%	2,128	83.4%	47	0.12%	1.84%
職域職員	48,250	2,552	5.3%	1,892	74.1%	10	0.02%	0.39%
合 計	87,128	5,103	5.9%	4,020	78.8%	57	0.07%	1.12%

##### がん検診事業評価指標値

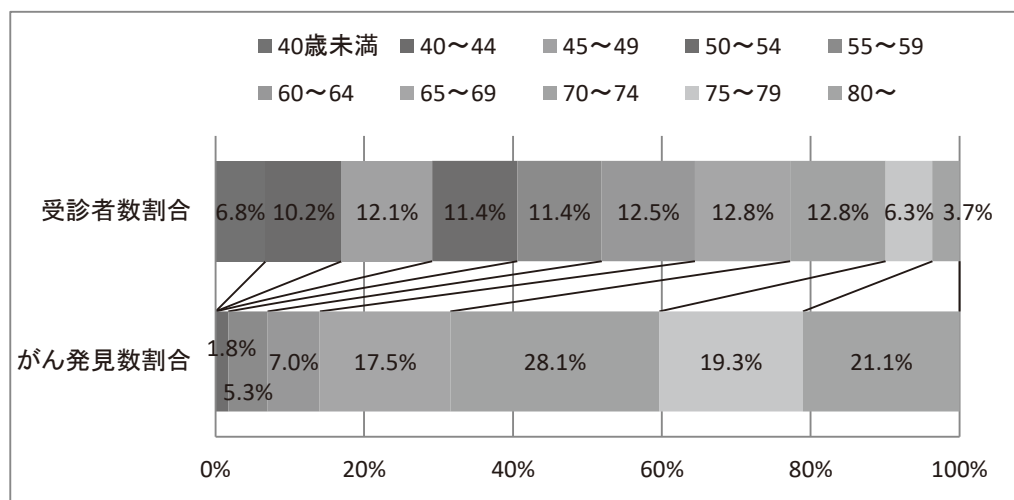
要精検率 許容値：11.0%以下

精検受診率 許容値：70%以上 目標値：90%以上

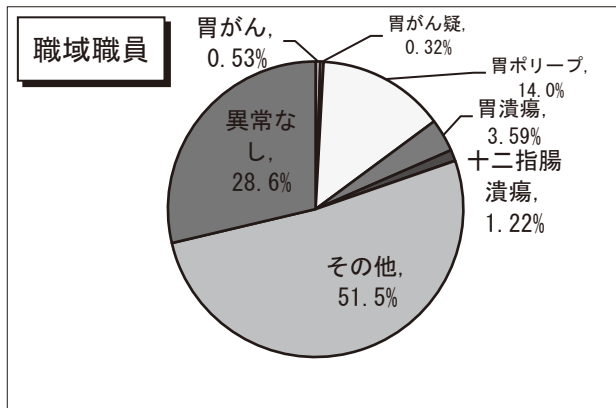
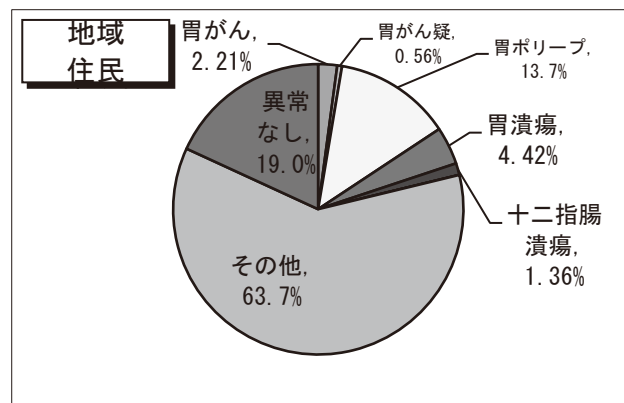
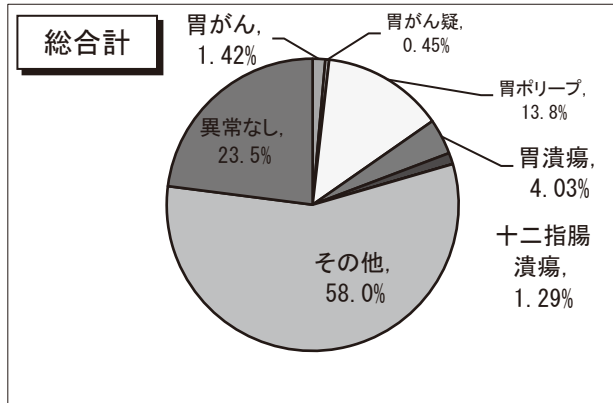
がん発見率 許容値：0.11%以上

陽性反応適中度 許容値：1.0%以上

##### <年齢階層別受診者数とがん発見数の割合>



<精密検査・主要所見別割合>



年齢階層別実施成績  
 総合計（地域住民）

(表-1)  
 (人)

区分	検査															精密検査											結果						胃がん (確診)					
	受診者数 A	初回受診数 B	初回受診率(%) B/A	判定区分					要精検				同左率(%) E/D	検査項目			胃がん	胃がん疑	胃ポリープ	胃かいよう	か十二指よう腸	共存かいよう	異型上皮巢	その他	異常なし	経過観察	陽性反応適中 F/D	がん発見率(%) F/A										
				要精検		要精検項目			内視鏡	直接撮影	併用	その他		生検   再掲	胃がん	胃がん疑													胃ポリープ	胃かいよう	か十二指よう腸	共存かいよう	異型上皮巢	その他	異常なし	経過観察	陽性反応適中 F/D	がん発見率(%) F/A
				人員	要精検率(%)	初計	D	C/B																														
C	D	C/B	D/A	初計	併用	その他	内視鏡	直接撮影	併用	その他	生検   再掲	胃がん	胃がん疑	胃ポリープ	胃かいよう	か十二指よう腸	共存かいよう	異型上皮巢	その他	異常なし	経過観察	陽性反応適中 F/D	がん発見率(%) F/A															
40歳未満	144	69	47.9	48	2	3	2.9	2.1	3							2	66.7												1	1	1							
40~44歳	694	266	38.3	432	10	26	3.8	3.7	26							16	61.5												9	5	1							
45~49歳	814	174	21.4	523	8	30	4.6	3.7	30							21	70.0												12	7	3	0.00						
50~54歳	806	165	20.5	420	5	50	3.0	6.2	50							37	74.0												21	10	5							
55~59歳	877	158	18.0	459	8	55	5.1	6.3	55							42	76.4												28	9	5							
60~64歳	1,795	403	22.5	727	31	133	7.7	7.4	133							101	75.9												67	20	15	1.50						
65~69歳	3,670	655	17.8	1,288	2,087	53	295	8.1	8.0	295						233	79.0												181	28	27	2.03						
70~74歳	4,998	496	9.9	1,489	3,079	63	450	12.7	9.0	450						360	80.0												261	57	33	2.44						
75~79歳	2,949	240	8.1	795	1,873	30	281	12.5	9.5	281						243	86.5												175	37	13	3.56						
80歳以上	1,869	150	8.0	425	1,258	23	186	15.3	10.0	185						157	84.4												115	25	13	6.45						
計	18,616	2,776	14.9	6,631	10,476	233	1,509	8.4	8.1	1,508						2,121	80.3												870	199	116	2.72						
40歳未満	138	72	52.2	100	37	1	1.4	0.7	1							1	100.0												1	0								
40~44歳	905	395	43.6	615	270	14	20	3.5	2.2	20						17	85.0												8	4	1							
45~49歳	990	226	22.8	622	335	4	33	1.8	3.3	32						31	93.9												15	7	1							
50~54歳	1,077	231	21.4	622	413	11	42	4.8	3.9	42						33	78.6												11	10	2.38							
55~59歳	1,415	251	17.7	778	573	16	64	6.4	4.5	63						57	89.1												35	12	6	3.13						
60~64歳	2,859	570	19.9	1,438	1,288	28	133	4.9	4.7	132						117	88.0													72	32	7						
65~69歳	4,430	560	12.6	1,808	2,421	35	201	6.3	4.5	199						171	85.1												104	49	14							
70~74歳	4,794	399	8.3	1,693	2,811	29	290	7.3	6.0	290						261	90.0												195	51	20	0.69						
75~79歳	2,369	231	9.8	745	1,471	21	153	9.1	6.5	152						140	91.5												108	22	7	0.65						
80歳以上	1,285	142	11.1	371	809	21	105	14.8	8.2	104						88	83.8												56	19	6							
計	20,262	3,077	15.2	8,792	10,428	180	1,042	5.8	5.1	1,035						916	87.9												605	206	62	0.58						
40歳未満	282	141	50.0	193	85	3	4	2.1	1.4	4						3	75.0												2	1	1							
40歳以上	38,596	5,712	14.8	15,230	20,819	410	2,547	7.2	6.6	2,539						8	2.125												1,473	404	177	1.85						
合計	38,878	5,853	15.1	15,423	20,904	413	2,551	7.1	6.6	2,543						8	2.128												1,475	405	178	1.84						
40歳未満	247	125	50.6	166	77	3	4	2.4	1.6	4						3	75.0												2	1	1							
40歳以上	15,550	2,404	15.5	5,886	8,523	188	1,141	7.8	7.3	1,139						2	948												699	152	93	2.19						
合計	23,046	3,308	14.4	9,344	12,296	222	1,406	6.7	6.1	1,400						6	1,177												774	252	84	1.56						

年齢階層別実績成績  
総合計（職域職員）

(表-2)  
(人)

区分	受診者数				初回受診率 (%)	判定区分				同左率 (%)	検査項目		検査結果								胃がん(確診)										
	A	B	C	D		初	計	要精検	要精検率 (%)		E/D	内視鏡	直接撮影	併用	その他	生検	胃がん	胃がん疑	胃ホリ上げ	胃かいよう	かいよう腸	共存かいよう	異型上皮異	その他	異常なし	経過観察	F/D	F/A			
40歳未満	3,507	1,127	32.1	2,280	1,090	50	137	4.4	3.9	137					92	67.2	93	5	1	1	53	37	2								
40~44歳	4,200	736	17.5	2,589	1,448	31	163	4.2	3.9	163					121	74.2	121	3	1	2	60	48	2								
45~49歳	5,011	521	10.4	2,867	1,920	24	224	4.6	4.5	223					142	63.4	143	6	1	3	97	41	3								
50~54歳	4,529	483	10.7	2,303	1,950	36	276	7.5	6.1	275					182	65.9	182	2	1	4	123	51	1								
55~59歳	4,275	439	10.3	1,997	2,027	29	251	6.6	5.9	250					178	70.9	178	8	1	2	108	50	7								
60~64歳	3,776	459	12.2	1,503	1,987	34	286	7.4	7.6	286					203	71.0	202	2	1	2	138	42	8								
65~69歳	2,071	255	12.3	689	1,183	33	199	12.9	9.6	199					150	75.4	149	1	1	4	95	36	4								
70~74歳	1,012	128	12.6	273	619	23	120	18.0	11.9	120					86	71.7	85	1	6	2	68	11	3								
75~79歳	122	9	7.4	35	73	1	14	11.1	11.5	14					10	71.4	10	1	2	7	1	1									
80歳以上	25	7	28.0	8	15	1	2	14.3	8.0	2					2						2										
計	28,528	4,164	14.6	14,544	12,312	262	1,672	6.3	5.9	1,669					4	1,166	69.7	1,165	1	10	74	7	5	124	54	19	30	0.42	0.02		
40歳未満	2,113	828	39.2	1,451	592	32	70	3.9	3.3	70					51	72.9	51	1	1	1	27	20									
40~44歳	3,103	701	22.6	1,998	1,003	17	102	2.4	3.3	102					81	79.4	81	1	1	1	27	37									
45~49歳	3,763	474	12.6	2,231	1,389	19	143	4.0	3.8	142					111	77.6	110	1	1	1	48	38	1								
50~54歳	3,555	447	12.6	1,940	1,455	15	160	3.4	4.5	160					134	83.8	134	2	6	2	68	47	4								
55~59歳	3,325	369	11.1	1,683	1,485	22	147	6.0	4.4	146					126	85.7	124	2	4	2	73	32	1								
60~64歳	2,474	336	13.6	1,086	1,243	22	145	6.5	5.9	143					124	85.5	123	6	5	1	72	39	4								
65~69歳	986	149	15.1	384	527	12	75	8.1	7.6	74					66	88.0	67	2	1	3	47	5	1								
70~74歳	372	55	14.8	107	228	11	37	20.0	9.9	37					32	86.5	33	1	1	1	26	5	2								
75~79歳	28	5	17.9	10	18																										
80歳以上	3	1		2	1	1	1			1					1		1				1										
計	19,722	3,365	17.1	10,900	7,942	151	880	4.5	4.5	875					6	726	82.5	724	2	5	22	3	1	140	14	4	388	224	13	0.34	0.02
40歳未満	5,620	1,955	34.8	3,731	1,682	82	207	4.2	3.7	207					143	69.1	144				80	57	2								
40歳以上	42,830	5,574	13.1	21,713	18,572	331	2,345	5.9	5.5	2,337					10	1,749	74.6	1,745	3	15	90	10	6	255	66	22	1,059	484	41	0.43	0.02
合計	48,250	7,529	15.6	25,444	20,254	413	2,552	5.5	5.3	2,544					10	1,892	74.1	1,889	3	15	96	10	6	264	68	23	1,139	541	43	0.39	0.02
40歳未満	1,500	506	33.7	1,003	432	26	65	5.1	4.3	65					50	76.9	51				2		2	1	1	27	22	1			
40歳以上	4,120	1,449	35.2	2,728	1,250	56	142	3.9	3.4	142					93	65.5	93				7	1									
40歳以上	11,971	1,489	12.4	6,455	4,912	74	604	5.0	5.0	603					2	496	82.1	496	1	5	22	2	71	16	5	305	144	19			
合計	30,659	4,085	13.3	15,258	13,660	257	1,741	6.3	5.7	1,734					8	1,253	72.0	1,249	2	10	88	10	4	184	50	17	754	340	22	0.57	0.03

## (2)大腸がん検診

### <検診方法>

- ・対象者：原則として40歳以上の地域住民及び職域職員
- ・方法：一次検診は問診および採便スティックを用いたラテックス凝集免疫比濁法による免疫学的便潜血検査2日法

### <結 果>

受診者数は130,217人で、年齢構成は70～74歳、65～69歳の順で多く、60歳以上で過半数を占めていた。

要精検率は、全体で4.9%、地域住民が5.7%、職域職員が4.0%であった。精検受診率は、全体で72.7%、地域住民が76.5%、職域職員が66.7%と職域職員が低率であった。

がん発見率は、全体で0.13%、地域住民が0.17%、職域職員が0.08%と職域職員が低率であった。年齢階層別のがん発見数割合は、65歳～69歳が最も多く23.6%、次いで70歳～74歳が18.8%で、60歳以上が全体の82.9%を占めていた。

精密検査における主要所見別割合では、大腸がん確診165人(3.4%)、大腸ポリープ2,554人(54.9%)、その他の疾患445人(7.2%)であった。

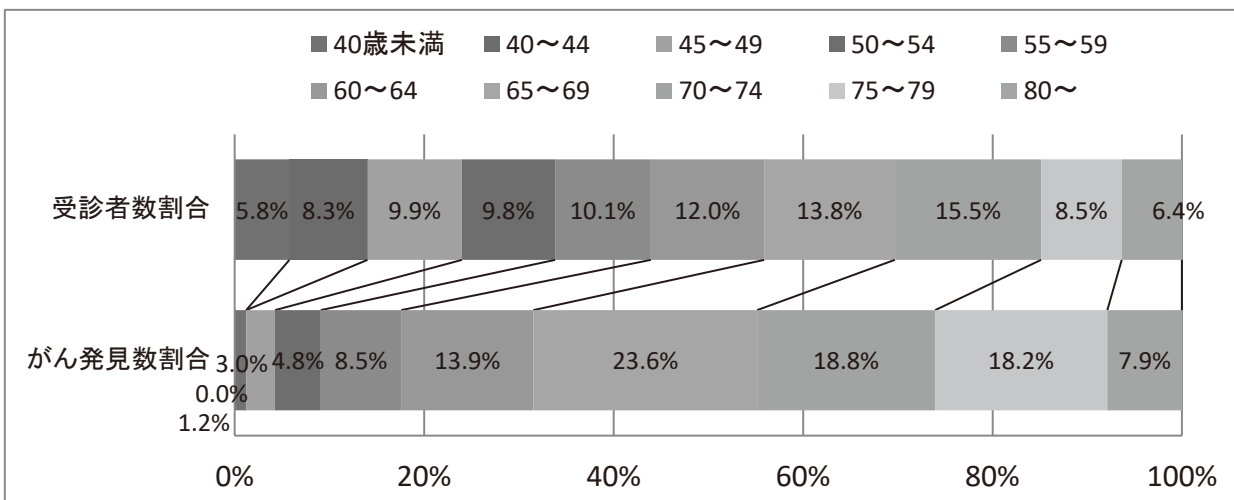
### <当年度実績>

	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検受診率 C/B	がん発見者数 D	がん発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	68,449	3,905	5.7%	2,989	76.5%	115	0.17%	2.94
職域職員	61,768	2,443	4.0%	1,629	66.7%	50	0.08%	2.05
合 計	130,217	6,348	4.9%	4,618	72.7%	165	0.13%	2.60

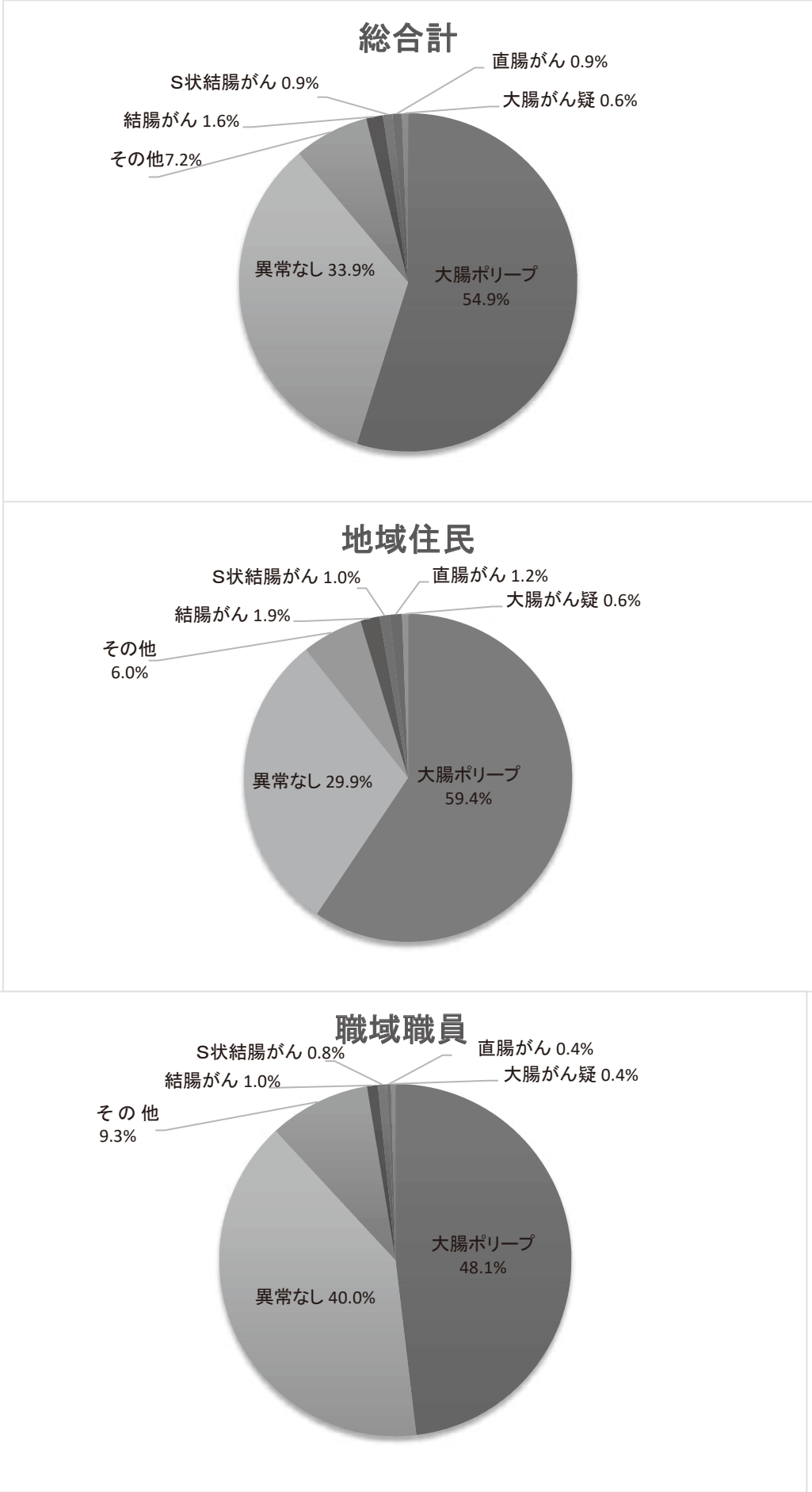
### がん検診事業評価指標値

要精検率	許容値:7.0以下
精検受診率	許容値:70% 目標値:90%
がん発見率	許容値:0.13%以上
陽性反応適中度	許容値:1.9%以上

### <年齢階層別受診者数とがん発見数の割合>



<精密検査・主要所見別割合>





<年齢階層別実施成績>

総合計(地域住民)

(人)

区分	一次検診				受診者数	同左率(%)	精密検査結果				大腸がん検診人数	がん発見率(%)	陽性反応適中度					
	受診者数	材料不適	便潜血陰性	要精検			検査項目							大腸がん疑い	大腸ポリープ	その他	異常なし	
				人員			率(%)	C	F・注腸X線併用	S・注腸X線単独								その他
A	B	B/A	C	C/B	①	②	③	D	D/A	D/B								
40歳未満	194	188	6	3.1	5	5	83.3	5	83.3	1	4	4						
40～44歳	855	820	35	4.1	25	25	71.4	25	71.4	11	7	9						
45～49歳	972	938	34	3.5	19	19	55.9	19	55.9	9	4	8						
50～54歳	1,024	975	49	4.8	36	34	73.5	34	73.5	2	1	18	1	0.10	2.04			
55～59歳	1,124	1,075	49	4.4	32	31	65.3	31	65.3	1	6	21	6					
60～64歳	2,372	2,227	145	6.1	99	95	68.3	95	68.3	4	3	65	6	0.25	4.14			
65～69歳	5,334	4,952	382	7.2	284	278	74.3	278	74.3	5	6	207	15	0.36	4.97			
70～74歳	8,043	7,456	587	7.3	418	401	71.2	401	71.2	13	4	299	31	0.25	3.41			
75～79歳	5,164	4,717	447	8.7	357	341	79.9	341	79.9	11	6	248	28	0.33	3.80			
80歳以上	4,166	3,724	442	10.6	338	319	76.5	319	76.5	13	5	231	25	0.14	1.36			
計	29,248	27,072	2,176	7.4	1,613	1,548	74.1	1,548	74.1	49	19	1,109	129	0.24	3.17			
40歳未満	252	245	7	2.8	4	4	57.1	4	57.1			2	2					
40～44歳	1,184	1,134	50	4.2	37	35	74.0	35	74.0	2		10	5	22				
45～49歳	1,418	1,373	45	3.2	31	30	68.9	30	68.9	1		10	7	14				
50～54歳	1,647	1,591	56	3.4	40	40	71.4	40	71.4			17	2	21				
55～59歳	2,247	2,186	61	2.7	47	44	77.0	44	77.0	3	1	23	4	20	2	0.09	3.28	
60～64歳	4,737	4,567	170	3.6	133	130	78.2	130	78.2	3	2	51	14	68	2	0.04	1.18	
65～69歳	8,105	7,823	282	3.5	228	218	80.9	218	80.9	8	2	113	30	77	12	0.15	4.26	
70～74歳	9,886	9,445	441	4.5	373	352	84.6	352	84.6	2	4	188	35	146	10	0.10	2.27	
75～79歳	5,655	5,371	284	5.0	245	231	86.3	231	86.3	2	4	129	23	83	13	0.23	4.58	
80歳以上	4,070	3,737	333	8.2	238	215	71.5	215	71.5	1	1	134	33	68	7	0.17	2.10	
計	39,201	37,472	1,729	4.4	1,376	1,299	79.6	1,299	79.6	8	6	675	155	521	46	0.12	2.66	
40歳未満	446	433	13	2.9	9	9	69.2	9	69.2			3	6					
40歳以上	68,003	64,111	3,892	5.7	2,980	2,838	76.6	2,838	76.6	3	25	1,784	281	863	115	0.17	2.95	
合計	68,449	64,544	3,905	5.7	2,989	2,847	76.5	2,847	76.5	3	25	1,784	284	869	115	0.17	2.94	

＜年齢階層別実施成績＞

総合計（職域職員）

（人）

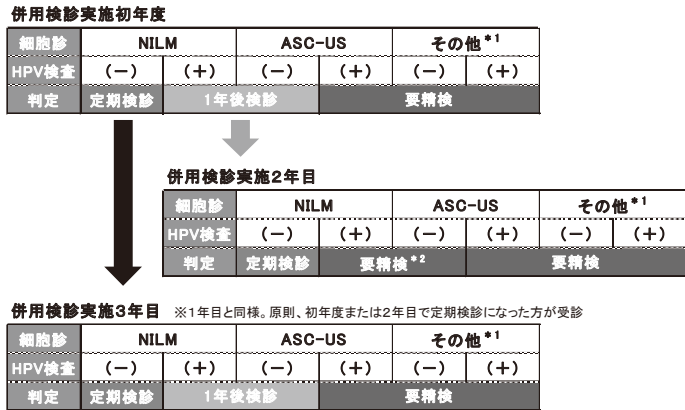
区分	一次検診				精密検査結果				精検結果（発見疾病延べ数）				大腸がん検診人数	D/A	D/B		
	受診者数	材料不適	便潜血陰性	要精検人員	B	B/A	受診者数	C/B	C/F	検査項目						D	
										SF・注腸X線併用	注腸X線単独	その他					①
40歳未満	4,010		3,882	128	3.2	71	55.5	68	3		1	17	12	41	1	0.02	0.78
40～44歳	4,776		4,614	162	3.4	94	58.0	89	5			36	18	43			
45～49歳	5,807		5,630	177	3.0	109	61.6	100	8	1	2	48	13	47	3	0.05	1.69
50～54歳	5,417		5,157	260	4.8	155	59.6	152	3	1	2	88	15	51	4	0.07	1.54
55～59歳	5,142		4,918	224	4.4	145	64.7	141	3	4	2	88	10	43	7	0.14	3.13
60～64歳	4,837		4,566	271	5.6	180	66.4	173	1	6	3	113	16	46	9	0.19	3.32
65～69歳	2,909		2,703	206	7.1	159	77.2	154	4	1	4	118	14	24	6	0.21	2.91
70～74歳	1,537		1,411	126	8.2	89	70.6	87	2		1	53	8	27	1	0.07	0.79
75～79歳	188		172	16	8.5	12	75.0	12				5	2	3			
80歳以上	34		31	3	8.8	2	66.7	1	1			1	1				
計	34,657		33,084	1,573	4.5	1,016	64.6	977	2	2	35	567	109	325	31	0.09	1.97
40歳未満	3,062		2,931	131	4.3	89	67.9	86	3		1	16	9	64	1	0.03	0.76
40～44歳	3,937		3,817	120	3.0	78	65.0	74	4			22	9	50			
45～49歳	4,750		4,598	152	3.2	102	67.1	98	2	2	1	31	10	60	2	0.04	1.32
50～54歳	4,720		4,593	127	2.7	86	67.7	82	4	4	1	32	10	41	3	0.06	2.36
55～59歳	4,645		4,517	128	2.8	96	75.0	88	1	7	1	34	10	50	5	0.11	3.91
60～64歳	3,633		3,502	131	3.6	100	76.3	94	6	6	3	42	1	53	6	0.17	4.58
65～69歳	1,639		1,587	52	3.2	38	73.1	37		1	1	16	2	18	2	0.12	3.85
70～74歳	653		626	27	4.1	22	81.5	21	1	1		9	1	12			
75～79歳	60		59	1	1.7	1	100.0	1						1			
80歳以上	12		11	1	8.3	1	100.0	1				1					
計	27,111		26,241	870	3.2	613	70.5	582	3	28	6	203	52	349	19	0.07	2.18
40歳未満	7,072		6,813	259	3.7	160	61.8	154		6		33	21	105	2	0.03	0.77
40歳以上	54,696		52,512	2,184	4.0	1,469	67.3	1,405	5	2	57	737	140	569	48	0.09	2.20
合計	61,768		59,325	2,443	4.0	1,629	66.7	1,559	5	2	63	770	161	674	50	0.08	2.05

### (3)子宮頸がん検診

#### <検診方法>

対象者：20歳以上の地域住民及び職域職員  
方法：問診、視診及び双合診、細胞診、  
細胞診・HPV-DNA検査併用検診

図1【細胞診・HPV-DNA併用検診フロー】



\*1「その他」ASC-H,LSIL,HSIL,SCC,AGC,AIS,Adenocarcinoma,Other malig.

\*2細胞診判定ASC-US、あるいはHPV検査陽性が2年続いた場合、要精検となります。

#### <結果>

##### 【細胞診】

受診者数は35,108人、そのうち初回受診者数は6,731人(19.2%)。要精検者数は468人(1.3%)、内訳は地域住民159人(0.7%)、職域職員309人(2.2%)と職域職員が高率であった。精検受診者数は374人(79.9%)、内訳は地域住民127人(79.9%)、職域職員247人(79.9%)。がん発見数は27人(0.08%)、内訳は地域住民9人(0.04%)、職域職員18人(0.13%)と職域職員が高率であった。年齢階層別がん発見率は、職域職員の30～34歳代が最も高く0.50%であった。精密検査・主要所見では、異形成が地域住民33.1%、職域職員45.3%、上皮内がんが地域住民6.9%、職域職員6.9%であった。

##### 【細胞診・HPV-DNA検査併用検診】

平成27年度より細胞診・HPV-DNA検査併用検診(図1)を実施した。

令和3年度(初年度)受診者数は1,419人、そのうちASC-US/HPV(-)4人、NILM/HPV(+)  
33人、併せて37人(2.6%)が1年後検診該当であった。1年後検診該当者37人のうち17人が令和4年度に同検診を受診した。(1年後検診受診率45.9%)

1年後検診の実施成績は、受診した人のうち要精密検査該当が8人であった。(要精検率47.1%)精密検査該当者8人中7人が精密検査を受診した。(精検受診率87.5%) 精検結果内訳は、異常なし6人、CIN2-3疑い1人であった。

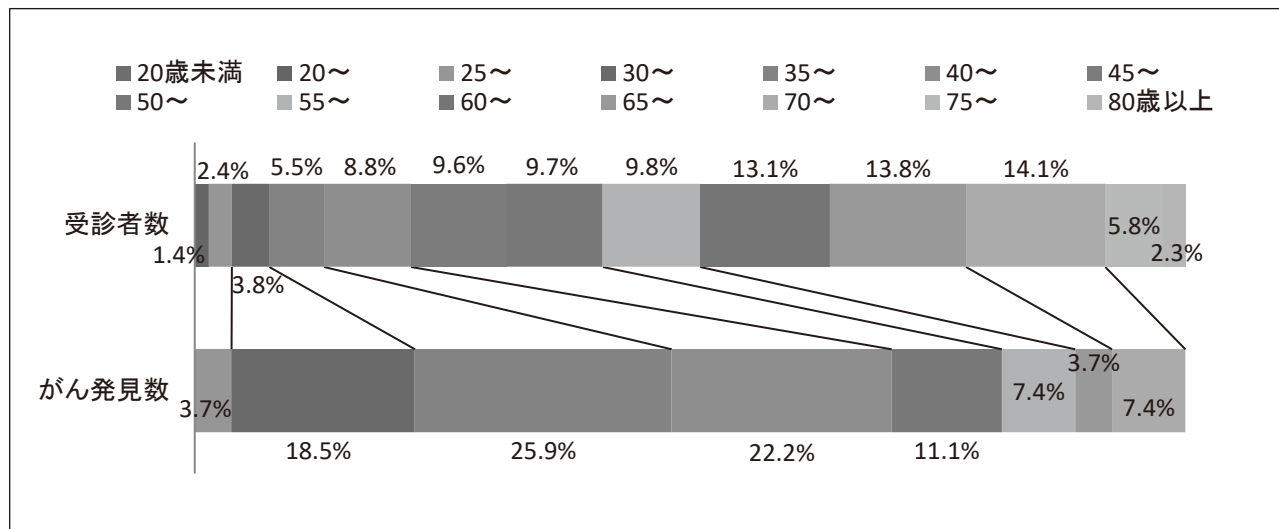
#### <当年度実績>

	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検 受診率 C/B	がん 発見者数 D	がん 発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	21,205	159	0.7%	127	79.9%	9	0.04%	5.66
職域職員	13,903	309	2.2%	247	79.9%	18	0.13%	5.83
合計	35,108	468	1.3%	374	79.9%	27	0.08%	5.77

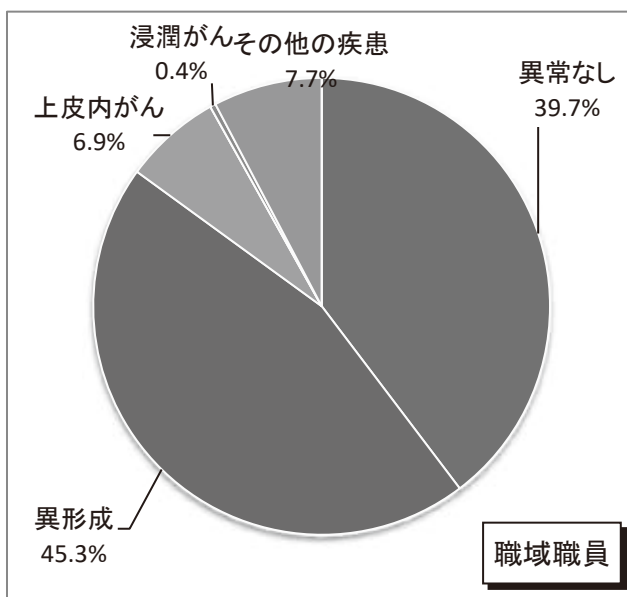
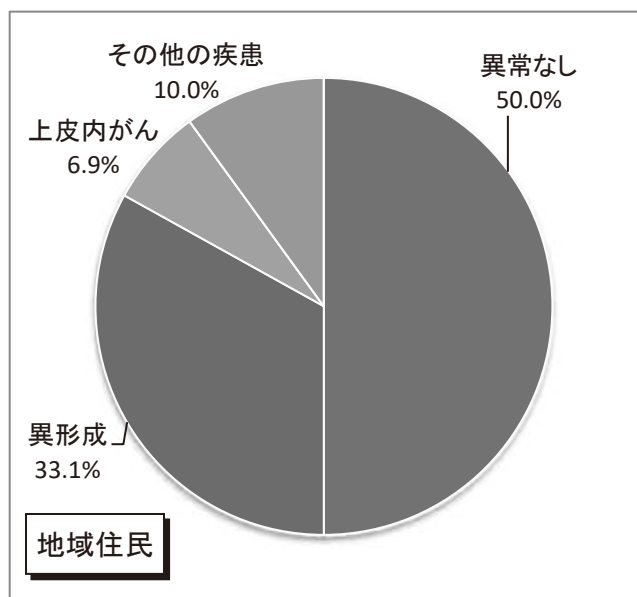
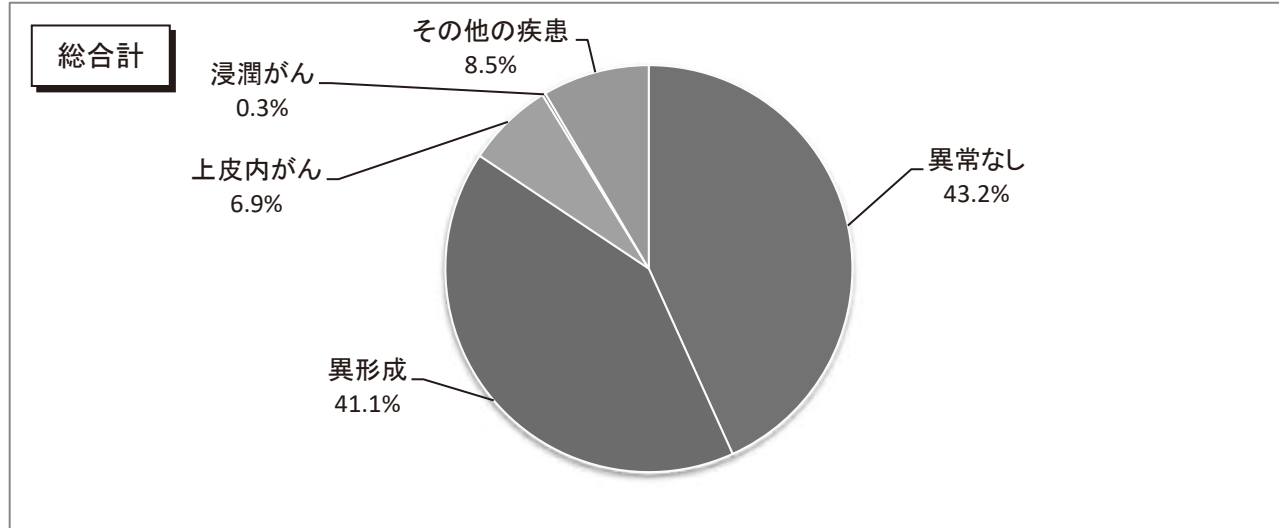
がん検診事業評価指標値

要精検率	許容値：1.4以下	
精検受診率	許容値：70%	目標値：90%
がん発見率	許容値：0.05%以上	
陽性反応適中度	許容値：4.0%以上	

### <年齢階層別受診者数とがん発見数・率>



### <精密検査・主要所見別割合>



＜ 年齢階層別実施成績 ＞

総合計(地域住民)

区分	一次検診結果											精密検査結果							がん発見率(%)	陽性反応適中度									
	受診者数				頸部細胞診検査結果							発見疾病(延べ数)			受診者数						同左率(%)								
	A	陰性	NILM	判定不能	要精検							頸管	子宮筋腫	子宮脱	卵巣腫瘍	膣炎	その他	C			C/B	C/B	子宮頸がんD	子宮体がん	異形成 (GINI,2.階)	その他の疾患	異常なし	D/A	D/B
					人員	率(%)	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC																		
B	B/A	B/A	B/A	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno	Other	頸管	子宮筋腫	子宮脱	卵巣腫瘍	膣炎	その他	C	C/B	C/B	子宮頸がんD	子宮体がん	異形成 (GINI,2.階)	その他の疾患	異常なし	D/A	D/B	
20歳未満																													
20～24歳	78	74			1	2	1													3	75.0			3					
25～29歳	139	137			1	1									1	2				2	100.0			1		1			
30～34歳	312	304			2	1	5								1	1				7	87.5			4		2			
35～39歳	509	496			5	1	5	2							3	1				8	61.5			3		2			7.69
40～44歳	1,163	1,138			12	6	4	3	1						10	12	2			21	84.0			7		2			8.00
45～49歳	1,313	1,287			13	6	5	2							20	13	1			18	69.2			8		2			
50～54歳	1,321	1,307			6	2	5	1							18	16	1			13	92.9			5		1			7.14
55～59歳	1,661	1,643			10	4	2	1	1						9	1	5	2		16	88.9			4		1			11.11
60～64歳	2,998	2,988			8	1	1								21	7	5	6		10	100.0			2		1			
65～69歳	4,230	4,218			8	3			1						21	3	13	2		9	75.0			1		1			8.33
70～74歳	4,670	4,650			12	3	2	2	1						15	3	18	2		15	75.0			3		1			10.00
75～79歳	2,021	2,019			1	1	1								2	7	3	6		1	50.0					1			
80歳以上	790	785			2		3								1	3		2		4	80.0			2		2			
計	21,205	21,046			80	28	36	12	4						121	59	53	1	18	145	79.9			43		13			5.66

(人)

＜ 年齢階層別実施成績 ＞  
 総合計（職域職員）

（人）

区分	一次検査結果																精密検査結果						陽性反応適中度 D/B	がん発見率（％） D/A	区分																				
	受診者数					頸部細胞診検査結果											子宮頸がんD																												
	判定不能		要精検				発見疾病（延べ数）						同左率（％）		子宮体内がん		異形成	その他の疾患		異常なし																									
	陰性	NILM	人員	率（％） B/A	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno	Other	頸管ポリープ	子宮筋腫	子宮脱	卵巢腫瘍	膈炎	その他	受診者数	C	C/B				CIN3(AIS)	上皮がん	微小浸潤がん	浸潤がん	子宮頸がんD	子宮体内がん	CIN1,2(腺)	異形成	その他の疾患	異常なし										
20歳未満	3	3																																											
20～24歳	413	391	22	5.3	1	6	15										1	2	15		68.2			9					9	2	4														
25～29歳	689	651	38	5.5	9	6	18	5									1	1	34		89.5			18	1			18	1	14															
30～34歳	1,008	977	31	3.1	7	4	9	11									4	8	29		93.6			12	4		12	4	8																
35～39歳	1,437	1,395	42	2.9	14	6	8	13				1					1	4	37		88.1			18	6		18	1	12																
40～44歳	1,922	1,862	60	3.1	17	11	13	18		1							2	2	44		73.3			23	4		23	1	16																
45～49歳	2,056	2,011	45	2.2	14	11	10	9	2								2	3	31		68.9			12	2		12	2	17																
50～54歳	2,100	2,057	43	2.0	19	6	12	4	1	1							1	4	36		83.7			12	1		12	5	17																
55～59歳	1,797	1,777	20	1.1	10	2	6	2									4	1	15		75.0			7			7	1	7																
60～64歳	1,588	1,582	6	0.4	6												2	2	4		66.7								1																
65～69歳	599	597	2	0.3			2												2		100.0			1			1	1																	
70～74歳	265	265															2																												
75～79歳	22	22																																											
80歳以上	4	4																																											
計	13,903	13,594	309	2.2	97	52	93	62	1	3	1	1					1	16	247		79.9			112	17		112	19	98																

I 各種検（健）診の流れ

II 検（健）診委員会

III 各種検（健）診事業報告

IV その他の事業

V 論文投稿

## (4)乳がん検診

### ＜ 検診方法 ＞

- ・対象者：原則として40歳以上の地域住民及び職域職員
- ・方法：問診、乳房エックス線検査 1方向(MLO)又は2方向(MLO・CC)
  - 視診及び触診(甲状腺腫脹の有無の観察含む)
  - 乳頭分泌細胞診(乳頭分泌がある場合)
  - 希望者に乳房超音波検査

### ＜ 結果 ＞

令和4年度の受診者数は、35,063人であった。要精検率は4.7%で、内訳は地域住民4.1%、職域職員5.8%と地域住民で低率であった。精検受診率は91.3%で、内訳は地域住民92.2%、職域職員90.3%と精検受診目標値90%を上回った。がん発見率は0.20%で、内訳は地域住民0.20%、職域職員0.21%と地域住民が低率であった。年齢階層別がん発見割合では、70～74歳で18.3%、65～69歳で16.9%、50～54歳で16.9%の順であり、50～74歳で56人と全体の78.9%を占めていた。精密検査における主要所見別割合は、乳がんが4.7%、異常なし61.4%、乳腺症14.1%、乳腺良性腫瘍15.9%であった。

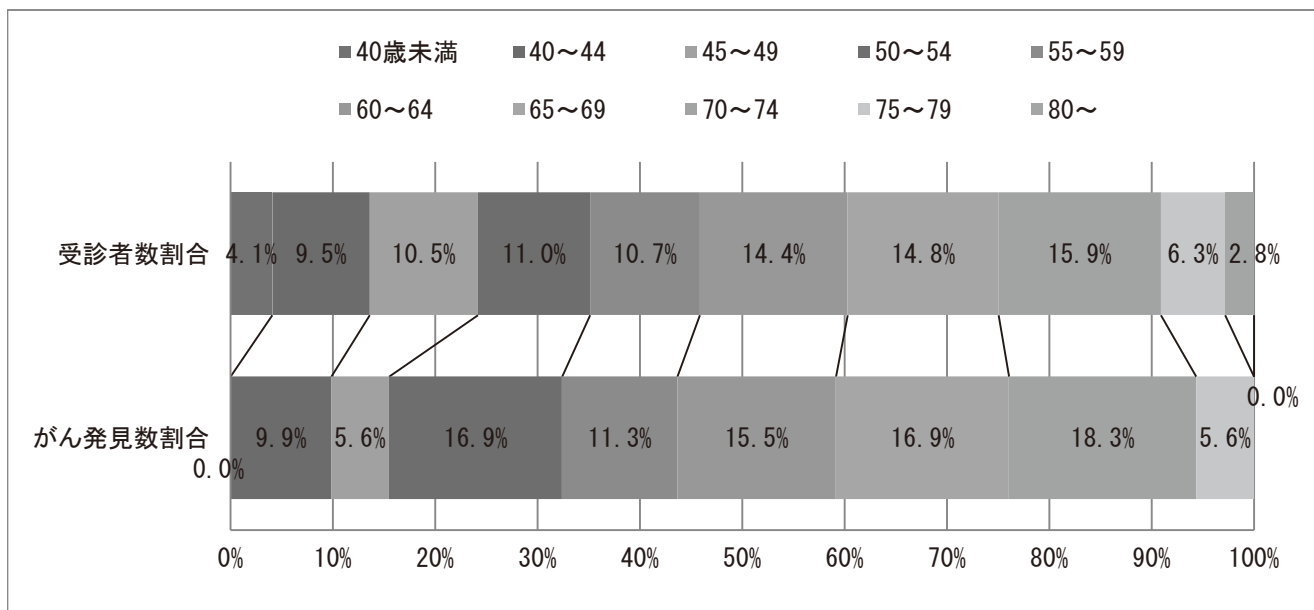
### ＜ 当年度実績 ＞

	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検 受診率 C/B	がん発見者数 D	がん発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	21,870	900	4.1%	830	92.2%	43	0.20%	4.78%
職域職員	13,193	764	5.8%	690	90.3%	28	0.21%	3.66%
合計	35,063	1,664	4.7%	1,520	91.3%	71	0.20%	4.27%

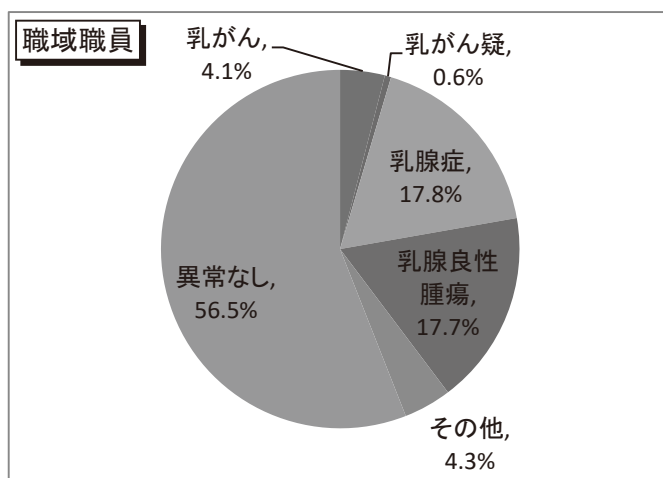
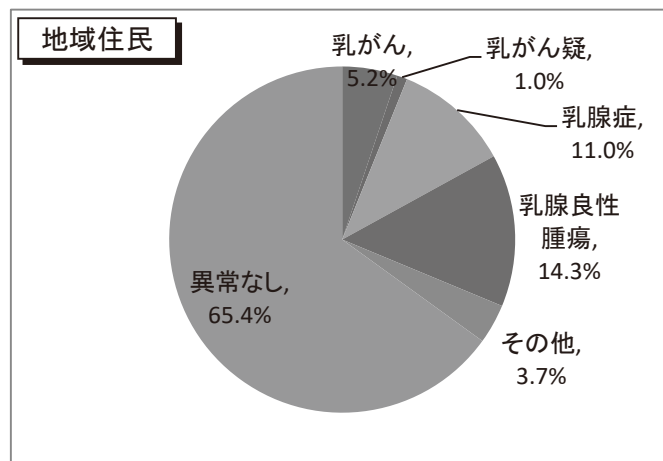
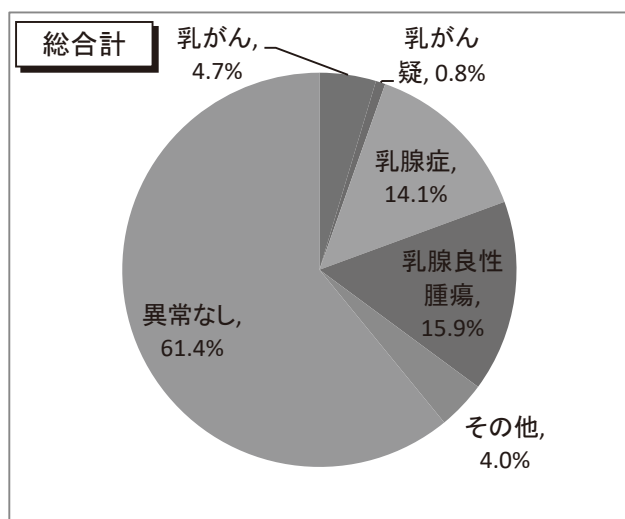
#### がん検診事業評価指標値

- 要精検率 許容値：11.0%以下
- 精検受診率 許容値：80%以上（目標値：90%以上）
- がん発見率 許容値：0.23%以上
- 陽性反応適中度 許容値：2.5%以上

### <年齢階層別がん発見割合>



### <精密検査・主要所見別割合>





年齢階層別実施成績

総合計（地域住民）

（表一）  
（人）

区分	一次検診結果						精密検査結果										乳がん（確診）		区分
	受診者数 A	初回受診数 B	初回受診率（%） B/A	異常認めず	判定区分			精検査受診者数 D	精検査受診率（%） D/C	発見疾病（延べ数）			陽性反応適中度 E/C	がん発見率（%） E/A					
					視触診から	マンモから	両方から			根拠別の要精検査者数 C	要精検査率（%） C/A	要精検査時の根拠別乳がん確診者数 E			乳がん疑い	乳腺症	乳腺良性腫瘍	その他	
女	40歳未満	73	40	54.8	66	7	7	6	85.7			1	5				40歳未満		
	40～44歳	1,286	636	49.5	1,178	99	99	100	92.6	1	16	22	60	0.93	0.08		40～44歳		
	45～49歳	1,338	295	22.0	1,229	5	101	98	89.9	2	13	21	60	2.75	0.22		45～49歳		
	50～54歳	1,440	320	22.2	1,349	7	84	85	93.4	5	11	13	50	5.49	0.35		50～54歳		
	55～59歳	1,703	317	18.6	1,635	3	64	56	82.4	4	7	5	34	5.88	0.23		55～59歳		
	60～64歳	3,243	615	19.0	3,088	13	142	147	94.8	6	18	20	7	3.87	0.19		60～64歳		
	65～69歳	4,439	541	12.2	4,315		124	118	95.2	10	12	13	6	8.06	0.23		65～69歳		
	70～74歳	5,219	498	9.5	5,075		144	133	92.4	10	9	13	2	6.94	0.19		70～74歳		
	75～79歳	2,154	220	10.2	2,084		70	66	94.3	4	4	10	3	5.71	0.19		75～79歳		
	80歳以上	975	145	14.9	951		24	21	87.5			1	1					80歳以上	
計	21,870	3,627	16.6	20,970	37	859	4	830	92.2	0	42	1	43	4.78	0.20		計		
実施方法別	施設外																検診車		
	施設	73	40	54.8	66	7	7	6	85.7			1	5				施設		
40歳以上	施設外																検診車		
	施設	21,797	3,587	16.5	20,904	37	852	4	893	4.1	42	1	43	4.82	0.20		施設		

年齢階層別実施成績

総合計（職域職員）

(表-2)  
(人)

区分	一次検診結果						精密検査結果										乳がん(確診)		区分						
	受診者数 A	初回受診数 B	初回受診率(%) B/A	異常認めず	根拠別の要精検者数			要精検率(%) C/A	精検受診者数 D	精検受診率(%) D/C	発見疾病(延べ数)				E/C	E/A									
					視触診から	マンモから	両方から				要精検の合計 C	乳がん疑い	乳腺症	乳腺良性腫瘍			その他	異常なし							
女	40歳未満	1,361	608	44.7	1,278	2	81	83	6.1	77	92.8						1	14	16	3	44			40歳未満	
	40～44歳	2,054	656	31.9	1,904		150	150	7.3	136	90.7	6					6	32	26	4	71	4.00	0.29	40～44歳	
	45～49歳	2,361	448	19.0	2,198		163	163	6.9	144	88.3	1					1	32	25	6	81	0.61	0.04	45～49歳	
	50～54歳	2,410	414	17.2	2,263		147	147	6.1	127	86.4	7					7	20	25	9	67	4.76	0.29	50～54歳	
	55～59歳	2,052	333	16.2	1,959		93	93	4.5	87	93.5	4					4	12	16	6	49	4.30	0.19	55～59歳	
	60～64歳	1,818	336	18.5	1,732		86	86	4.7	79	91.9	5					5	7	9	1	56	5.81	0.28	60～64歳	
	65～69歳	733	143	19.5	707		26	26	3.5	24	92.3	2					2	3	4	1	14	7.69	0.27	65～69歳	
	70～74歳	343	63	18.4	329		14	14	4.1	14	100.0	3					3	3	1		6	21.43	0.87	70～74歳	
	75～79歳	50	11	22.0	48		2	2	4.0	2	100.0														75～79歳
	80歳以上	11		0.0	11																				
計	13,193	3,012	22.8	12,429	2	762	0	764	5.8	690	90.3	0	28	0	28	0	28	123	122	30	390	3.66	0.21	計	
実施方法別	施設外																								検診車
	施設	1,361	608	44.7	1,278	2	81	83	6.1	77	92.8						1	14	16	3	44			施設	
40歳以上	施設外																								検診車
	施設	11,832	2,404	20.3	11,151		681	681	5.8	613	90.0	28					3	109	106	27	346	4.11	0.24	施設	

## (5)呼吸器検診(肺がん)

### < 検診方法 >

- ・対象者：原則として40歳以上の地域住民及び職域職員
- ・方法：問診、胸部エックス線撮影(読影は、二重読影及び比較読影)  
 喀痰細胞診(50歳以上で喫煙指数600以上の者。3日間の連続採痰を蓄痰、集細胞法で処理)

### < 結果 >

令和4年度の受診者数は、85,775人で、要精検者数は、2,084人であった。要精検率2.4%、内訳では地域住民2.6%、職域職員1.3%であり、職域職員で低率であった。精検受診率は85.6%、内訳では地域住民85.4%、職域職員89.1%であった。

がん発見率は0.04%で、地域住民31名で0.04%、職域職員1名で0.02%であった。受診者数割合では65歳以上が全体の67.8%占めており、70～74歳が23.4%と高かった。

精密検査における主要所見別割合では、原発性肺がん確診1.8%、その他悪性新生物0.8%、その他新生物0.8%、異常なし・がん以外の疾患96.4%であった。

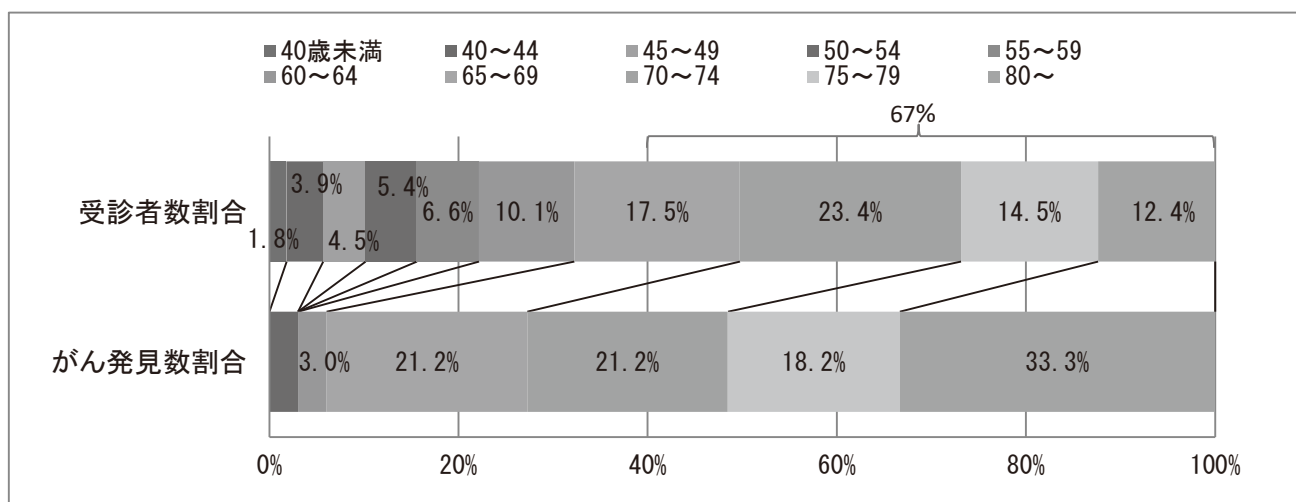
### < 当年実績 >

	受診者数 (40歳未満含) A	要精検者数 (E) B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検 受診者率 C/B	がん 発見者数 D	がん 発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	75,906	1,956	2.6%	1,670	85.4%	31	0.04%	1.58
職域職員	9,869	128	1.3%	114	89.1%	2	0.02%	1.56
合計	85,775	2,084	2.4%	1,784	85.6%	33	0.04%	1.58

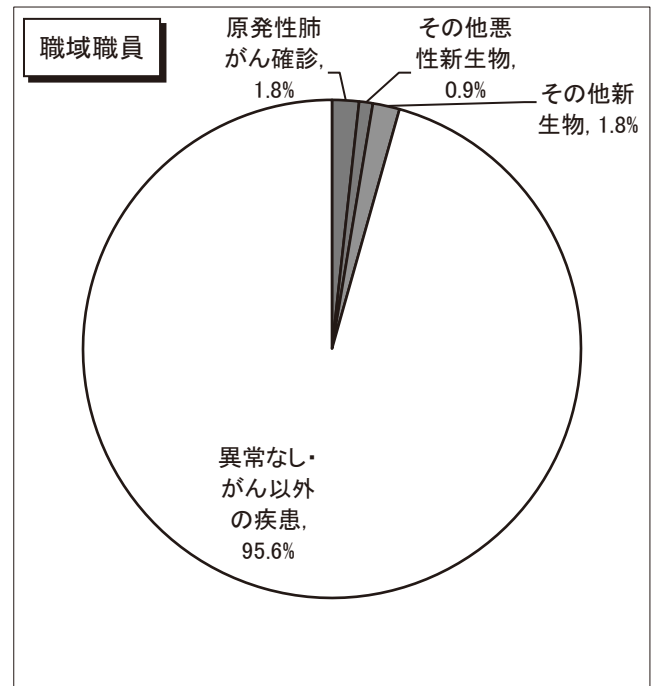
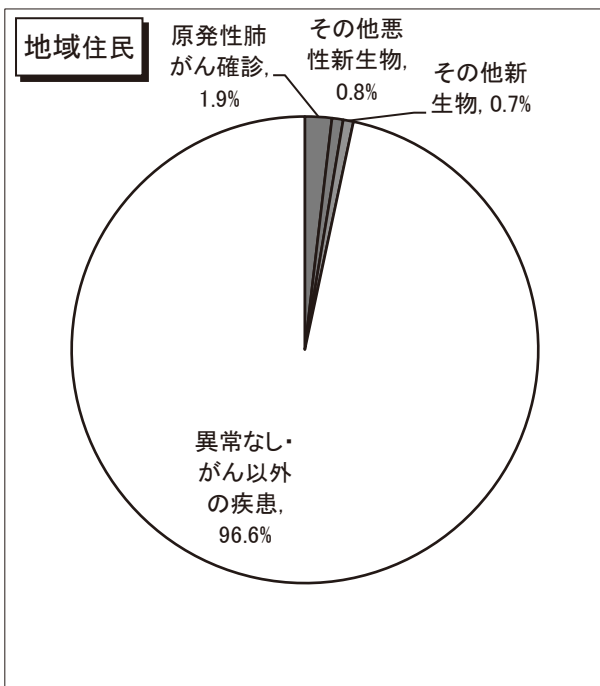
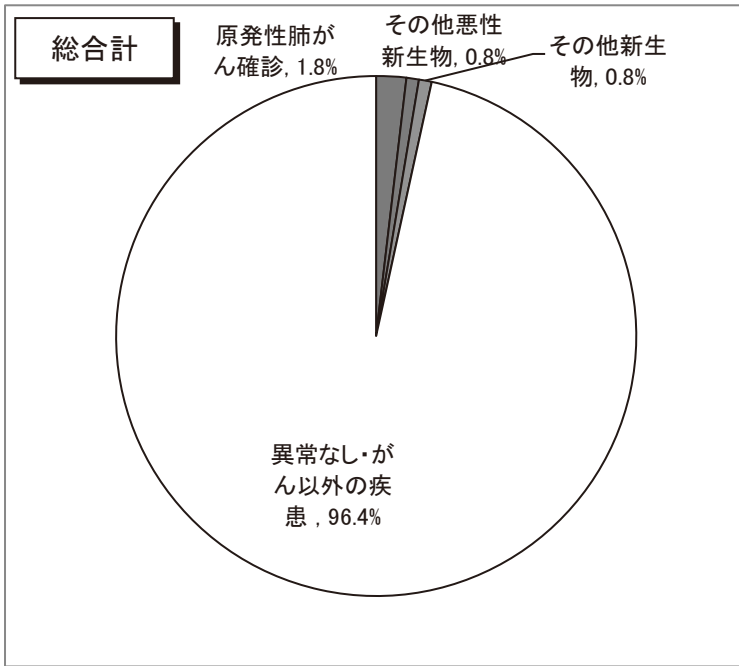
#### がん検診事業評価指標値

要精検率	許容値：3.0%以下
精検受診率	許容値：70% 目標値：90%
がん発見率	許容値：0.03%以上
陽性反応適中度	許容値：1.3%以上

### < 年齢階層別受診者数とがん発見数の割合 >



<精密検査・主要所見別割合>



年齢階層別実施成績

総合計（地域住民）

（人）

区分	一次検査						精密検査						原発性肺がん						
	受診者数 a	初回受診数 b	初回受診率（%） b/a	X線最終決定判定区分別受診者数 （比較読影による）			精査完了者数	精査検査回数 （回報書による）	精密検査確定結果			D E判定から 治療を要する結核患者数	異常なしからの D E判定からの	原発性肺がん 確定の	原発性肺がん 疑いの	D E判定 以外の疾患の	陽性反応適中度	がん発見率（%）	
				A	B	C			D	E	精査検査確定結果 （回報書による）								精査検査確定結果 （回報書による）
40歳未満	207	96	46.4	200	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
40～44歳	913	384	42.1	885	18	4	6	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
45～49歳	1,042	274	26.3	1,001	28	3	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
50～54歳	1,080	271	25.1	992	61	7	20	13	13	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
55～59歳	1,154	301	26.1	1,065	59	8	22	17	17	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
60～64歳	2,471	700	28.3	2,249	132	32	58	44	43	2	15	31	1	1	32	2.22	0.08		
65～69歳	5,846	1,350	23.1	5,197	394	108	147	119	112	2	35	90	6	8	98	3.40	0.09		
70～74歳	8,889	1,378	15.5	7,643	797	199	250	213	202	5	48	156	5	12	196	2.00	0.06		
75～79歳	5,845	783	13.4	4,765	606	258	216	181	177	3	39	167	3	5	227	1.39	0.05		
80歳以上	5,126	714	13.9	3,850	717	319	240	203	193	7	47	166	7	15	268	2.92	0.14		
計	32,573	6,251	19.2	27,847	2,815	938	973	803	769	21	8	648	22	42	840	2.16	0.06		
40歳未満	239	131	54.8	231	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
40～44歳	1,303	596	45.7	1,275	18	1	9	9	9	9	9	7	7	7	7	7	7	7	7
45～49歳	1,525	428	28.1	1,467	42	5	11	9	9	1	2	9	9	9	9	9	9	9	9
50～54歳	1,636	454	27.8	1,556	53	5	22	15	15	7	7	11	11	11	11	11	11	11	11
55～59歳	2,226	524	23.5	2,090	101	9	26	23	23	3	3	14	14	14	14	14	14	14	14
60～64歳	4,765	1,144	24.0	4,388	253	28	96	90	90	6	6	53	53	53	53	53	53	53	53
65～69歳	8,642	1,485	17.2	7,854	535	78	175	151	147	1	28	102	1	4	111	0.57	0.01		
70～74歳	10,980	1,504	13.7	9,869	756	116	239	219	216	2	23	162	2	3	153	0.84	0.02		
75～79歳	6,543	884	13.5	5,659	579	102	203	179	173	3	30	116	3	7	139	1.48	0.05		
80歳以上	5,474	811	14.8	4,493	645	135	201	171	166	4	35	109	4	7	165	1.99	0.07		
計	43,333	7,961	18.4	38,882	2,989	479	983	867	849	10	5	583	10	21	659	1.02	0.02		
男女合計	75,906	14,212	18.7	66,729	5,804	1,417	1,956	1,670	1,618	31	13	1,231	32	63	1,499	1.58	0.04		

<年齢階層別実施成績(喀痰細胞診)>

総合計 (地域住民)

(人)

区分	一次検査				精密検査				原発性肺がん(確診)			
	受診者数 (提出数)	初回受診数	初回受診率(%) b/a	X線最終決定判定区分別受診者数 (比較読影による)				精検受診者数	精検完了者数	精検検査(回報書による) 確定結果	陽性反応適中度	がん発見率(%)
				材料不適	認めない異常を	追加検査追跡	ただちに精密検査					
40歳未満				A	B	C	D	E				
40~44歳												
45~49歳												
50~54歳	9	4	44.4		9							
55~59歳	12	4	33.3		12							
60~64歳	59	15	25.4		58	1						
65~69歳	103	13	12.6		103							
70~74歳	161	25	15.5		161							
75~79歳	114	6	5.3		114							
80歳以上	40	2	5.0	1	39							
計	498	69	13.9	1	496	1						
40歳未満												
40~44歳												
45~49歳												
50~54歳	1				1							
55~59歳	3				3							
60~64歳												
65~69歳	3	1	33.3		3							
70~74歳	3				3							
75~79歳	1	1	100.0		1							
80歳以上												
計	11	2	18.2		11							
男女合計	509	71	13.9	1	507	1						

年齢層別実施成績

総合計（職種職員）

（人）

区分	一次検診				精密検査				原発性肺がん				
	受診者数 a	初回受診数 b	初回受診率(%) b/a	X線最終決定判定区分別受診者数 (比較読影による)	精査完了者数	精査確定結果 (回報書による)	D E判定からの 治療を要する結核患者数	D E判定からの 異常なし	D E判定から の確定	D E判定から の疑い	D E判定から の疾患	陽性反応適中度	がん発見率(%)
男	40歳未満	672	148	22.0	A 646	4	4	3	1				
	40～44歳	704	160	22.7	B 681	5	5	2	1	20.00	0.14		
	45～49歳	799	136	17.0	C 771	5	5	4					
	50～54歳	1,201	243	20.2	D 1,111	17	17	11					
	55～59歳	1,457	233	16.0	E 1,351	18	18	18					
	60～64歳	1,001	186	18.6	A 900	18	17	18	1	1	9		
	65～69歳	409	42	10.3	B 367	7	6	5	1	1	5	14.29	0.24
	70～74歳	136	17	12.5	C 113	6	6	3			5		
	75～79歳	22	1	4.5	D 17	1	1						
	80歳以上	12	4	33.3	E 9	1	1				2		
計	6,413	1,170	18.2	5,966	81	79	64	3	2	43	2.25	0.03	
女	40歳未満	433	223	51.5	A 426	1							
	40～44歳	413	101	24.5	B 406	1	1	1					
	45～49歳	481	79	16.4	C 468	6	6	5			2		
	50～54歳	726	146	20.1	D 684	10	10	9			4		
	55～59歳	794	114	14.4	E 734	11	11	10			4		
	60～64歳	420	56	13.3	A 384	2	2	1			2		
	65～69歳	121	21	17.4	B 109	2	1	2			1		
	70～74歳	54	14	25.9	C 49	2	2	1			1		
	75～79歳	10	1	10.0	D 9								
	80歳以上	4			E 3			1					
計	3,456	755	21.8	3,272	33	33	30	6		14			
男女合計	9,869	1,925	19.5	9,238	114	112	94	16	3	57	1.56	0.02	

<年齢階層別実施成績(喀痰細胞診)>

(人)

総合計 ( 職域職員 )

区分	一次検査				精密検査				原発性肺がん(確診)																
	受診者数 (提出数)	初回受診数	初回受診率(%) b/a	X線最終決定判定区分別受診者数 (比較読影による)				精密検査(回報書による)	精密検査未受診者数 原発性肺がん疑患者数	異常なしからの 原発性肺がん疑	D E判定からの がん以外の疾患	D E判定からの 精検未受診者													
				材料不適	認めない異常を	追加検査追跡	ただちに精密検査						ただちに精密検査	精検完了者数	確認患者数 精検完了者数	新生物患者数	新生物患者数	陽性反応適中度	がん発見率(%)						
40歳未満																									
40~44歳																									
45~49歳																									
50~54歳	102	20	19.6	3	98	1																			
55~59歳	140	10	7.1	1	137	1	1	1	1	1	1												0.71		
60~64歳	134	16	11.9	1	132	1																			
65~69歳	63	6	9.5		62																				
70~74歳	28	4	14.3		28																				
75~79歳	2				2																				
80歳以上																									
計	469	56	11.9	5	459	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.21	
40歳未満																									
40~44歳																									
45~49歳																									
50~54歳	2				2																				
55~59歳	6	1	16.7		6																				
60~64歳	1	1	100.0		1																				
65~69歳																									
70~74歳																									
75~79歳																									
80歳以上																									
計	9	2	22.2		9																				
男女合計	478	58	12.1	5	468	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.21	



## (6)呼吸器検診(結核)

### < 検診方法 >

対象者:地域住民については感染症法および感染症の患者に対する医療に関する法律、職域職員については労働安全衛生法、学校・高校については、学校保健安全法で定めた者。

方 法:問診、胸部エックス線検査

胸部エックス線撮影……背腹1方向(側面方向も一部追加)

### < 結 果 >

令和4年度の受診者数は106,371人、内訳では地域住民93人、職域職員97,417人、学校・高校8,861人であった。

がん発見率は、職域職員でE判定から8人発見されており0.01%。地域住民からは発見されなかった。

### < 当年実績 >

(人)

対象区分	地域住民	職域職員	学校・高校	合計
山形検診センター	80	31,155	5,114	36,349
庄内検診センター	0	22,948	1,708	24,656
最上検診センター	0	12,331	500	12,831
米沢検診センター	13	15,423	993	16,429
南陽検診センター	0	15,560	546	16,106
合計	93	97,417	8,861	106,371

呼吸器検診(結核)実施成績

(人)

区分	一次検診				精密検査				原発性肺がん								
	受診者数 a	初回受診数 背腹	初回受診率(%) b/a	X線最終決定判定区分別受診者数 (比較読影による)				精検完了者数	精検検査報告による 原発性肺がん 患者数	精検未受診く未完了 原発性肺がん疑患者数	精検受診者数 に対する	D判定から 肺がん 患者数	D E判定から 結核患者 治療を 要する 患者数	陽性反応適中度	がん発見率 (%)		
				A 再読 撮影 不能	B 認め ない 所見 を	C が異 常所 見を 認め る 不要	D 疾患 の精 査以 外									E 対肺 がん に 精査	
40歳未満	10					10											
40~44歳	1	1				1											
45~49歳	1	1				1											
50~54歳																	
55~59歳																	
60~64歳																	
65~69歳	7	2	28.6		6							1					
70~74歳	11	2	18.2		10	1											
75~79歳	22	4	18.2		21	1											
80歳以上	41	10	24.4		28	9	2	2	1	1							
計	93	20	21.5		77	11	3	2	1	1							
40歳未満	46,783	21,353	45.6		45,934	656	81	112	88	88							
40~44歳	10,277	1,883	18.3		9,934	254	21	68	52	52							
45~49歳	12,094	1,696	14.0		11,591	340	35	128	98	96							
50~54歳	10,581	1,610	15.2		9,937	456	53	135	107	106							
55~59歳	9,540	1,242	13.0		8,830	504	52	154	112	110							
60~64歳	8,579	1,186	13.8		7,808	538	77	156	124	122							
65~69歳	5,034	739	14.7		4,488	335	67	144	111	107							
70~74歳	2,609	342	13.1		2,201	258	70	80	57	55							
75~79歳	466	53	11.4		368	67	13	18	14	14							
80歳以上	315	65	20.6		210	66	23	16	13	13							
計	106,278	30,169	28.4		101,301	3,474	492	1,011	776	763							
合計	106,371	30,189	28.4		101,378	3,485	495	1,013	777	764							

I 各種検(健)診の流れ

II 検(健)診委員会

III 各種検(健)診事業報告

IV その他の事業

V 論文投稿

## (7)前立腺がん検診

### <検診方法>

対象者：原則として50歳以上の検査を希望する男性

方法：問診、血中PSA検査(前立腺特異抗原)

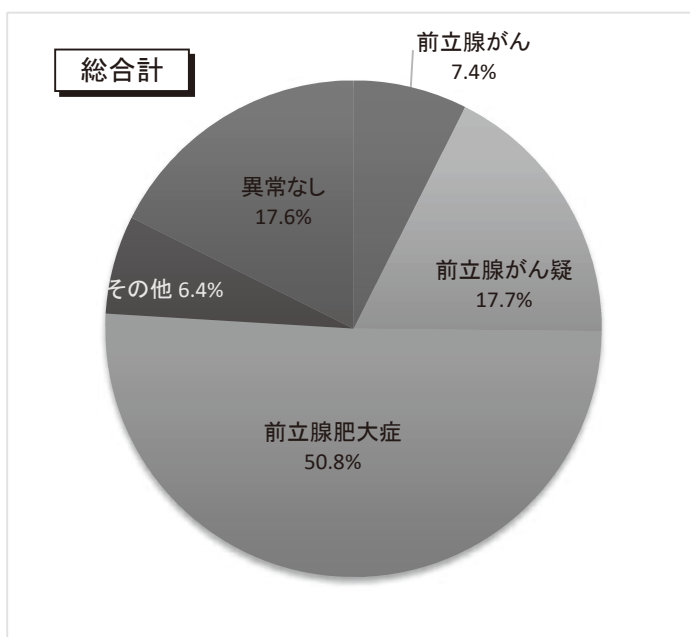
### <結果>

1. 受診者数は19,567人で、年齢構成は70～74歳が最も多く4,407人(22.5%)であった。
2. 要精検者数は1,216人(6.2%)、精検受診者数は934人(76.8%)であった。
3. がん発見者数は、73人(0.37%)であった。

### <当年度実績>

	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検 受診者数 C	精検 受診者率 C/B	がん 発見者数 D	がん 発見率 D/A	陽性反応 適中度 D/B
地域住民	12,792	912	7.1%	700	76.8%	65	0.51%	7.13
職域職員	6,775	304	4.5%	234	77.0%	8	0.12%	2.63
総合計	19,567	1,216	6.2%	934	76.8%	73	0.37%	6.00

### <精密検査・主要所見別割合>



<年齢階層別実施成績>

総合計(地域住民)

(人)

区分	一次検診			受診者数	同左率(%)	精密検査項目						検査内訳				結果					陽性反応適中度	がん発見率(%)	D/A	D/B	区分	
	受診者数	要精検				直腸診	超音波	腫瘍マーカー	CT	MRI	その他	生検	前立腺がん	前立腺がん疑い	前立腺肥大症	精検結果(発見疾病延べ数)		D	異常なし							
		異常なし	人員													率(%)	その他			果						
40歳未満	26	26	0																							40歳未満
40~44歳	145	145	0																							40~44歳
45~49歳	214	213	1	1	100.0				1						1											45~49歳
50~54歳	392	385	7	3	42.9	1	3		1						2	1										50~54歳
55~59歳	491	480	11	9	81.8	2	5	9	3						5	1	1							0.20	9.09	55~59歳
60~64歳	1,192	1,144	48	37	77.1	13	18	27	13						19	1	5	19						0.08	2.08	60~64歳
65~69歳	2,577	2,412	165	123	74.5	43	63	95	29	2					62	6	20	62						0.39	6.06	65~69歳
70~74歳	3,866	3,571	295	225	76.3	83	110	170	55	13					117	7	39	117						0.70	9.15	70~74歳
75~79歳	2,386	2,172	214	169	79.0	56	81	113	40	14					109	13	29	109						0.59	6.54	75~79歳
80歳以上	1,503	1,332	171	133	77.8	45	61	85	23	11					77	8	31	77						0.80	7.02	80歳以上
計	12,792	11,880	912	700	76.8	242	339	502	164	41					392	37	125	392						0.51	7.13	計

50歳未満	385	384	1	1	100.0					1					1											50歳未満
50歳以上	12,407	11,496	911	699	76.7	242	339	502	8	164	40	79	65	125	391	37	116	391						0.52	7.14	50歳以上
計	12,792	11,880	912	700	76.8	242	339	502	8	164	41	79	65	125	392	37	116	392						0.51	7.13	計

<年齢階層別実施成績>

総合計(職域職員)

(人)

区分	一次検診			受診者数	同左率(%)	精密検査項目						検査結果					がん発見率(%)	陽性反応適中度	区分									
	受診者数	異常なし	要精検人員			率(%)	直腸診	超音波	腫瘍マーカー	CT	MRI	その他	生検	前立腺がん	前立腺がん疑い	前立腺肥大症				その他	異常なし							
																						A	B	B/A	C	C/B	D	D/A
40歳未満	153	151	2	1.3	2	100.0	1	1	1								2								40歳未満			
40～44歳	312	310	2	0.6	2	100.0	2	1	1								1								40～44歳			
45～49歳	487	482	5	1.0	2	40.0	1	1	2								1								45～49歳			
50～54歳	1,307	1,286	21	1.6	14	66.7	2	9	11								2								50～54歳			
55～59歳	1,451	1,406	45	3.1	38	84.4	8	19	25								1								55～59歳			
60～64歳	1,495	1,422	73	4.9	54	74.0	19	21	37								1								60～64歳			
65～69歳	929	840	89	9.6	69	77.5	13	28	55								3								65～69歳			
70～74歳	541	487	54	10.0	43	79.6	16	18	30								3								70～74歳			
75～79歳	84	73	11	13.1	8	72.7	2	3	6								1								75～79歳			
80歳以上	16	14	2	12.5	2	100.0			2																80歳以上			
計	6,775	6,471	304	4.5	234	77.0	62	100	170	3	62	11	13				8	49	107	26				57	0.12	2.63	計	
50歳未満	952	943	9	0.9	6	66.7	2	2	4								1		2						3	50歳未満		
50歳以上	5,823	5,528	295	5.1	228	77.3	60	98	166	3	58	11	13				8	48	105	26					54	0.14	2.71	50歳以上
計	6,775	6,471	304	4.5	234	77.0	62	100	170	3	62	11	13				8	49	107	26					57	0.12	2.63	計

## (8) 特定健康診査

### <健診方法>

対象者： 公的医療保険に加入している40歳から74歳の被保険者・被扶養者

方法： 健診対象者全員が受ける「基本的な健診」と医師が必要とした場合に選択的に受ける「詳細な健診」を実施

### <健診項目>

#### ○基本的な健診項目

質問項目、身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)、理学的検査(身体診察)、血圧測定、脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)、肝機能検査(AST、ALT、 $\gamma$ -GTP)、血糖検査(空腹時血糖、HbA1c)、尿検査(尿糖、尿蛋白)

#### ○詳細な健診項目

心電図検査、眼底検査、貧血検査(赤血球、血色素量、ヘマトクリット値)、クレアチニンのうち、一定の基準に該当し、医師が必要と判断した項目

### <結果>

1.受診者数は35,219人で男女比は男性が14,992人(42.6%)、女性が20,227人(57.4%)と女性の割合が高かった。

また、受診者の年齢構成は、男性が70歳代が最も多く42.7%、女性は60歳代で40.3%であった。

2.異常率が高い検査項目は、血圧57.7%、脂質57.6%、血糖・HbA1cが54.3%であった。性別では、男性で血圧62.1%、血糖・HbA1c61.4%、脂質57.9%であり、女性で脂質57.4%、血圧54.4% 血糖・HbA1c49.1%と血圧、血糖・HbA1cについては年齢が上がるにしたがって高率であった。

### <当年実績>

(人)

	基本的な健診項目	詳細な健診項目			
		心電図検査	眼底検査	貧血検査	クレアチニン
特定健康診査 (40~74歳)	35,219	33,096	29,884	31,364	32,811
若年者健康診断	3,037	2,743	2,540	2,813	1,389
後期高齢者 健康診断	14,582	14,538	12,279	14,574	14,572
合計	52,838	50,377	44,703	48,751	48,772

< 検査項目の受診者数及び有所見者数 >

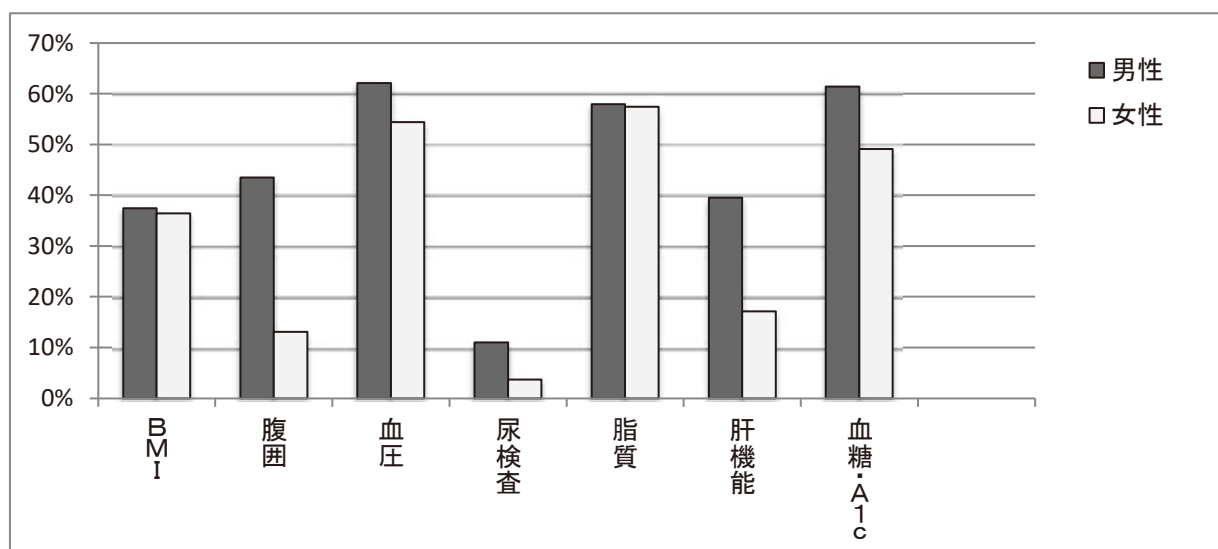
(1) 基本的な健診項目

(人)

区分		BMI		腹囲		血 圧		尿検査	
		受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
男	40～49歳	1,720	755	1,720	741	1,720	760	1,719	117
	50～59歳	1,615	698	1,615	735	1,615	904	1,614	141
	60～69歳	5,258	1,978	5,258	2,350	5,258	3,435	5,254	587
	70～74歳	6,399	2,171	6,398	2,702	6,399	4,212	6,397	800
	計	14,992	5,602	14,991	6,528	14,992	9,311	14,984	1,645
女	40～49歳	2,081	771	2,078	220	2,081	519	2,081	44
	50～59歳	2,627	1,065	2,627	383	2,627	1,070	2,627	87
	60～69歳	8,154	2,943	8,153	1,100	8,154	4,523	8,153	307
	70～74歳	7,365	2,589	7,364	942	7,365	4,899	7,363	312
	計	20,227	7,368	20,222	2,645	20,227	11,011	20,224	750
合 計		35,219	12,970	35,213	9,173	35,219	20,322	35,208	2,395

区分		脂 質		肝機能		血糖・HbA1c	
		受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
男	40～49歳	1,719	1,154	1,719	878	1,719	760
	50～59歳	1,615	1,102	1,615	789	1,615	875
	60～69歳	5,256	3,077	5,256	2,132	5,256	3,263
	70～74歳	6,398	3,343	6,398	2,126	6,398	4,303
	計	14,988	8,676	14,988	5,925	14,988	9,201
女	40～49歳	2,080	863	2,080	239	2,080	449
	50～59歳	2,626	1,658	2,626	570	2,626	963
	60～69歳	8,153	4,919	8,153	1,506	8,153	4,117
	70～74歳	7,365	4,162	7,365	1,134	7,365	4,403
	計	20,224	11,602	20,224	3,449	20,224	9,932
合 計		35,212	20,278	35,212	9,374	35,212	19,133

< 検査項目別にみた有所見率 >



## (2) 詳細な健診項目

(人)

区分		貧血検査						
		受診者数	該当実施			該当外実施		
			有所見者数	有所見率		有所見者数	有所見率	
男	40～49歳	1,454	17	2	11.8%	1,437	53	3.7%
	50～59歳	1,442	20	6	30.0%	1,422	106	7.5%
	60～69歳	4,807	49	14	28.6%	4,758	590	12.4%
	70～74歳	5,981	55	22	40.0%	5,926	1,042	17.6%
	計	13,684	141	44	31.2%	13,543	1,791	13.2%
女	40～49歳	1,621	324	129	39.8%	1,297	296	22.8%
	50～59歳	2,143	532	69	13.0%	1,611	170	10.6%
	60～69歳	7,105	1,205	116	9.6%	5,900	584	9.9%
	70～74歳	6,811	691	98	14.2%	6,120	797	13.0%
	計	17,680	2,752	412	15.0%	14,928	1,847	12.4%
合計		31,364	2,893	456	15.8%	28,471	3,638	12.8%

(人)

区分		心電図検査						
		受診者数	該当実施			該当外実施		
			有所見者数	有所見率		有所見者数	有所見率	
男	40～49歳	1,559	490	97	19.8%	1,069	186	17.4%
	50～59歳	1,525	571	151	26.4%	954	226	23.7%
	60～69歳	5,074	2,126	801	37.7%	2,948	1,067	36.2%
	70～74歳	6,194	2,620	1,153	44.0%	3,574	1,611	45.1%
	計	14,352	5,807	2,202	37.9%	8,545	3,090	36.2%
女	40～49歳	1,758	604	119	19.7%	1,154	179	15.5%
	50～59歳	2,274	922	196	21.3%	1,352	283	20.9%
	60～69歳	7,611	3,265	900	27.6%	4,346	1,026	23.6%
	70～74歳	7,101	3,260	1,037	31.8%	3,841	1,145	29.8%
	計	18,744	8,051	2,252	28.0%	10,693	2,633	24.6%
合計		33,096	13,858	4,454	32.1%	19,238	5,723	29.7%

(人)

区分		眼底検査						
		受診者数	該当実施			該当外実施		
			有所見者数	有所見率		有所見者数	有所見率	
男	40～49歳	1,419	404	65	16.1%	1,015	92	9.1%
	50～59歳	1,446	507	111	21.9%	939	161	17.1%
	60～69歳	4,726	1,845	650	35.2%	2,881	836	29.0%
	70～74歳	5,666	2,181	831	38.1%	3,485	1,225	35.2%
	計	13,257	4,937	1,657	33.6%	8,320	2,314	27.8%
女	40～49歳	1,513	251	29	11.6%	1,262	69	5.5%
	50～59歳	2,066	519	98	18.9%	1,547	207	13.4%
	60～69歳	6,837	2,080	603	29.0%	4,757	1,101	23.1%
	70～74歳	6,211	2,061	725	35.2%	4,150	1,312	31.6%
	計	16,627	4,911	1,455	29.6%	11,716	2,689	23.0%
合計		29,884	9,848	3,112	31.6%	20,036	5,003	25.0%

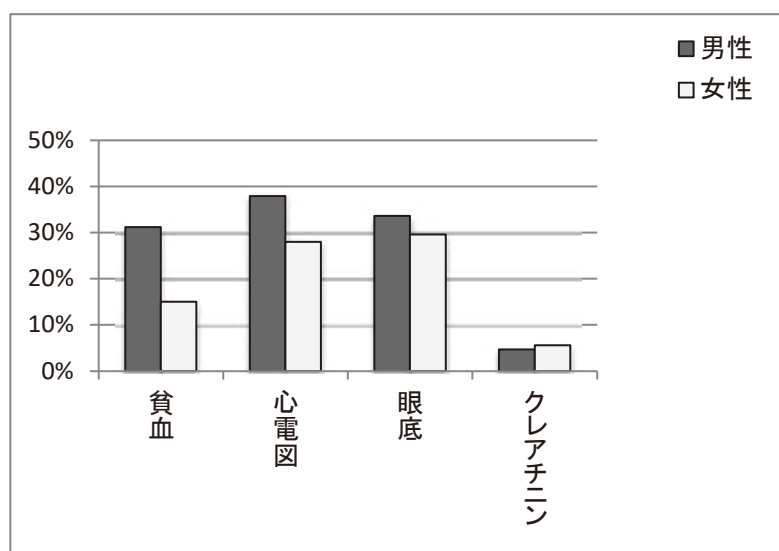


(人)

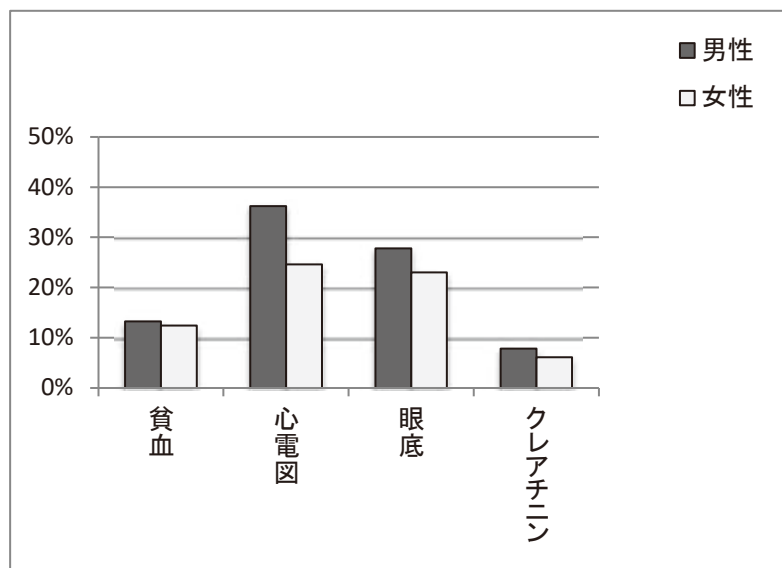
区分	クレアチニン							
	受診者数	該当実施			該当外実施			
		有所見者数	有所見率		有所見者数	有所見率		
男	40～49歳	1,561	949	17	1.8%	612	9	1.5%
	50～59歳	1,545	1,028	29	2.8%	517	22	4.3%
	60～69歳	5,118	3,865	177	4.6%	1,253	106	8.5%
	70～74歳	6,286	4,934	284	5.8%	1,352	154	11.4%
	計	14,510	10,776	507	4.7%	3,734	291	7.8%
女	40～49歳	1,502	694	27	3.9%	808	18	2.2%
	50～59歳	2,156	1,365	65	4.8%	791	43	5.4%
	60～69歳	7,490	5,475	304	5.6%	2,015	126	6.3%
	70～74歳	7,153	5,594	345	6.2%	1,559	130	8.3%
	計	18,301	13,128	741	5.6%	5,173	317	6.1%
合計	32,811	23,904	1,248	5.2%	8,907	608	6.8%	

<該当・該当外別にみた有所見率>

(該当実施)



(該当外実施)



## (9) 特定保健指導

### <支援方法>

対象者：特定健康診査を受けた全ての者

方法：特定健康診査結果および質問事項から、生活習慣病のリスクに応じて「情報提供」、「動機付け支援」、「積極的支援」、「積極的支援(動機付け支援相当)」に階層化し、その後、特定保健指導を実施。実施率をあげるため、健診当日に階層化を実施し、同日に初回面接を行う。一部、健診後日にも初回面接を実施。

#### ○対象者の定義

「情報提供」：特定健康診査を受けた全ての者

「動機付け支援」・「積極的支援」：特定健康診査の結果により、健康の保持に努める必要がある者

「積極的支援(動機付け支援相当)」

:2年連続して積極的支援に該当した者のうち、1年目に比べ2年目の状態が一定の基準以上改善した者

#### ○支援内容

「情報提供」：健診結果と同時に情報提供パンフレットを送付

「動機付け支援」：初回時に1回のみ面接による支援を行い、3ヵ月後または6ヵ月後に実績評価を行う。実績評価は電話または個別面接にて実施。

「積極的支援」：初回時に面接による支援を行い、その後3ヵ月以上の継続的な支援(食事・運動のグループ支援、電話、手紙、メール)を行う。3ヵ月後または6ヵ月後に実績評価を行う。実績評価は電話または個別面接にて実施。

「積極的支援(動機付け支援相当)」

:積極的支援または、動機付け支援を実施する。

どちらの支援を実施するかは、各医療従事者が対象者に応じて判断する。

#### ○支援実施者

- ・保健師
- ・管理栄養士
- ・健康運動指導士(保健師・管理栄養士が兼務)

### <結 果>

- 令和4年度メタボリックシンドローム該当者および予備群該当者数・該当率は、15,112人・26.4%となり、内訳は男性11,804人・41.0%、女性3,308人・11.6%と、男性が約3.5倍となった。また、特定保健指導階層化状況において、動機・積極的・動機付け支援相当該当者数・該当率は7,215人・12.6%、内訳は男性5,047人・17.5%、女性2,168人・7.6%と、男性が約2.3倍となった。
- 令和4年度 特定保健指導利用者数・利用率は、4,667人・64.7%であった。支援レベル別利用者数・利用率は、動機付け支援では男性1,420人・61.7%、女性1,079人・66.1%、積極的支援では男性1,793人・65.3%、女性375人・70.1%だった。また、特定保健指導中断者数・中断率は、799人・17.1%であった。支援レベル別中断者数・中断率は、動機付け支援では男性30人・2.1%、女性32人・3.0%、積極的支援では男性589人・32.8%、女性148人・39.5%と、男女共に積極的支援の中断率が高くなった。積極的支援においては、男性より女性の中断率が高くなった。
- 令和4年度特定保健指導改善状況は、身体測定値、栄養・食生活において、動機付け支援よりも積極的支援利用者の方が高い改善率であった。また、身体活動の改善率は、栄養・食生活改善率と比較して低かった。喫煙については、非喫煙者の割合が動機付け支援に比べ積極的支援に少なく、禁煙の意志がない者が多かった。動機付け支援・積極的支援ともに、女性より男性の喫煙者の割合が高かった。

＜令和4年度 メタボリックシンドローム該当者・特定保健指導階層化状況＞

(人・%)

	受診者数		メタボリックシンドローム該当者状況						特定保健指導階層化状況							
	男性	女性	メタボ		予備群		メタボ・予備群合計		動機付け支援		積極的支援		動機付け支援相当		合計	
			男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全体	28,807	28,477	7,592 (26.4)	2,141 (7.5)	4,212 (14.6)	1,167 (4.1)	11,804 (41.0)	3,308 (11.6)	2,300 (8.0)	1,633 (5.7)	2,637 (9.2)	524 (1.8)	110 (0.4)	11 (0.04)	5,047 (17.5)	2,168 (7.6)
	57,284		9,733 (17.0)		5,379 (9.4)		15,112 (26.4)		3,933 (6.9)		3,161 (5.5)		121 (0.2)		7,215 (12.6)	
山形	8,482	8,858	2,179 (25.7)	694 (7.8)	1,187 (14.0)	324 (3.7)	3,366 (39.7)	1,018 (11.5)	669 (7.9)	482 (5.4)	603 (7.1)	138 (1.6)	29 (0.3)	3 (0.03)	1,301 (15.3)	623 (7.0)
	17,340		2,873 (16.6)		1,511 (8.7)		4,384 (25.3)		1,151 (6.6)		741 (4.3)		32 (0.2)		1,924 (11.1)	
庄内	6,227	5,831	1,534 (24.6)	356 (6.1)	824 (13.2)	194 (3.3)	2,358 (37.9)	550 (9.4)	508 (8.2)	343 (5.9)	634 (10.2)	117 (2.0)	29 (0.5)	4 (0.07)	1,171 (18.8)	464 (8.0)
	12,058		1,890 (15.7)		1,018 (8.4)		2,908 (24.1)		851 (7.1)		751 (6.2)		33 (0.3)		1,635 (13.6)	
最上	5,588	5,431	1,626 (29.1)	451 (8.3)	805 (14.4)	235 (4.3)	2,431 (43.5)	686 (12.6)	430 (7.7)	333 (6.1)	613 (11.0)	129 (2.4)	34 (0.6)	4 (0.07)	1,077 (19.3)	466 (8.6)
	11,019		2,077 (18.8)		1,040 (9.4)		3,117 (28.3)		763 (6.9)		742 (6.7)		38 (0.3)		1,543 (14.0)	
米沢	3,417	3,546	905 (26.5)	273 (7.7)	577 (16.9)	198 (5.6)	1,482 (43.4)	471 (13.3)	279 (8.2)	209 (5.9)	334 (9.8)	57 (1.6)	10 (0.3)	0 (0.0)	623 (18.2)	266 (7.5)
	6,963		1,178 (16.9)		775 (11.1)		1,953 (28.0)		488 (7.0)		391 (5.6)		10 (0.1)		889 (12.8)	
南陽	5,093	4,811	1,348 (26.5)	367 (7.6)	819 (16.1)	216 (4.5)	2,167 (42.5)	583 (12.1)	414 (8.1)	266 (5.5)	453 (8.9)	83 (1.7)	8 (0.2)	0 (0.0)	875 (17.2)	349 (7.3)
	9,904		1,715 (17.3)		1,035 (10.5)		2,750 (27.8)		680 (6.9)		536 (5.4)		8 (0.1)		1,224 (12.4)	

※ 受診者数は特定保健指導を受託している医療保険者の特定健康診査数を掲載

＜令和4年度 特定保健指導 利用および改善状況＞

(人・%)

	該当者数	特定保健指導利用者数						特定保健指導中断者数					
		動機付け支援		積極的支援		合計		動機付け支援		積極的支援		合計	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全体	7,215	1,420 (61.7)	1,079 (66.1)	1,793 (65.3)	375 (70.1)	3,213 (63.7)	1,454 (67.1)	30 (2.1)	32 (3.0)	589 (32.8)	148 (39.5)	619 (19.3)	180 (12.4)
		2,499 (63.5)		2,168 (66.1)		4,667 (64.7)		62 (2.5)		737 (34.0)		799 (17.1)	
山形	1,924	490 (73.2)	339 (70.3)	464 (73.4)	111 (78.7)	954 (73.3)	450 (72.2)	17 (3.5)	13 (3.8)	157 (33.8)	45 (40.5)	174 (18.2)	58 (12.9)
		829 (72.0)		575 (74.4)		1,404 (73.0)		30 (3.6)		202 (35.1)		232 (16.5)	
庄内	1,635	356 (70.1)	254 (74.1)	415 (62.6)	83 (68.6)	771 (65.8)	337 (72.6)	10 (2.8)	8 (3.1)	129 (31.1)	40 (48.2)	139 (18.0)	48 (14.2)
		610 (71.7)		498 (63.5)		1,108 (67.8)		18 (3.0)		169 (33.9)		187 (16.9)	
最上	1,543	248 (57.7)	226 (67.9)	380 (58.7)	81 (60.9)	628 (58.3)	307 (65.9)	2 (0.8)	7 (3.1)	94 (24.7)	21 (25.9)	96 (15.3)	28 (9.1)
		474 (62.1)		461 (59.1)		935 (60.6)		9 (1.9)		115 (24.9)		124 (13.3)	
米沢	889	132 (47.3)	111 (53.1)	168 (48.8)	30 (52.6)	300 (48.2)	141 (53.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	86 (51.2)	19 (63.3)	86 (28.7)	20 (14.2)
		243 (49.8)		198 (49.4)		441 (49.6)		1 (0.4)		105 (53.0)		106 (24.0)	
南陽	1,224	194 (46.9)	149 (56.0)	366 (79.4)	70 (84.3)	560 (64.0)	219 (62.8)	1 (0.5)	3 (2.0)	123 (33.6)	23 (32.9)	124 (22.1)	26 (11.9)
		343 (50.4)		436 (80.1)		779 (63.6)		4 (1.2)		146 (33.5)		150 (19.3)	

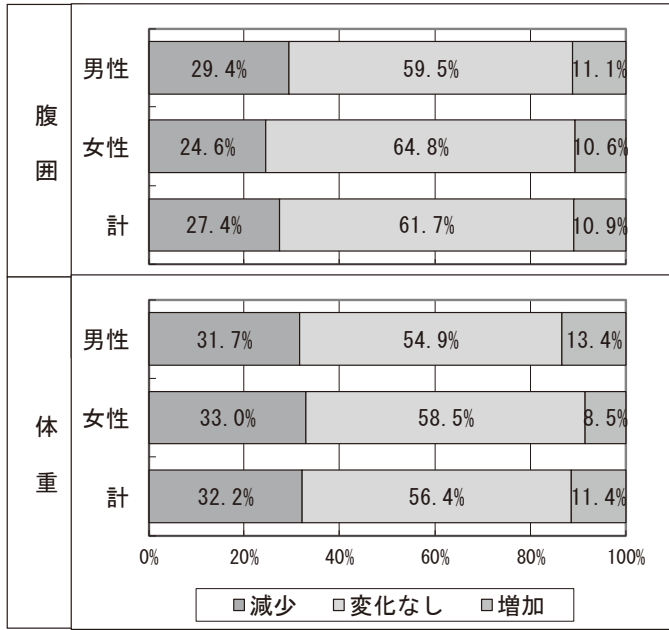
※ (利用者割合) = 利用者数 / 対象者数

※ (中断者割合) = 中断者数 / 利用者数

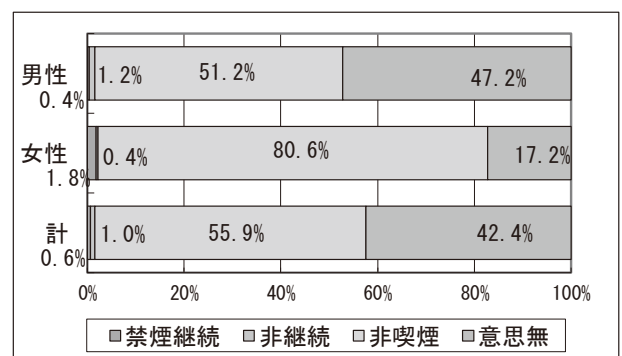
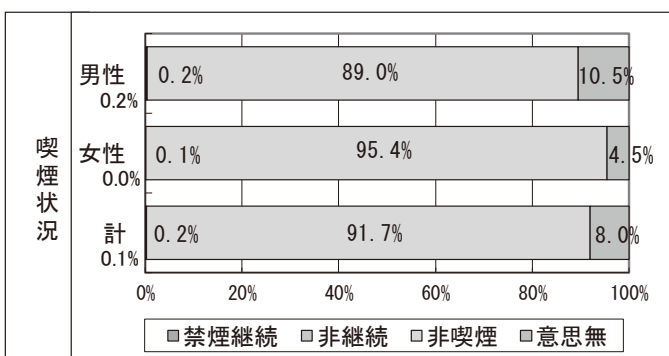
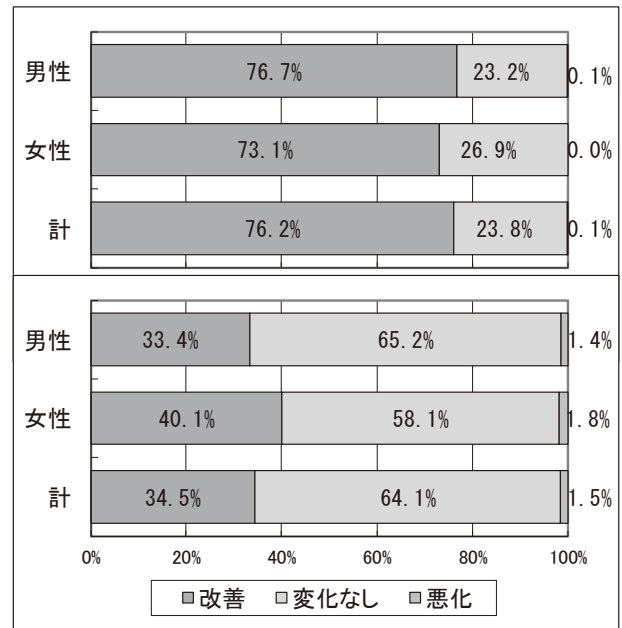
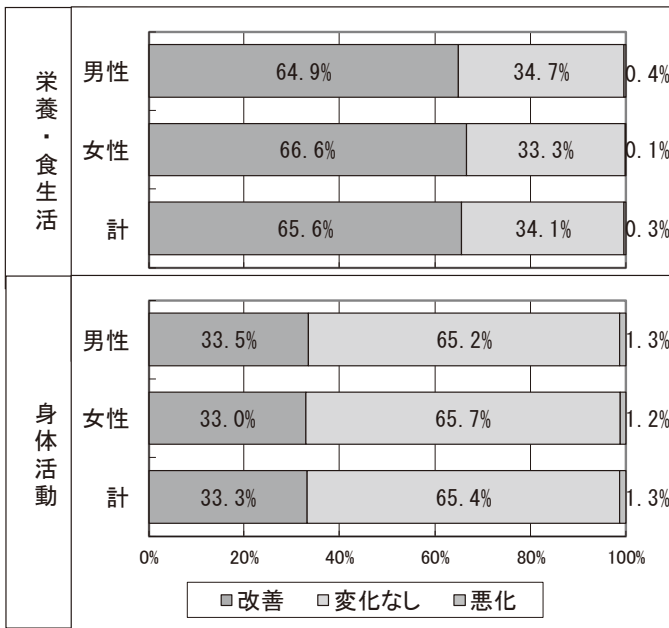
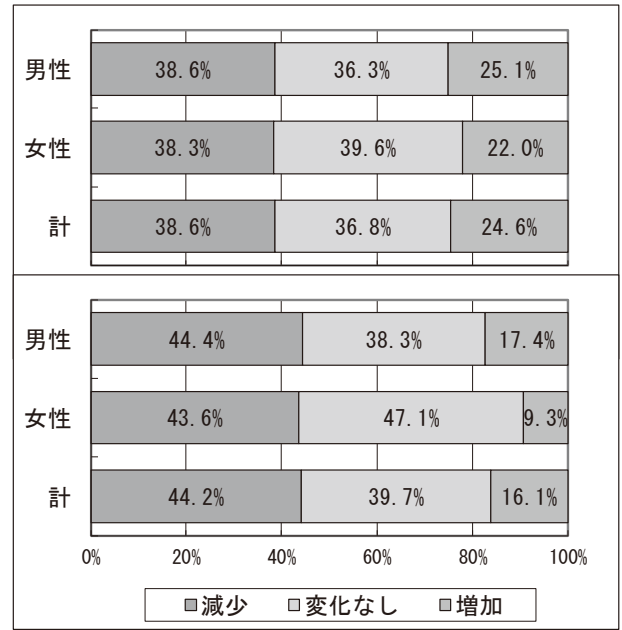
※ 動機付け支援相当は積極的支援に含む

<令和4年度 特定保健指導改善状況>

動機付け支援



積極的支援



## (10) 人間ドック

### < 健診方法 >

対象者: 地域住民及び職域職員(概ね40歳以上)

方法: 標準として、男性コースと女性コースの2種類があり、希望により喀痰細胞診検査、腹部超音波検査、前立腺がん検診、心筋疲労度検査、尿中アルブミン量、呼吸機能検査、甲状腺機能検査、骨粗鬆症検診、血圧脈波検査、眼圧測定を追加し実施

### < 結果 >

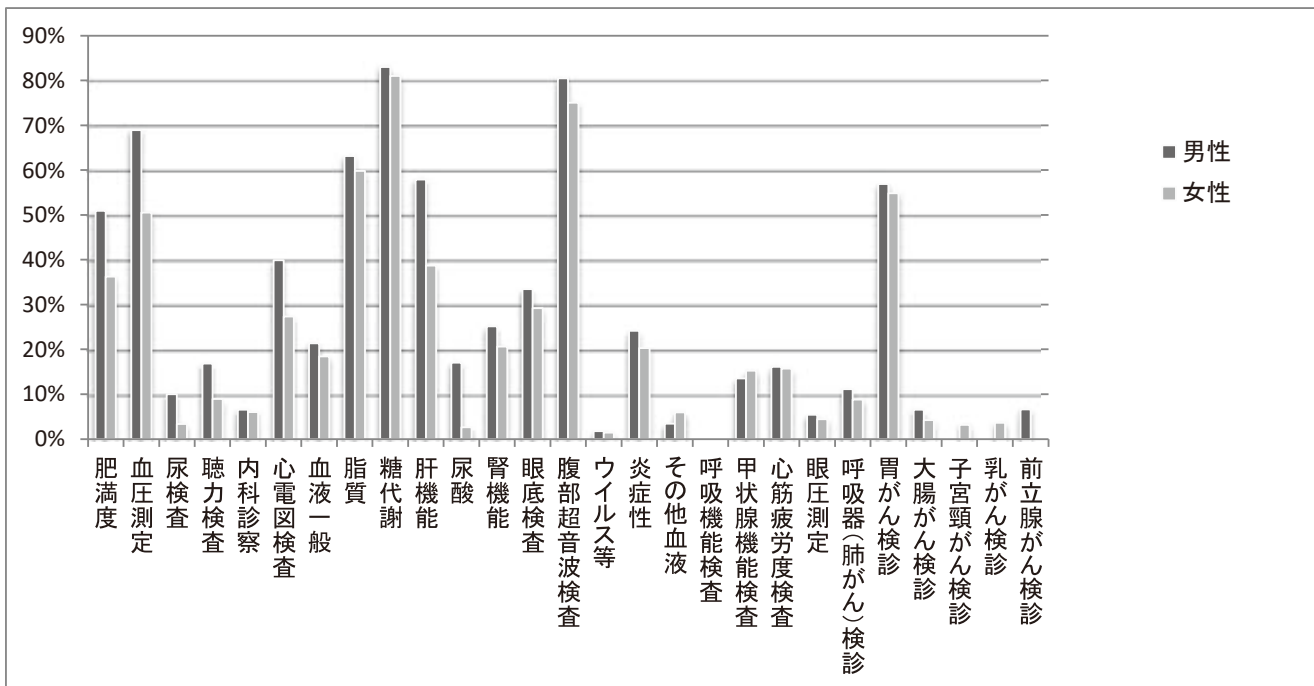
1. 受診者数は33,404人、内訳は地域住民28,523人、職域職員4,881人であった。男女比は 男性14,956人(44.8%)、女性18,448人(55.2%)と女性の割合が高かった。  
また、受診者の年齢構成は、男女ともに70歳以上が最も多く、その割合は男性46.7%、女性41.5%であった。
2. 有所見率は全体で99.6%であった。性別では男性が99.8%、女性が99.4%とほぼ同率であった。
3. 検査項目別有所見率では、男女とも糖代謝(男性83.0%・女性81.0%)が最も高かった。次いで、男性は腹部超音波検査80.5%、血圧68.9%であった。女性は腹部超音波検査75.0%、脂質59.8%であった。

### < 当年度実績 >

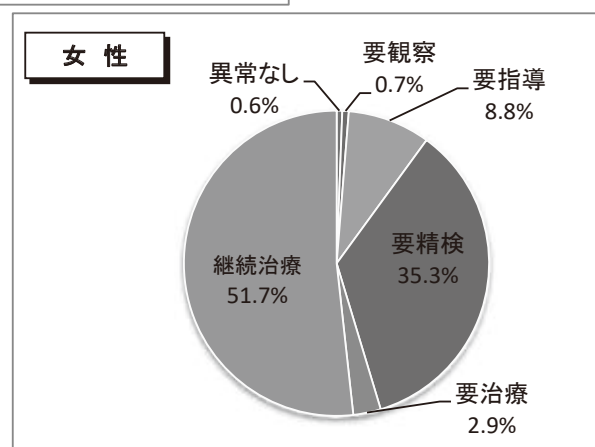
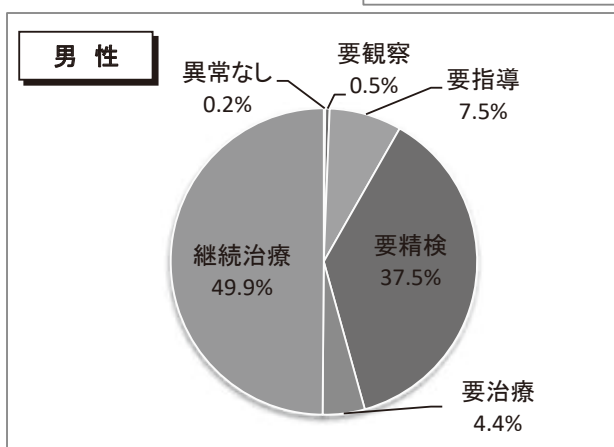
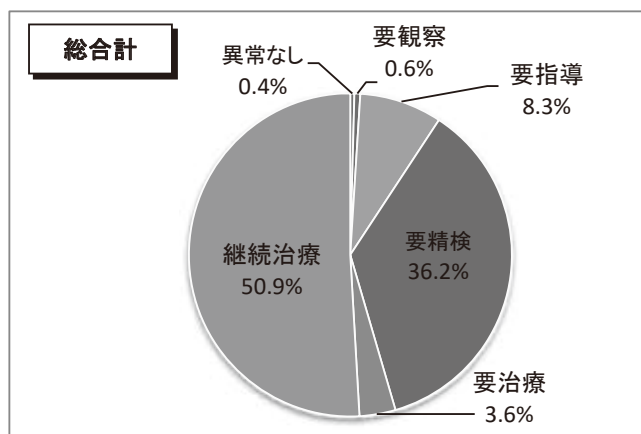
(人)

受診者数 A	内訳		有所見者数 B	有所見率 B/A
	地域住民	職域職員		
33,404	28,523	4,881	33,271	99.6%

<検査項目別にみた有所見率>



<総合判定成績>



検査項目別受診者数及び有所見者数

区分	肥満度		血圧		尿検査		聴力		内科診察		心電図		血液一般		脂質		糖代謝		肝機能		尿酸		腎機能		眼底		眼圧	
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
29歳以下	31	13	31	7	31	2	31	2	31	1	31	3	31	2	31	14	31	14	31	20	31	8	31	1	31	1	5	1
30～39歳	227	108	227	79	227	27	3190	-	227	4	226	43	227	42	227	143	227	101	227	161	227	58	227	5	226	15	103	10
40～49歳	1,688	869	1,688	739	1,688	82	906	45	1,688	27	1,688	344	1,688	284	1,688	1,105	1,688	1,074	1,688	424	1,688	482	1,688	98	1,685	211	548	48
50～59歳	1,961	1,066	1,961	1,080	1,961	156	1,004	97	1,961	99	1,961	507	1,961	326	1,961	1,398	1,961	1,490	1,961	1,290	1,961	444	1,961	237	1,945	434	695	54
60～69歳	4,068	2,153	4,068	3,694	4,068	431	617	186	4,068	189	4,068	1,519	4,068	749	4,068	2,621	4,068	3,549	4,068	2,362	4,068	695	4,068	929	4,005	1,394	1,296	69
70歳以上	6,981	3,405	6,981	4,705	6,979	824	242	174	6,981	646	6,983	3,556	6,979	1,777	6,979	4,066	6,979	6,152	6,979	3,747	6,979	918	6,981	2,490	6,744	2,831	1,805	59
計	14,956	7,614	14,956	10,304	14,951	1,498	2,990	502	14,956	966	14,926	5,952	14,954	3,190	14,954	9,438	14,954	12,411	14,954	8,654	14,954	2,547	14,956	3,760	14,636	4,886	4,452	241
29歳以下	33	13	33	5	33	-	30	-	33	1	33	2	33	6	33	11	33	3	33	11	33	2	33	1	33	-	3	-
30～39歳	147	51	147	14	147	2	125	1	147	4	147	18	147	51	147	68	147	43	147	49	147	49	147	-	147	6	43	1
40～49歳	1,771	631	1,771	414	1,771	40	696	15	1,771	60	1,768	297	1,771	540	1,771	814	1,771	856	1,771	631	1,771	34	1,771	94	1,763	178	511	27
50～59歳	2,516	934	2,516	1,074	2,515	51	938	39	2,516	108	2,512	502	2,516	443	2,516	1,607	2,516	1,816	2,516	1,049	2,516	72	2,516	272	2,487	402	807	45
60～69歳	6,325	2,285	6,325	2,577	6,323	207	484	88	6,325	331	6,311	1,596	6,325	909	6,325	4,159	6,325	5,422	6,325	2,463	6,325	160	6,325	1,185	6,117	1,910	1,826	82
70歳以上	7,656	2,783	7,655	5,228	7,653	307	220	100	7,656	600	7,637	2,617	7,655	1,444	7,655	4,373	7,655	6,797	7,655	2,922	7,655	204	7,656	2,245	7,266	2,707	1,757	61
計	18,448	6,677	18,447	9,312	18,442	607	2,493	223	18,448	1,104	18,408	5,002	18,447	3,393	18,447	11,032	18,447	14,937	18,447	7,145	18,447	473	18,448	3,797	17,813	5,203	4,947	216
合計	33,404	14,281	33,403	19,616	33,383	2,105	5,483	725	33,404	2,070	33,334	10,984	33,401	6,573	33,401	20,470	33,401	27,348	33,401	15,789	33,401	3,020	33,404	7,557	32,449	10,089	9,389	457

区分	腹部超音波		ウイルス等		炎症性		その他血液		呼吸機能検査		甲状腺機能検査		心筋疲労度検査		呼吸器(肺がん)		胃がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん		前立腺がん	
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
29歳以下	5	4	31	-	31	3	-	-	-	-	8	1	-	-	31	-	9	1	34	1	-	-	-	2	-	
30～39歳	133	70	227	-	227	42	51	2	-	-	10	-	3	-	227	7	195	55	208	7	-	-	-	71	1	
40～49歳	848	566	1,126	4	1,488	302	394	10	-	-	90	16	135	2	1,686	57	1,488	572	1,629	50	-	-	-	419	2	
50～59歳	1,178	940	1,401	11	1,828	396	470	10	-	-	132	13	194	5	1,925	142	1,661	838	1,880	78	-	-	-	886	20	
60～69歳	2,139	1,739	2,480	46	3,978	963	291	16	-	-	357	50	547	54	3,975	376	4,043	2,167	3,851	249	-	-	-	2,216	136	
70歳以上	3,843	3,236	3,844	95	6,977	1,794	206	9	-	-	703	95	1,185	271	6,690	1,024	4,316	3,017	6,558	541	-	-	-	3,739	327	
計	8,146	6,555	9,089	156	14,509	3,500	1,382	47	-	-	1,300	175	2,064	332	14,514	1,606	11,692	6,650	14,160	926	-	-	-	7,331	486	
29歳以下	4	-	33	-	33	5	-	-	-	-	3	2	-	-	31	1	3	-	34	-	-	-	-	-	-	
30～39歳	69	29	147	-	147	24	25	4	-	-	10	2	-	-	140	-	106	34	128	8	-	-	-	94	4	
40～49歳	686	387	1,771	3	1,771	288	191	26	-	-	195	22	126	4	1,730	43	1,294	414	1,564	65	-	-	-	1,384	118	
50～59歳	1,212	842	1,838	13	2,493	474	321	26	-	-	271	44	219	9	2,448	130	1,807	766	2,347	82	-	-	-	1,980	82	
60～69歳	3,303	2,517	4,055	78	6,314	1,326	251	2	-	-	590	84	643	67	6,126	513	3,049	1,845	6,077	212	-	-	-	4,742	147	
70歳以上	4,327	3,441	4,195	74	7,684	1,610	286	5	-	-	733	120	1,100	247	7,341	881	3,908	2,512	7,281	361	-	-	-	4,744	74	
計	9,621	7,216	12,039	168	18,412	3,737	1,074	63	-	-	1,802	274	2,088	327	17,816	1,568	10,167	5,571	17,431	728	-	-	-	13,588	493	
合計	17,767	13,771	21,128	324	32,921	7,237	2,466	110	-	-	3,102	449	4,152	659	32,330	3,174	21,859	12,221	31,591	1,654	-	-	-	13,588	493	

\*令和4年度実施なし

<検査種別別受診者数>

	男		女		計
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	
異常なし	24	109	133		133
要観察	69	127	196		196
要指導	1,138	1,621	2,759		2,759
要精検	5,604	6,504	12,108		12,108
要治療	664	541	1,205		1,205
継続治療	7,457	9,546	17,003		17,003

## (11) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

## &lt;健診方法&gt;

## 対象者

一般健診:被保険者のうち、当該年度において35歳から75歳未満の者

付加健診:一般健診を受診する者のうち、当該年度において40歳および50歳の者

子宮頸がん検診:当該年度20~74歳の偶数年齢の者(36歳以上は一般健診を受診する者)

乳がん検診:一般健診を受診する者のうち、当該年度において40歳から74歳の偶数年齢の者

肝炎ウイルス検査:一般健診を受診する者のうち、過去に受診したことのない者

## 方法

一般健診:問診、計測、内科診察、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図検査、呼吸器検診  
胃がん検診、大腸がん検診

付加健診:一般健診項目に眼底検査、腹部超音波検査など6項目の検査を追加

子宮頸がん検診:問診、双合診、細胞診

乳がん検診:問診、乳房エックス線撮影検査

肝炎ウイルス検査:HCV抗体検査、HBs抗原検査

## &lt;結果&gt;

- 受診者数は37,229人、内訳は一般健診36,159人、付加健診1,070人であり、男女比は男性19,880人(53.4%)、女性17,349人(46.6%)と男性の割合が高かった。  
また、受診者の年齢構成は男女とも40歳~49歳が最も多く、その割合は男性30.7%、女性32.5%であった。
- 有所見率は全体で95.1%であった。性別では男性97.8%、女性92.0%と男性が高率であった。
- 検査項目別有所見率は、男性は脂質(68.8%)が最も高かった。次いで診察等(身長・体重・BMI・腹囲・内科診察・聴力)(63.4%)、血圧(56.0%)の順であった。  
女性は、脂質(57.0%)が最も高かった。次いで胃がん検診(45.5%)、診察等(43.7%)の順であった。

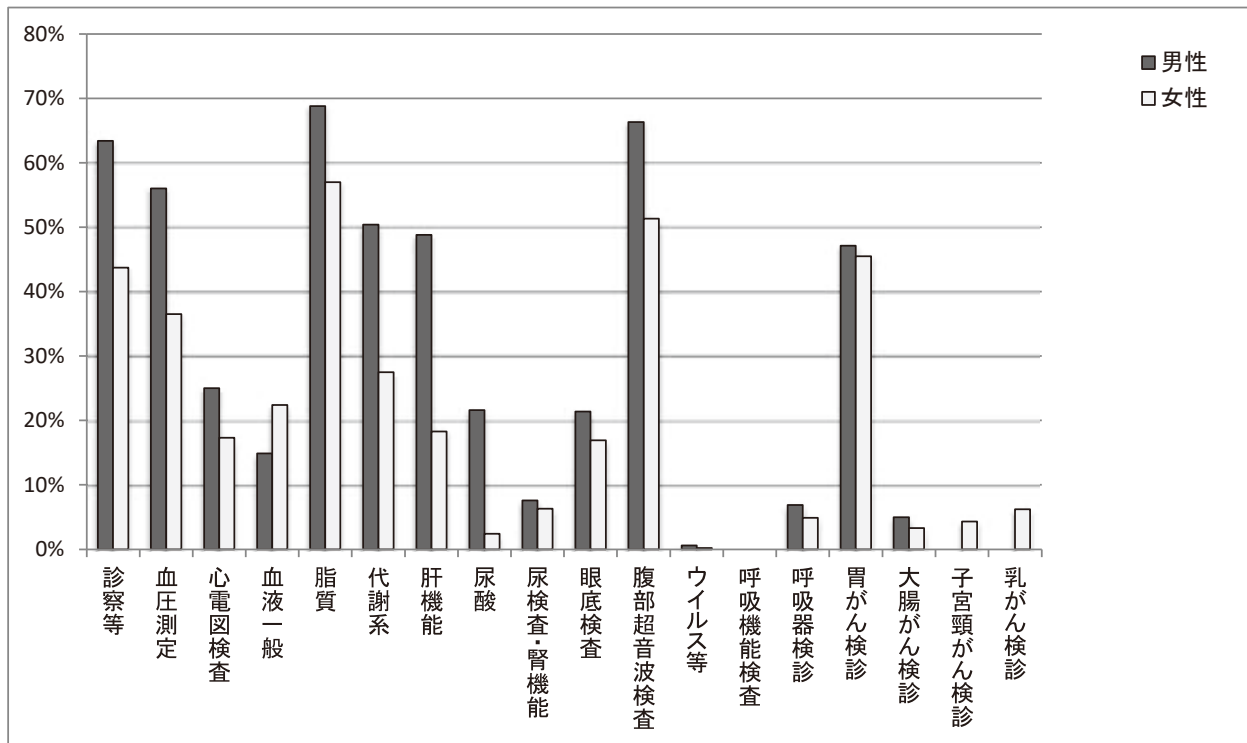
## &lt;当年実績&gt;

(人)

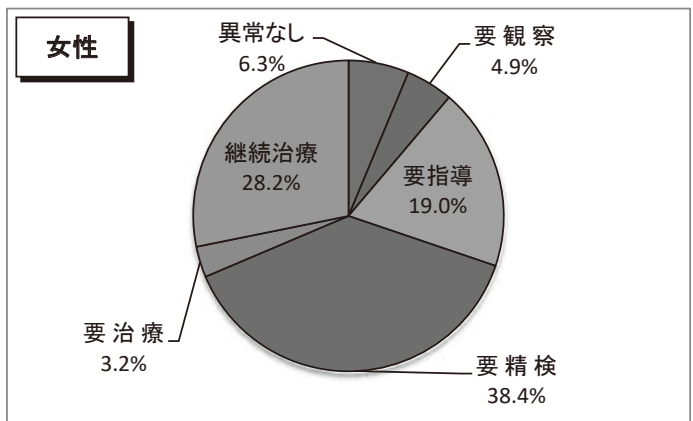
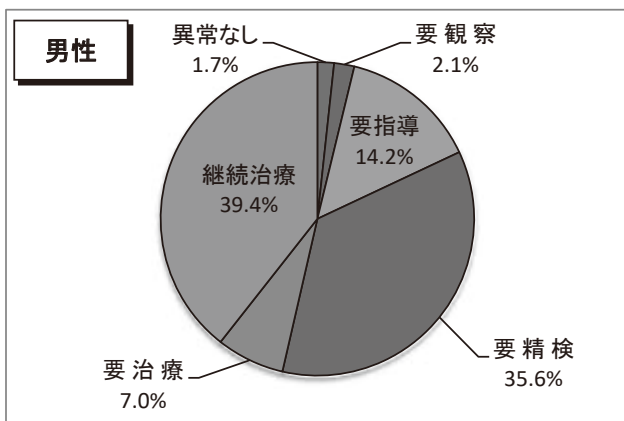
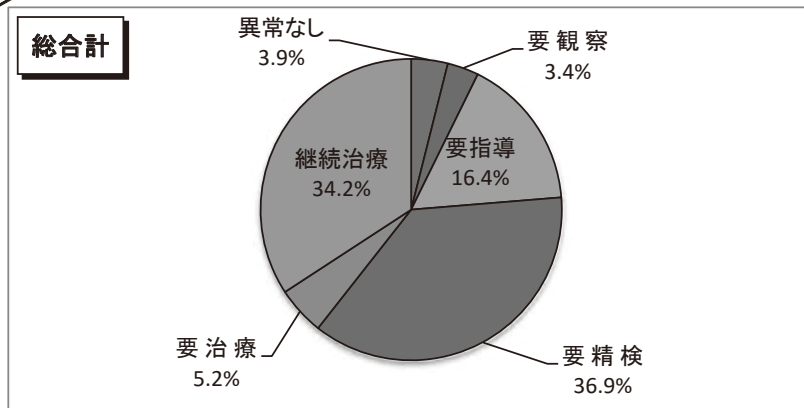
受診者数 A	内訳		有所見者数 B	有所見率 B/A
	一般健診	付加健診		
37,229	36,159	1,070	35,402	95.1%



<検査項目別有所見率>



<総合判定成績>



検査項目別受診者数及び有所見者数

区分	診察等		血圧		心電図		血液一般		脂質		代謝系		肝機能		尿酸		尿酸検査・腎機能		眼底		腹部超音波		ウイルス等		
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	
男	2,353	1,204	2,353	872	2,353	379	2,351	197	2,351	1,565	2,351	640	2,351	1,137	2,351	626	2,351	2,351	24	605	58	64	-	-	
	6,113	3,419	6,113	2,956	6,113	1,148	6,113	746	6,113	4,336	6,113	2,627	6,113	3,157	6,113	1,502	6,113	6,113	179	2,415	322	164	-	-	
	5,488	3,481	5,488	3,341	5,485	1,333	5,485	876	5,485	3,884	5,485	3,027	5,485	2,775	5,485	1,180	5,485	5,485	400	2,594	520	208	127	-	
	4,889	3,616	4,888	3,249	4,884	1,673	4,889	915	4,889	3,243	4,889	3,068	4,889	2,215	4,889	827	4,889	672	2,438	754	159	159	2	2	
	1,037	877	1,037	724	1,036	433	1,037	226	1,037	652	1,037	663	1,037	406	1,037	158	1,037	226	52	183	36	36	1	1	
計	19,880	12,597	19,879	11,142	19,869	4,966	19,875	2,960	19,875	13,680	19,875	10,025	19,875	9,690	19,875	4,293	19,875	1,501	14,699	8,574	1,837	561	372	499	3
女	2,186	889	2,186	365	2,186	285	2,186	603	2,186	879	2,186	250	2,186	216	2,186	35	2,186	53	428	22	68	-	-	-	
	5,636	2,338	5,636	1,576	5,634	796	5,635	1,784	5,635	2,705	5,635	1,121	5,635	742	5,635	100	5,635	190	1,688	185	207	82	190	-	
	5,623	2,442	5,623	2,300	5,621	1,017	5,619	953	5,619	3,699	5,619	1,738	5,619	1,307	5,619	189	5,619	377	2,297	392	304	180	188	1	
	3,517	1,685	3,516	1,832	3,516	797	3,516	481	3,516	2,358	3,516	1,471	3,516	826	3,516	89	3,516	407	1,535	375	115	115	-	-	
	387	225	387	258	387	111	387	58	387	238	387	191	387	87	387	7	387	72	177	63	19	19	-	-	
	17,349	7,579	17,348	6,331	17,344	3,006	17,343	3,879	17,343	9,879	17,343	4,771	17,343	3,178	17,343	420	17,343	1,099	6,125	1,037	511	262	580	1	
計	37,229	20,176	37,227	17,473	37,213	7,972	37,218	6,839	37,218	23,559	37,218	14,796	37,218	12,868	37,218	4,713	37,218	2,600	14,699	2,874	1,072	634	1,079	4	

＜総合判定成績＞

	計	
	男	女
異常なし	345	1,094
要観察	419	848
要指導	2,820	3,299
要精検	7,069	6,660
要治療	1,392	564
継続治療	7,835	4,884
計	1,439	1,267
	6,119	6,119
	13,729	13,729
	1,956	1,956
	12,719	12,719

区分	肺機能		呼吸器		胃がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん	
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
29歳以下												
30～39歳			2,352	68	1,984	658	2,225	77				
40～49歳			6,100	267	5,035	1,987	5,861	204				
50～59歳			5,452	389	4,336	2,168	5,284	278				
60～69歳			4,832	485	3,506	2,188	4,679	314				
70歳以上			1,009	154	662	486	983	84				
計			19,745	1,363	15,523	7,487	19,032	957				
29歳以下									364	41		
30～39歳			2,130	46	1,493	487	1,847	76	881	54	-	
40～49歳			5,580	148	3,814	1,487	4,928	152	1,478	85	1,698	138
50～59歳			5,564	326	3,694	1,766	5,244	147	1,404	37	1,586	75
60～69歳			3,465	275	2,188	1,283	3,351	120	878	5	1,024	55
70歳以上			381	41	221	165	367	17	114	-	127	7
計			17,120	836	11,410	5,188	15,737	512	5,119	222	4,435	275
合計			36,865	2,199	26,933	12,675	34,769	1,469	5,119	222	4,435	275

\*14年度実績を以て

\*子宮頸がん検診単独分を含む

## (12) 一般健康診断

### < 健診方法 >

対象者 : 労働安全衛生法に基づく健康診断、他

健診項目 : 既往歴及び業務歴の調査

自覚症状及び他覚症状の有無の確認

身長\*、体重、肥満度(BMI)\*、腹囲測定、視力、聴力検査\*呼吸器検診\*  
及び喀痰検査\*

血圧測定、内科診察、尿検査、貧血検査\*、肝機能検査\*脂質検査\*、血糖  
またはHbA1c検査\*、心電図検査\*

(注)\*は医師が必要でないと認める場合に省略できる健診項目

### < 結果 >

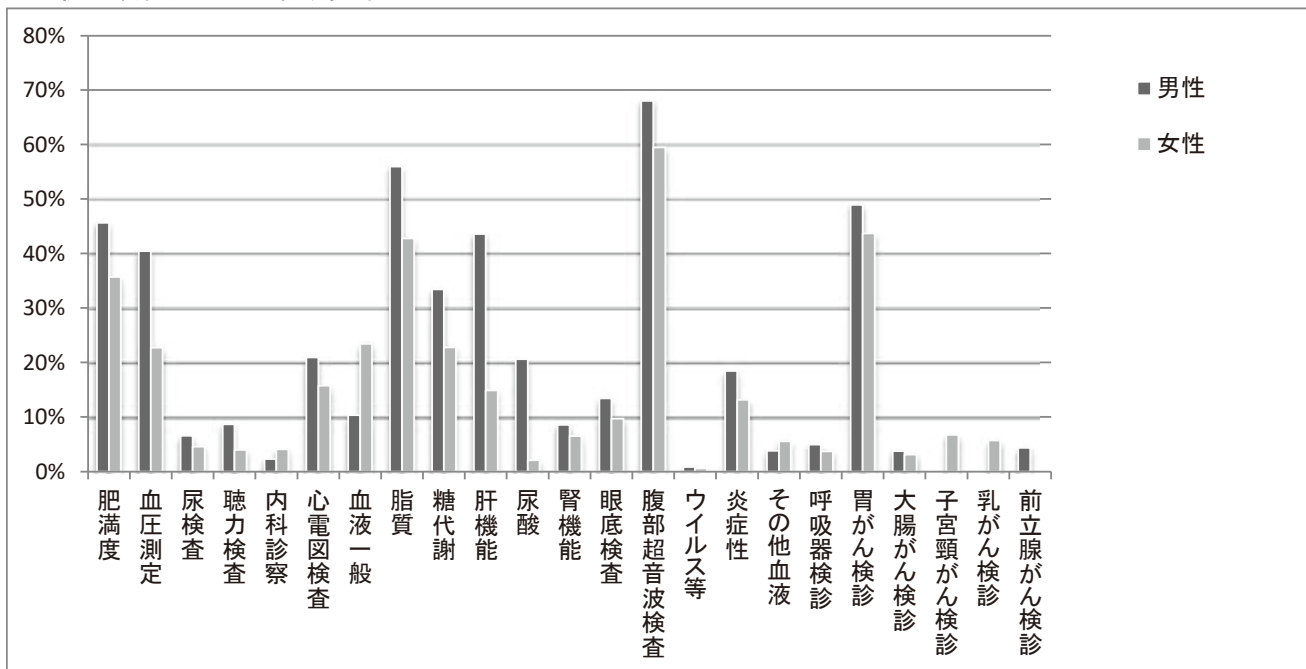
1. 受診者数は64,931人、男女比は男性36,997人(57.0%)、女性27,934人(43.0%)と男性の割合が高かった。また、受診者の年齢構成は男女とも29歳以下が最も多く、その割合は男性25.7%、女性26.3%であった。
2. 有所見率は全体で83.5%であった。性別では男性87.7%、女性77.9%と男性が高率であった。
3. 検査項目別有所見率は、男性は脂質(56.0%)が最も高く、次いで、肥満度(45.6%)、肝機能(43.6%)の順であった。女性は、脂質(42.8%)が最も高く、次いで肥満度(35.7%)、血液一般(23.4%)の順であった。また、追加項目の有所見率は、男女とも、腹部超音波検査が最も高率であった。

### < 当年度実績 >

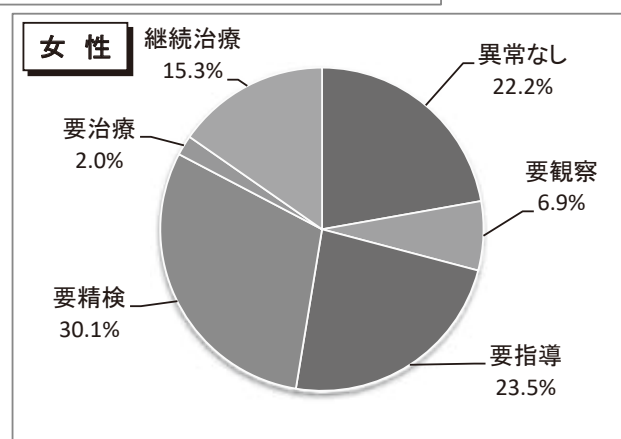
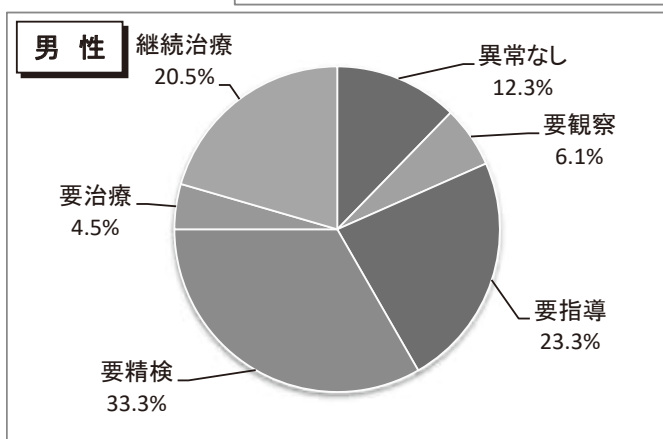
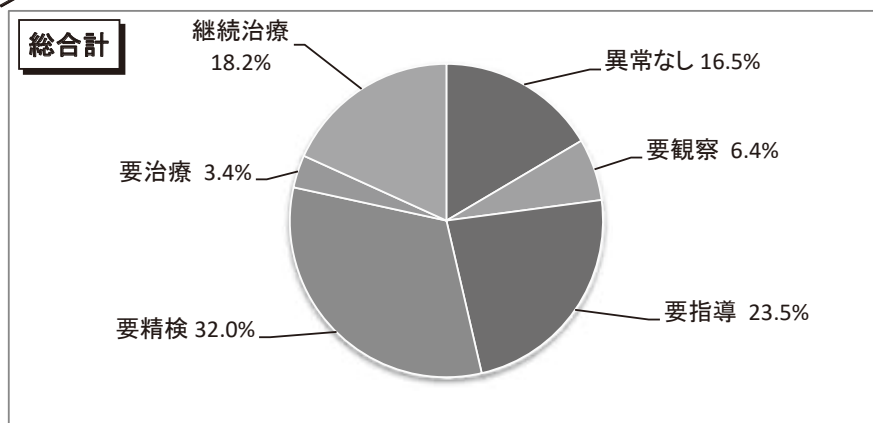
\* 労働安全衛生規則による健康診断 (人)

受診者数 A	有所見者数 B	有所見率 B/A
64,931	54,203	83.5%

<検査項目別にみた有所見率>



<総合判定成績>



検査項目別受診者数及び有所見者数

区分	肥満度		血圧		尿検査		聴力		内科診察		心電図		血液一般		脂質		糖代謝		肝機能		尿酸		腎機能		眼底	
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
29歳以下	9,391	3,491	9,507	2,160	9,505	375	7,756	104	9,195	163	7,750	1,438	7,781	452	7,959	3,315	7,839	1,077	7,783	2,802	3,265	671	3,522	105	1,832	54
30～39歳	9,210	4,148	9,423	2,876	9,418	304	8,187	145	9,148	114	8,199	1,325	8,357	557	8,483	4,785	8,471	1,787	8,386	3,740	4,201	1,011	4,468	163	2,563	101
40～49歳	6,570	3,096	6,714	3,043	6,710	422	5,706	322	6,591	116	5,821	1,091	5,822	704	5,895	3,785	5,895	2,123	5,840	2,842	4,122	908	4,374	254	2,386	243
50～59歳	6,780	3,548	6,839	3,942	6,831	681	6,061	738	6,724	166	6,082	1,426	6,095	822	6,164	3,992	6,159	3,261	6,115	2,930	4,604	905	4,696	571	2,701	608
60～69歳	3,686	1,937	3,710	2,368	3,704	487	3,236	993	3,632	179	3,305	1,060	3,290	614	3,324	1,974	3,326	2,161	3,294	1,428	2,262	329	2,321	491	1,247	403
70歳以上	800	409	799	563	796	150	648	445	771	83	712	335	720	174	720	380	719	456	720	258	282	38	357	108	146	52
計	36,437	16,629	36,992	14,952	36,964	2,419	31,594	2,747	36,061	821	31,869	6,675	32,065	3,323	32,545	18,211	32,509	10,865	32,138	14,000	18,736	3,862	19,738	1,692	10,875	1,461
29歳以下	7,092	2,339	7,347	533	7,296	271	6,053	71	7,155	219	6,011	737	6,367	1,244	6,250	1,652	6,256	441	6,232	509	2,270	33	2,741	85	1,504	32
30～39歳	6,403	2,278	6,593	746	6,553	246	5,822	81	6,414	259	5,887	784	6,118	1,551	6,113	2,133	6,088	713	6,117	711	2,837	39	3,381	81	1,907	75
40～49歳	5,673	2,007	5,783	1,430	5,722	265	5,239	118	5,720	271	5,391	836	5,454	1,846	5,456	2,341	5,456	1,278	5,452	807	3,416	53	4,236	183	1,988	177
50～59歳	5,181	1,983	5,254	2,075	5,238	273	4,823	244	5,177	233	4,856	881	4,923	914	4,923	3,080	4,918	1,944	4,923	1,149	3,103	102	3,788	389	2,033	313
60～69歳	2,394	942	2,411	1,215	2,409	172	2,218	317	2,349	92	2,241	486	2,273	361	2,273	1,427	2,277	1,165	2,273	543	1,159	34	1,422	211	698	178
70歳以上	535	206	536	349	536	39	389	145	518	44	478	190	483	91	483	267	483	257	483	86	134	7	243	81	60	22
計	27,278	9,735	27,924	6,348	27,794	1,266	24,544	976	27,333	1,118	24,864	3,914	25,618	6,007	25,498	10,910	25,478	5,798	25,480	3,805	12,919	268	15,821	1,030	8,200	797
合計	63,715	26,364	64,916	21,300	64,718	3,685	56,138	3,723	63,394	1,939	56,733	10,589	57,683	9,330	58,043	29,121	57,987	16,663	57,618	17,805	31,655	4,130	35,559	2,722	19,075	2,258

区分	腹部超音波		ウルス等		炎症性		その他血液		呼吸器(肺がん)		胃がん		大腸がん		子宮頸がん		乳がん		前立腺がん	
	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数	受診者数	有所見数
29歳以下	55	26	269	-	1	1	757	18	7,498	86	40	10	283	8	383	39	14	-	9	-
30～39歳	456	236	268	2	10	1	930	22	7,617	175	1,096	435	917	22	588	32	391	22	31	-
40～49歳	659	432	182	1	23	2	717	23	5,225	261	2,916	1,218	3,435	97	471	42	499	32	124	3
50～59歳	788	586	200	3	33	5	774	31	5,600	445	3,176	1,624	3,927	154	486	31	554	38	1,161	26
60～69歳	396	311	99	1	34	8	376	30	3,054	354	1,473	932	2,045	104	258	5	306	9	692	49
70歳以上	72	59	30	2	2	2	64	13	637	140	167	118	291	21	38	-	53	3	135	15
計	2,426	1,650	1,048	9	103	19	3,618	137	29,631	1,461	8,868	4,337	10,898	406	3,618	14	14	-	2,152	93
29歳以下	55	19	322	-	1	1	403	13	5,872	89	21	4	167	10	383	39	14	-	9	-
30～39歳	162	65	209	-	4	2	322	14	5,330	105	398	120	426	16	588	32	391	22	31	-
40～49歳	455	234	245	-	10	-	320	15	4,982	152	2,197	837	3,058	96	471	42	499	32	124	3
50～59歳	544	361	285	4	9	-	347	26	4,449	265	2,010	948	3,082	80	486	31	554	38	1,161	26
60～69歳	231	170	145	2	13	3	133	14	2,057	184	703	403	1,263	48	258	5	306	9	692	49
70歳以上	41	36	29	1	1	-	28	4	416	57	59	42	132	1	38	-	53	3	135	15
計	1,488	885	1,235	7	38	5	1,553	86	23,086	852	5,388	2,354	8,128	251	2,224	149	1,817	104	2,152	93
合計	3,914	2,535	2,283	16	141	24	5,171	223	52,717	2,313	14,256	6,691	19,026	657	2,224	149	1,817	104	2,152	93

<総合判定成績> (人)

	男	女	計
異常なし	4,542	6,186	10,728
要観察	2,242	1,939	4,181
要指導	8,671	6,565	15,236
要精検	12,318	8,418	20,736
要治療	1,652	566	2,218
継続治療	7,572	4,260	11,832

## (13) 特殊健康診断

### < 検査方法 >

対象者：有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則、鉛中毒予防規則、じん肺法施行規則、電離放射線障害防止規則、高気圧作業安全衛生規則に基づく業務に従事している者、及び指導勸奨による特殊健康診断の対象者

方 法：問診、他覚症状の有無の検査、尿検査、血液検査等の定められた検査

### < 結 果 >

1. 受診者数は、有機溶剤健康診断3,945人、特定化学物質健康診断3,155人、鉛健康診断303人、じん肺健康診断577人、電離放射線健康診断1,117人、高気圧健康診断61人、騒音健康診断492人、情報機器作業健康診断10,512人であった。
2. 有所見率は、有機溶剤健康診断3.5%、特定化学物質健康診断(新特化物含む)11.6%、鉛健康診断4.0%、じん肺健康診断2.4%、電離放射線健康診断23.5%、高気圧健康診断18.0%、情報機器作業健康診断84.2%(自覚症状による有所見者を含む)だった。なお、騒音健康診断についてはガイドラインに基づき令和4年度より機構による健康診断結果評価は行っていない。

### < 当年度実績 >

(人)

特殊健康診断名	受診者数 A	一次検査	
		有所見者数 B	有所見率 B/A
有機溶剤健康診断	3,945	139	3.5%
特定化学物質健康診断(新特化物含む)	3,155	365	11.6%
鉛健康診断	303	12	4.0%
じん肺健康診断	577	14	2.4%
電離放射線健康診断	1,117	263	23.5%
高気圧健康診断	61	11	18.0%
騒音健康診断	492	-	-
情報機器作業健康診断	10,512	8,856	84.2%

## (14) 学校検診

### <検診方法>

対象者：児童、生徒、学生及び幼児

方法：心電図検査、貧血検査、尿検査、血液型検査

### <結果>

- 心電図検査の受診者数は11,264人で、小学校2,729人、中学校3,198人、高等学校5,337人で、有所見率は全体で7.9%(894人)であった。
- 貧血検査の受診者数は4,145人で、有所見率は血色素4.7%(194人)、ヘマトクリット2.4%(98人)、赤血球数2.4%(98人)であった。
- 尿検査の受診者数は延べ19,808人で、疑・陽性率は尿糖0.2%(48人)、尿蛋白10.9%(2,164人)、尿潜血2.8%(548人)、ウロビリ0.0%(0人)であった。

< 当年実績 >

(人)

区分	心電図検査				貧血検査					
					血色素		ヘマトクリット		赤血球数	
	検査人数	異常なし	B判定	A判定	検査人数	有所見者数	検査人数	有所見者数	検査人数	有所見者数
幼稚園・保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	2,729	2,521	134	74	0	0	0	0	0	0
中学校	3,198	2,956	126	118	1,008	33	1,008	9	1,008	32
高等学校	5,337	4,895	235	207	3,137	161	3,137	89	3,137	66
合計	11,264	10,372	495	399	4,145	194	4,145	98	4,145	98

※A判定:要精密検査 B判定:要再検査又は再検不要

区分	尿検査								血液型検査人数	
	糖		蛋白		潜血		ウロビリ			
	検査人数	疑・陽性	検査人数	疑・陽性	検査人数	疑・陽性	検査人数	疑・陽性	ABO式	Rh式
幼稚園・保育園	328	0	328	1	328	3	2	0	0	0
小学校	4,494	3	4,494	216	4,494	124	5	0	0	0
中学校	2,748	11	2,748	374	2,748	93	2	0	0	0
高等学校	12,238	34	12,238	1,573	12,238	328	11	0	0	0
合計	19,808	48	19,808	2,164	19,808	548	20	0	0	0

## (15) 腹部超音波検査

### <検査方法>

対象者：人間ドックや総合健診等で、受診を希望する者

方法：問診

対象臓器	肝臓、胆道、膵臓、脾臓、腎臓
使用機器	超音波診断装置22台（探触子3.5MHz コンベックス）
画像記録	サーマルプリンター
検者	臨床検査技師
判定	消化器専門医

### <結果とまとめ>

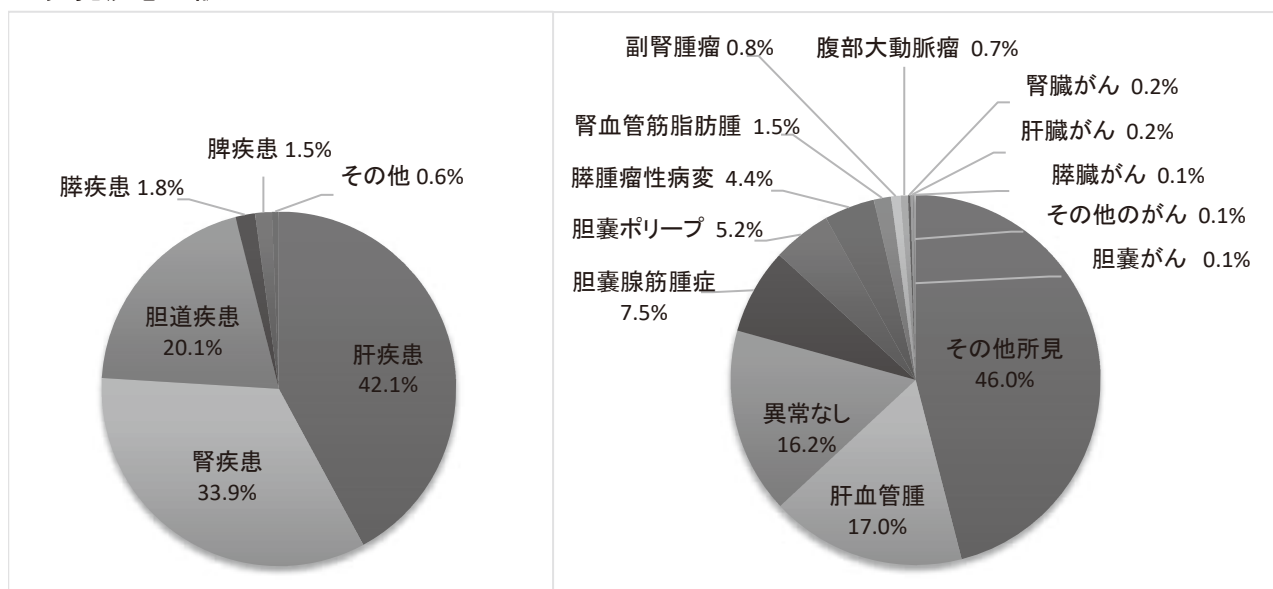
1. 受診者の男女比は男性が49.6%、女性が50.4%でほぼ同じ割合であった。  
また、受診者の年齢構成は男女共に70歳以上が最も多く、男性32.3%、女性33.7%であった。
2. 要精検率は6.0%（1,858人）であり、精検受診率は79.8%（1,482人）であった。
3. がん発見率は0.04%（13人）であり、腎がん4人、肝がん4人、転移性肝腫瘍1人、胆嚢がん1人、膵臓癌2人、その他の悪性疾患1人であった。

### <当年実績>

(人)

受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検受診者数 C	精検受診率 C/B	がん発見数 D	がん発見率 D/A
31,171	1,858	6.0%	1,482	79.8%	13	0.04%

### <発見疾患内訳>













## (16) 骨密度測定

### <検査方法>

対象者：人間ドックや総合健診等で、受診を希望する方

方法：測定方法 超音波検査法

測定機種 日立アロカ社製AOS-100

測定部位 踵骨(右足を基本とする)

測定度指標 OSI(音響的骨評価)値を踵骨の骨密度とする

測定方法 DXA法(二重エネルギーX線吸収測定法)

測定機種 日立アロカ社製DCS-600EXV

測定部位 非利き腕の橈骨1/3遠位部(骨折既往があれば反対側とする)

測定度指標 橈骨の断面1cm角当たりのX線吸収率を基に骨塩量を測定し骨密度とする

指導区分：19歳以上

US：骨粗しょう症予防マニュアル(厚生労働省)スクリーニング基準、A・B・Cに区分

DXA：最大骨量比較(%)YAMによる区分

### <結果>

1. 19歳以上の受診者は、超音波法6,778人、DXA法2,143人で合計8,921人であった。

骨密度測定値(US法)による区分では、標準基準値内が29.9%基準値外は70.1%であった。

< 年齢階層別実施成績 >

19歳以上 US法 総合計

(人)

性別	年齢 (歳)	受診者数	骨密度測定値による区分			指導区分 (ブロック)							
			標準 基準値	標準基準値外		1	2	3	4	5	6		
			A	B	C								
男	19未満												
	19～24	2	2				2						
	25～29	10	8	2			8	2					
	30～34	16	12	4			12	4					
	35～39	20	13	6	1		13	4	2			1	
	40～44	48	22	26			22	23	3				
	45～49	57	34	23		1	33	20	3				
	50～54	86	44	39	3		44	28	11				3
	55～59	82	43	36	3	1	42	22	14				3
	60～64	129	65	61	3	6	59	36	25				3
	65～69	185	84	97	4	10	74	68	29				4
	70～74	272	111	159	2	13	98	104	55				2
	75～79	155	68	85	2	10	58	54	31				2
	80以上	87	26	60	1	7	19	33	27				1
計	1,149	532	598	19	48	484	398	200				19	
女	19未満												
	19～24	8	6	2		2	4	2					
	25～29	21	18	3		1	17	3					
	30～34	40	27	10	3	1	26	10					3
	35～39	115	79	33	3	4	75	33					3
	40～44	195	129	54	12	8	121	54		2			10
	45～49	286	199	76	11	10	189	67	9				11
	50～54	388	229	154	5	19	210	130	24				5
	55～59	583	189	393	1	15	174	279	114				1
	60～64	845	180	665		15	165	411	254				
	65～69	1,094	205	889		20	185	475	414				
	70～74	1,250	162	1,088		29	133	517	571				
	75～79	562	50	512		7	43	231	281				
	80以上	242	22	220		5	17	75	145				
計	5,629	1,495	4,099	35	136	1,359	2,287	1,812	2			33	
合計	6,778	2,027	4,697	54	184	1,843	2,685	2,012	2			52	
%	100.0%	29.9%	69.3%	0.8%	2.7%	27.2%	39.6%	29.7%	0.03%			0.8%	

指導区分の説明(ブロック別)	
1	あなたの骨密度は、同年齢の人に比べて高いと言えます。 これからもバランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。
2	あなたの骨密度は、同年齢の人に比べて同等と言えます。 これからもバランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。
3	あなたの骨密度は、同年齢の人に比べて同等と言えますが、 若年成年時の平均の骨密度と比べるとやや低下しています。 これからもバランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。
4	あなたの骨密度は、同年齢の人に比べて同等と言えますが、若年成年時の平均の骨密度と 比べるとかなり低下しています。バランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。 定期的に検査を受けることをおすすめします。
5	あなたの骨密度は、同年齢の人に比べて低いと言えます。若年成年時の平均の骨密度と 比べてもやや低下しています。バランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。 定期的に検査を受けることをおすすめします。
6	あなたの骨密度は、同年齢の人に比べて低いと言えます。若年成年時の平均の骨密度と 比べてもかなり低下しています。更に詳しい検査を受けられることをおすすめします。

< 年齢階層別実施成績 >

19歳以上 DXA法 総合計

(人)

性別	年齢 (歳)	受診者数	指導区分 (ブロック)		
			1	2	3
男	19未満				
	19～24	1	1		
	25～29	1	1		
	30～34	4	4		
	35～39	6	6		
	40～44	14	14		
	45～49	12	12		
	50～54	19	19		
	55～59	16	16		
	60～64	17	17		
	65～69	31	29	2	
	70～74	61	49	9	3
	75～79	52	44	6	2
	80以上	24	16	6	2
計	258	228	23	7	
女	19未満				
	19～24	3	3		
	25～29	1	1		
	30～34	5	5		
	35～39	10	10		
	40～44	84	84		
	45～49	102	101	1	
	50～54	134	129	3	2
	55～59	174	138	26	10
	60～64	278	171	64	43
	65～69	418	194	111	113
	70～74	435	142	157	136
	75～79	169	35	63	71
	80以上	72	12	30	30
計	1,885	1,025	455	405	
合計		2,143	1,253	478	412
%		100.0%	58.5%	22.3%	19.2%

指導区分	最大骨量比較(%) YAM	コメント
1	80%	あなたの骨密度は、若年成人時の平均骨密度と比べて高いと言えます。 これからもバランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。
2	80%未満 70%超える	あなたの骨密度は、若年成人時の平均の骨密度と比べてやや低下しています。 これからもバランスの良い食事や適度な運動を心がけましょう。 定期的に検査を受けることをおすすめします。
3	70%以下	あなたの骨密度は、若年成人時の平均の骨密度と比べてかなり低下しています。 さらに詳しい検査を受けられることをおすすめします。

### (17) 肝炎ウイルス検診

#### <検診方法>

対象者:実施主体が必要と認めた者及び個人の希望がある者  
但し問診票による同意が得られない者は除く  
方法:地域住民及び職域職員それぞれの判定フローチャートに基づく判定結果及び判定理由を通知する

#### <結果>

1. C型肝炎ウイルス検診の受診者数内訳は、地域住民は2,924人(64.7%)、職域職員1,598人(35.3%)であった。
2. C型肝炎ウイルス検診陽性者は、10人(0.22%)であった。
3. B型肝炎ウイルス検診陽性者は、31人(0.69%)であった。

#### <当年実績>

(人)

C型肝炎ウイルス検診					B型肝炎ウイルス検診				
受診者数	内 訳		陽性者数	陽性率	受診者数	内 訳		陽性者数	陽性率
	A	地域住民				職域職員	B		
4,522	2,924	1,598	10	0.22%	4,484	2,924	1,560	31	0.69%

#### <実施成績>

地域住民合計(表-1)

(人)

表-1内訳

受診者数	2,924	受診者		C型肝炎ウイルス検診						B型肝炎ウイルス検診	
		C型	B型	判定①	判定②	判定③	判定④	計 ①+②	陽性	陰性	
											陽性
[内訳]											
C型+B型	2,924										
C型のみ	0	39歳以下	4	4	0	0	0	4	0	0	4
B型のみ	0	40～44歳	492	492	1	0	0	491	1	1	491
HCV核酸増幅	8	45～49歳	233	233	0	0	0	233	0	0	233
判定結果		50～54歳	207	207	0	0	0	207	0	0	207
[C型]		55～59歳	213	213	0	0	0	213	0	0	213
判定①	2	60～64歳	373	373	1	0	3	369	1	3	370
判定②	0	65～69歳	516	516	0	0	2	514	0	7	509
判定③	8	70歳以上	886	886	0	0	3	883	0	15	871
判定④	2,914	計	2,924	2,924	2	0	8	2,914	2	26	2,898
[B型]											
陽性	26										
陰性	2,898										



職域職員合計(表-2)

(人)

受診者数	521
〔内訳〕	
C型+B型	483
C型のみ	38
B型のみ	0
HCV核酸増幅	0
判定結果	
〔C型〕	
判定 I	1
判定 II	0
判定 III	1
判定 IV	519
〔B型〕	
陽性	1
陰性	482

表-2内訳

	受診者		C型肝炎ウイルス検診					B型肝炎ウイルス検診	
	C型	B型	判定 I	判定 II	判定 III	判定 IV	計	陽性	陰性
							I+II+III		
39歳以下	267	267	1	0	0	266	1	0	267
40～44歳	60	29	0	0	0	60	0	0	29
45～49歳	51	47	0	0	0	51	0	0	47
50～54歳	40	38	0	0	0	40	0	1	37
55～59歳	36	35	0	0	0	36	0	0	35
60～64歳	29	29	0	0	1	28	1	0	29
65～69歳	17	17	0	0	0	17	0	0	17
70歳以上	21	21	0	0	0	21	0	0	21
計	521	483	1	0	1	519	2	1	482

全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診合計(表-3)

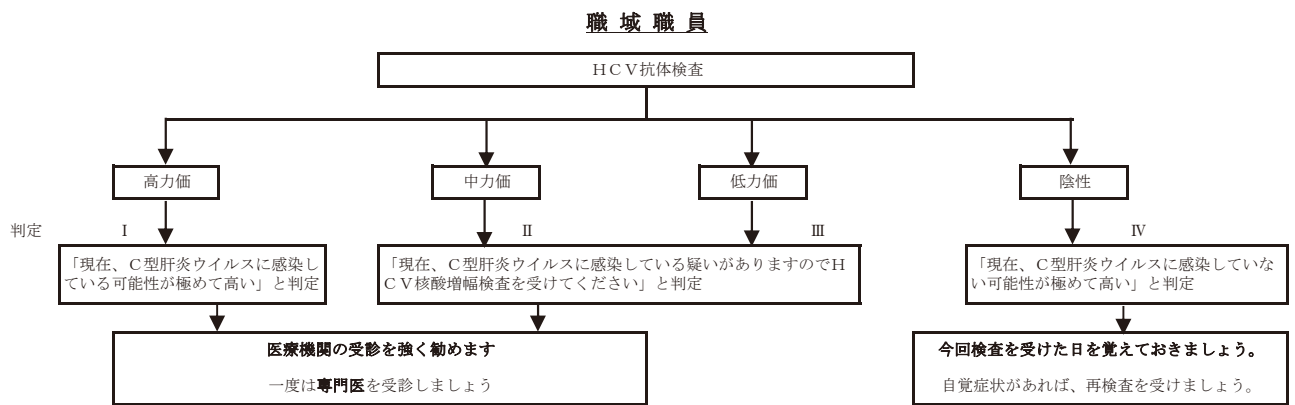
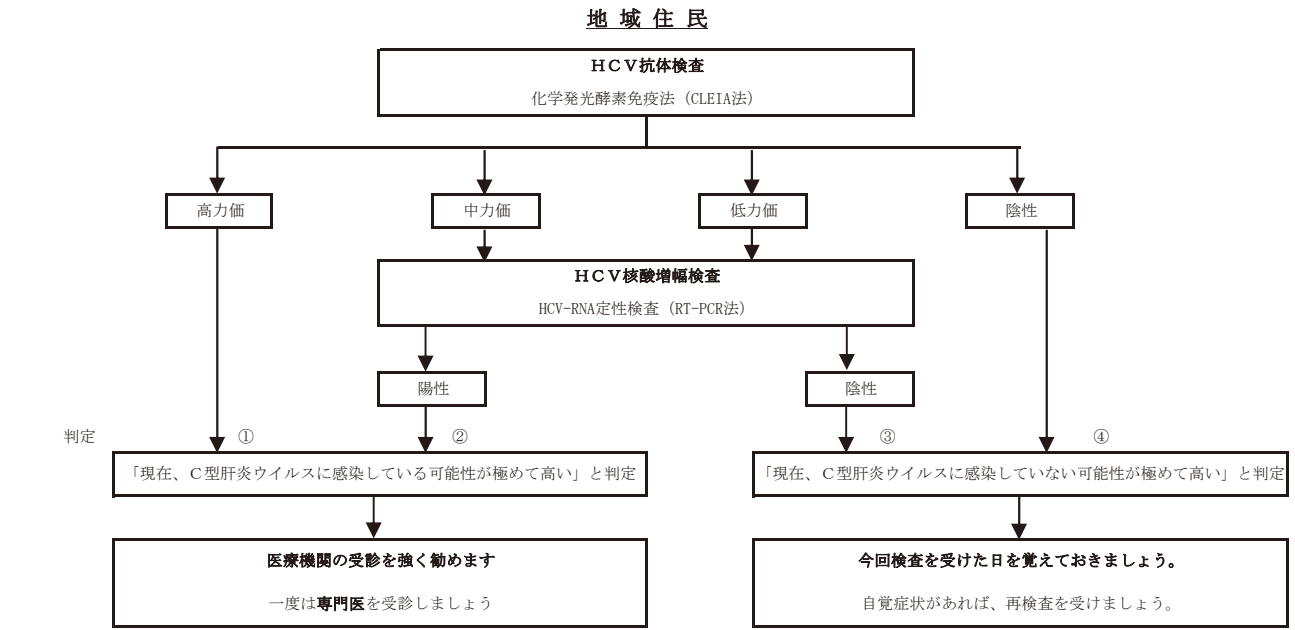
(人)

受診者数	1,077
〔内訳〕	
C型+B型	1,077
C型のみ	0
B型のみ	0
HCV核酸増幅	0
判定結果	
〔C型〕	
判定1	1
判定2	1
判定3	4
判定4	1,071
〔B型〕	
陽性	4
陰性	1,073

表-3内訳

	受診者		C型肝炎ウイルス検診					B型肝炎ウイルス検診	
	C型	B型	判定1	判定2	判定3	判定4	計	陽性	陰性
							1+2+3		
39歳以下	132	132	0	0	1	131	1	0	132
40～44歳	140	140	0	0	0	140	0	0	140
45～49歳	162	162	0	0	1	161	1	0	162
50～54歳	172	172	0	0	0	172	0	0	172
55～59歳	143	143	0	0	0	143	0	1	142
60～64歳	166	166	1	0	1	164	2	1	165
65～69歳	108	108	0	1	0	107	1	1	107
70歳以上	54	54	0	0	1	53	1	1	53
計	1,077	1,077	1	1	4	1,071	6	4	1,073

# 肝炎ウイルス検査 フローチャート



・ B型肝炎ウイルス検査 (HB s 抗原検査)



## (18) 保健指導及び事後管理

### < 実施方法 >

健康診査実施後の結果説明及び生活改善と健康保持増進を目的に、各関係機関と連携をはかり保健指導及び事後管理を行った。

1. 市町村及び事業所・健康保険組合からの依頼により事後指導及び健康講話を実施した。事後指導は53回・985人、健康講話は20回・390人に実施した。
2. 電話相談は、健(検)診結果についての相談が主であり、特に精密検査医療機関の照会が多かった。また、バリウム検査後の対応についてなど、胃部に関する相談に多く対応した。
3. 事後管理として、職域の各種がん検診の精検受診勧奨を実施した。実施主体と協力し、ハガキや電話による精検勧奨を行い受診率向上に努めた。ハガキについては、精検未受診者が勧奨文面を確認したと判断するために返信を依頼している。回収率は27.9%となった。

### < 保健指導状況 > (人)

区分	事後指導		健康講話	
	回数	人数	回数	人数
地域住民	0回	0	5回	77
職域職員	53回	985	15回	313
合計	53回	985	20回	390

### 健康講話 職種別回数 再掲(回)

保健師	10
管理栄養士	9
健康運動指導士	1

### < 電話相談状況 > (件)

区分	肥満	心電図	貧血	肝機能	脂質	腎機能	血糖等	胃部	大腸	呼吸器	子宮	乳	前立腺	腹部	その他	合計
男	1	13	2	5	13	3	5	46	10	17	0	0	6	8	132	261
女	1	9	3	1	6	3	9	54	12	13	16	20	0	6	180	333
合計	2	22	5	6	19	6	14	100	22	30	16	20	6	14	312	594

### < 精密検査勧奨状況 > (件)

区分	胃部	大腸	呼吸器	子宮	乳	前立腺	腹部	合計
勧奨ハガキ発送数	1,519	1,792	1,037	190	211	253	428	5,430
勧奨ハガキ回収数	406	481	271	43	80	77	159	1,517
回収率	26.7%	26.8%	26.1%	22.6%	37.9%	30.4%	37.1%	27.9%

(19) 出前講座

＜出前講座実施内容＞

山形検診センター

実施日	実施主体	実施数	担当	タイトル
1 6月9日	がん総合相談支援センター(がんサロン)	10	管理栄養士	きちんと食べて調子の良いカラダをつくる
2 7月21日	山形県JA女性組織協議会虹の会	8	保健師	カラダとココロが喜ぶ食生活
3 8月9日	山形県警察本部	34	保健師	女性のライフスタイルと健康について
4 8月12日	山形県警察本部	26	保健師	女性のライフスタイルと健康について
5 8月22日	山形県警察本部	34	保健師	女性のライフスタイルと健康について
6 8月23日	山形県警察本部	28	保健師	女性のライフスタイルと健康について
7 9月8日	ユトリア健康管理センター	19	管理栄養士	カラダとココロが喜ぶ食生活
8 10月31日	山形県警察本部	25	管理栄養士	カラダとココロが喜ぶ食生活
9 11月1日	山形県警察本部	10	管理栄養士	カラダとココロが喜ぶ食生活
10 12月8日	がん総合相談支援センター(がんサロン)	2	管理栄養士	お手軽体操で冬を乗り切る
11 2月16日	大石田町保健福祉課(健康推進員)	42	保健師	健康診断のススメ
12 3月28日	ユトリア健康管理センター	3	管理栄養士	すぐできる！今日から実践 食事でカラダがチェンジ
13 3月29日	ユトリア健康管理センター	3	管理栄養士	すぐできる！今日から実践 食事でカラダがチェンジ
合計				244

庄内検診センター

実施日	実施主体	実施数	担当者	タイトル
1 4月7日	東北東ソー化学株式会社	8	管理栄養士	あなたの健康生活スタート！健康づくりのポイント
2 7月14日	がん総合相談支援センター(ピアサポーター)	15	保健師	あなたの健康のためにできること～振り返ろうがんについて～
3 9月29日	東北東ソー化学株式会社	25	保健師	かしく活かそう 健康診断
4 10月20日	東邦運輸株式会社	10	管理栄養士	健康っていいね！～生活習慣病予防について～
5 2月15日	酒田共同火力株式会社	20	管理栄養士	健康っていいね！～生活習慣病予防について～
6 2月16日	酒田市上下水道部	46	保健師	振り返ろう健診結果～今こそカラダ改善のチャンス！！～
7 2月17日	酒田共同火力発電株式会社	22	管理栄養士	健康っていいね！～生活習慣病予防について～
合計				146

※最上・米沢・南陽検診センターは実施なし

## IV. その他の事業

## (1) 令和4年度山形県がん総合相談支援センター事業報告

山形県からの受託事業として平成29年10月1日から事業を開始した。

目的は、「がん」かも知れないと不安を感じた時から、医療や就労などの様々な悩みについて、気軽に相談できる窓口を病院外に設置し、身近なところでいつでも必要な情報を手に入れられることで、病院では相談しにくい問題を抱えるがん患者やその家族などの不安軽減を図ることを目指す。また、がん体験者の知恵や交流を活かし、がん患者の生活を支援できる体制を構築する。 《受託期間:令和4年度(R4.4.1~R5.3.31)》

### 業務実績

#### 1.相談業務

電話・窓口等によるがんに関する医療、患者等の心理や生活・介護及び就労など様々な相談と情報収集・提供を実施する。また、必要に応じ他病院のがん専門医療者、就労や労働関係の法令を専門としている労働行政等の専門家への紹介や専門家の情報提供、ピア・サポーターを交えての相談を行う。

- 山形検診センターに「がん総合相談支援センター」、庄内検診センターに「がん総合相談支援センター庄内支所」、最上、米沢及び南陽検診センターにもそれぞれ「相談窓口」を設置し、県内全域におけるがん患者等の療養上の相談に対応。

(相談員:国立がん研究センターがん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)知識確認コース修了者17名)

- 相談方法、相談日及び相談時間

##### (1)電話・窓口相談

- 山形県がん総合相談支援センター → 平日(月~金) 午前10時~午後4時  
第1土曜日(4~12月) 午前10時~正午
- 山形県がん総合相談支援センター庄内支所 → 平日(月~金) 午後1時~午後4時  
第1土曜日(4月~12月) 午前10時~正午
- 最上、米沢、南陽検診センター → 平日(月~金) 午後1時~午後4時

##### (2)出張相談

- 医師、相談員が公共施設やイベント会場に設営する相談コーナーで行う

##### (3)専門相談

- 各専門分野の専門家による相談  
相談内容に応じ、随時対応とする  
医師、社労士、ハローワーク、薬剤師、緩和ケア専門看護師、訪問看護師、  
薬剤性脱毛サポート美容師、ピア・サポーター
- 各がん診療連携拠点・指定病院への専門家の派遣

- 相談実績

##### ア. 電話相談及び窓口相談(詳細は表1参照)

相談の種類	山形C	庄内C	最上C	米沢C	南陽C	合計
窓口相談	44件	1件	3件	1件	2件	51件
電話相談	220件	18件	5件	2件	2件	247件

- イ. 出張相談

出張先		相談件数
9月23日	イオンモール天童(健康フェア)	8件
10月8日	イオンモール三川(いきいき健康フェア)	9件

- ウ. 専門相談

開催月	専門相談員(職種)	相談件数
9月	ピア・サポーター	2件
11月	ハローワーク職員(就職ナビゲーター)	1件
12月	ピア・サポーター	1件
12月	薬剤師	1件
2月	社労士(両立支援促進員)	2件

各がん診療連携拠点病院・指定病院への専門派遣 0件

( R4.4月1日～R5.3月31日 )

(表 1)

		件数		件数		
1	相談日時	a)月	4月	22	5月	31
			6月	23	7月	16
			8月	26	9月	29
			10月	38	11月	19
			12月	27	1月	28
			2月	27	3月	29
			b)曜日	月曜日	52	火曜日
			水曜日	65	木曜日	49
			金曜日	74	土曜日	18
		c)時間	午前(10時～12時)	149	12時～13時	26
			午後(13時～16時)	134	16時台	5
				0	時間外	1
	2	対応者	山形	277	庄内	23
最上			8	米沢	3	
南陽			4		0	
3	相談方法	電話相談	247	窓口相談(予約あり・なし)	51	
		出張相談	17		0	
4	相談時間	15分未満	127	15～30分未満	97	
		30分～1時間	67	1時間以上	24	
5	患者受診状況	入院中	18	通院中	223	
		受診医療機関なし	32	不明	9	
		その他(過去入通院歴あり)	33			
6	相談者	a)カテゴリー	本人(付き添いあり・なし)	217	家族・親戚	77
			知人・友人	15	その他	6
		b)性別	男	68	女	247
		c)年齢	20歳未満	0	20歳台	3
			30歳台	17	40歳台	66
		50歳台	67	60歳台	57	
		70歳以上	69	年齢不明	36	
		d)利用回数	初めて	188	2回以上	127
		e)居住地区	村山地区	215	庄内地区	49
			最上地区	11	置賜地区	40
7	相談内容	a)医療情報	がんの治療・検査	40	がんの症状・副作用・後遺症	87
		b)日常生活	医療費・生活費・社会保障制度	23	社会生活(人間関係・仕事・学業等)	18
		c)療養上の問題	不安・精神面の問題	126	在宅医療	8
			食事・服薬・入浴・運動・外出	21	介護・看護・養育について	9
			補完代替療法	8	医療者等との関係	37
			患者・家族等関係	29	友人・知人・職場の人間関係	6
		d)医療関連情報	施設の情報・紹介・転院	27	がん予防・検診	43
	緩和ケア・ホスピスケア	10	セカンドオピニオン	18		
e)その他	患者会(ピア情報)・ピアサポート	23	その他( )	15		
8	対応内容	傾聴・語りの促進	250	助言・提案	243	
		情報提供	157	専門機関などへの連携	13	
		その他( )	0	※情報提供:本人の同意確認(済・未)		
9	相談者の反応	良い反応	310	反応なし	0	
		悪い反応	0	判断不明	5	
		その他( )	0			
10	相談経路	広報(市報)	2	ポスター・パンフレット・機関紙	77	
		インターネット・HP	56	検診センター窓口・検診会場	42	
		医療機関(病院・介護施設)	20	友人・知人	21	
		その他(メディア、公的機関など)	73	不明	24	

## 2.ピア・サポーターの養成及び活動支援

がんを経験された方やそのご家族を対象に、ピア(仲間)として気持ちを共有し支援(サポート)を推進するピア・サポーターを養成し、ピア・サポートについて理解を深めるための研修会を開催した。また、医療機関や患者会と連携しピア・サポーターの派遣や、ピア・サポーターの活動場所の提供としてがんサロン「クローバー」を開催した。令和4年度よりピア・サポーター自身で企画、運営を行うがんサロンの開催について活動支援を行った。

ア. ピア・サポーター養成講座の開催

開催日時	受講者数	内容
R4.8. 28 山形検診センター 庄内検診センター オンライン参加	6名	研修テキスト「ピア・サポーター養成テキスト2020年版」に基づく講義及びロールプレイ 講師 山形県がん総合相談支援センター がん看護専門看護師 松田芳美 氏

イ. ピア・サポーター研修会の開催

開催日時	受講者数	内容
R4.7. 10 『山形県産業創造支援センター』 (庄内センター Web参加)	21名	・講演『傾聴とコミュニケーション』 講師 訪問診療クリニックやまがた 院長 奥山 慎一郎 氏
R4.11.20 『山形県産業創造支援センター』 (庄内センター Web参加)	22名	・講演『よりよいサイバーシップのために』 講師 特定非営利活動法人 がんピアネットふくしま 理事長 鈴木 牧子 氏 ・報告 ピア・サポーター企画がんサロン開催の報告(2グループ)

ウ. ピア・サポート活動場所の提供

- ・山形検診センター「クローバー」・・・7回  
6月9日(木)12名、7月14日(木)9名、8月6日(木)オンライン4名、9月8日(木)10名、  
10月13日(木)9名、11月10日(木)6名、12月8日(木)4名
- ・庄内検診センター「クローバー」・・・6回  
6月9日(木)0名、7月14日(木)3名、9月8日(木)4名、  
10月13日(木)2名、11月10日(木)0名、12月8日(木)0名
- ・ピア・サポーター企画サロン「ともしび」・・・3回  
7月27日(水)6名、9月20日(火)7名、11月24日(木)7名
- ・ピア・サポーター企画サロン「ブランチ」・・・3回  
8月24日(水)11名、10月24日(月)14名、12月12日(月)11名
- ・県立中央病院がんサロン「ひだまり」(ピア・サポーター派遣)・・・3回  
7月8日(金)2名、11月11日(金)1名、2月24日(金)1名
- ・公立置賜総合病院がんサロン(ピア・サポーター派遣)・・・1回  
12月7日(水)2名

### 3.がん検診受診啓発及び広報活動

地域のイベントや検診会場において、がんに関する情報を県民に発信しがん検診の受診啓発を行うとともに、がん総合相談支援センターの業務内容等を広く県民に知らせるためのリーフレットを配布し、同時に相談コーナーを設けがん相談員が相談対応を行った。また、相談支援センターの利用方法について、フリーペーパーや健康ガイドブックへ掲載し周知を行った。



## (2) 若者に対するがん予防支援事業

### 1. 概要

山形県から、がんに関する関心が薄い20代から30代の若者に対し、がんに対する正しい知識やがん予防の普及啓発を行うことを目的とする「若者に対するがん予防支援事業」を受託し、がんに関する健康教育及び検診・検査を併せて受けて頂く取り組みを各検診センターにて行った。

「健康教室とお試し検診・検査」と称し、肺がん検診・胃がんリスク評価・乳房超音波検査の中から選択した希望の項目と大腸がん検診を受診することとした。

検診・検査方法は現在行っている方法を用い、精密検査該当者には医療機関の受診を勧奨した。

### 2. 受診状況

開催日数47日間で590人が参加し、受診者数は大腸がん検診548人、肺がん検診276人、胃がんリスク評価376人、乳房超音波検査370人であった。

#### ① 大腸がん検診

区分	受診者数	便潜血検査結果		精密検査結果				
		異常なし	要精密検査	受診者数 (%)	異常なし	大腸がん	大腸ポリープ	その他の疾患
男性	124	118	6	4 ( 66.7 )	1	0	1	2
女性	424	403	21	13 ( 61.9 )	12	1	0	0
合計	548	521	27	17 ( 63.0 )	13	1	1	2

#### ② 肺がん検診

区分	受診者数	胸部X線撮影結果			精密検査結果		
		異常なし	異常所見認め るが精検不要	要精密検査	受診者数 (%)	異常なし	肺がん
男性	70	68	1	1	1 ( 100.0 )	1	0
女性	206	201	5	0	0 ( )	0	0
合計	276	269	6	1	1 ( 100.0 )	1	0

#### ③ 胃がんリスク評価

区分	受診者数	胃がんリスク評価結果				精密検査結果 受診者数 (%)
		A	B	C	D要精検	
男性	110	87	19	4	0	-
女性	266	224	21	19	2	-
合計	376	311	40	23	2	-

#### ④ 乳房超音波検査

区分	受診者数	乳房超音波検査結果			精密検査結果				
		異常なし	精検不要	要精密検査	受診者数 (%)	異常なし	乳がん	乳腺 良性腫瘍	その他
女性	370	257	98	15	15 ( 100.0 )	0	0	12	3

# V. 論文投稿

## 若者に対するがん予防支援事業の検討

○高橋明香里, 鎌田結香, 佐竹佑紀, 高橋淳子, 後藤敏和, 菊地 惇  
(公益財団法人やまがた健康推進機構)

### 【はじめに】

当機構では, 山形県によるみんなで取り組むがん対策県民運動の一環とした「若者に対するがん予防支援事業」の委託を受け, 平成 29 年度より本事業を実施している. 若い世代の方ががん検診等に興味を持ち健康意識が高まることを目的とした取組であり, 料金は当初ワンコインとし, 令和3年度以降は無料として事業に参加しやすい設定とした. 内容は, 健康教室・大腸がん検診・肺がん検診・胃リスク検査・乳房超音波検査とし, 県内 5 つの検診センターで実施した.

### 【対象と方法】

対象は 20 歳台と 30 歳台の男女の希望者 3,136 名で, 各検診・検査の受診状況は表 1.結果に示す通りである. 検診・検査方法は, 大腸がん検査は免疫学的便潜血反応二日法, 肺がん検診はデジタル胸部 X 線撮影, 胃リスク検査は抗ヘリコバクター・ピロリ抗体価測定およびペプシノゲン測定, 乳房超音波検査は高周波プローブによる超音波断層撮影とし, 通常の検診・検査に用いる方法と同様となる. 健康教室の参加は必須とし, がん年齢に達した際のがん検診受診の意識付けに狙いがあり「一般的ながんの知識について」「がん検診について」「がん予防のための生活習慣」を柱に講話を行った.

実施成績は個人情報情報を消去し個人が特定されないよう集計した.

### 【結 果】

平成 29 年度から令和 3 年度までの延べ人数を(表 1)に示す. 精密検査の受診状況は肺がん検診のみ 100%で, 各項目ともがんの該当者はなく, 大腸がん検診では大腸ポリープや痔など, 乳房超音波検査では良性腫瘍や乳腺症などであった.

(表 1)

項目	受診者数	要精検	精検受診者	異常なし	がん	がん以外
健康教室	3,136	-	-	-	-	-
大腸がん検診	1,856	101 5.4%	72 71.3%	53	0	19
肺がん検診	1,158	6 0.5%	6 100%	4	0	2
胃リスク検査	2,144	8 2.4%	5 62.5%	2	0	3
乳房超音波検査	1,737	96 5.5%	82 85.4%	4	0	78

### 【考 察】

精密検査について, 肺がん検診以外は 100%に達しない受診率であった. 健康教室では, 異常が指摘された場合には精密検査が重要なこと, 今回精密検査該当者のうち精検結果が確認できない受診者には電話で勧奨を行なうことを説明し, 後日未確認の受診者へ電話で勧奨を行った.

本支援事業は, 若い世代ががん検診に興味を持ち, がん年齢に達した際に検診受診の行動につながるよう健康意識の向上を目的としている. そのため, 今回の対象者が, 検診該当年齢に達した際に検診受診の行動につながり, 異常が指摘されれば精密検査を 100%受診することが本支援事業の効果を評価するものであるため追跡が今後の課題と考える.

検診結果については, 精密検査結果ではがん以外の該当はあったが, がんについては該当がなく, がん検診の対象年齢よりも若年であるためとみられる.

項目について, 胃リスク検査および乳房超音波検査は市町村で実施している対策型の検診には用いられておらず, 今後検討が必要と考える.

### 【まとめ】

本事業の参加者にはがん年齢を迎える前にはがんや検診について理解を深めて頂く機会を提供できたと考えるが, 精密検査の受診率については課題が残るものであった.

今回の対象者ががん検診の該当年齢に達した際の受診状況を, 事業の非対象者と比較するなどの評価が今後の健康教育の進展に資すると考える.

# 大腸がん検診便潜血検査における2日分検体提出の必要性

○佐藤和佳子, 山田美穂, 植松 勇, 後藤敏和, 菊地 惇  
(公益財団法人やまがた健康推進機構)

## 【目的】

厚生労働省による「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」では、大腸がん検診は免疫学的便潜血検査2日法を実施することとなっており、集団検診のスクリーニング検査として有効性が評価されている。

当機構では2検体提出が困難な場合は後日検体提出を受付し結果を報告している。しかし1日のみの提出にとどまるものがあるため2日分提出の必要性について改めて検証した。

## 【対象および方法】

対象は、令和3年度当機構の大腸がん検診受診者164,323名で、人間ドック、特定健康診査、定期健康診断、協会管掌予防健診が混在する。今回は2日分の提出(以下2日提出)と1日のみ提出(以下1日提出)との違いを把握することとしたため、性、年齢別の検討は行っていない。統計解析は有意水準を0.05とし、個人情報特定できないよう消去して検討を行った。

## 【結果】

表1 実施成績

	受診者数	要精検者	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中度
2日提出	148,282	7,935 5.4% ***	5761	72.6% ***	170	0.11% NS	2.14% NS
1日提出	16,041	670 4.2%	428	63.9%	12	0.07%	1.79%
合計	164,323	8,605 5.2%	6,189	71.9%	182	0.11%	2.12%

実施成績を表1に示す。受診者合計164,323名のうち1日提出は16,041名(9.8%)であった。要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度はそれぞれ2日提出が高率であった。

表2 2日提出の成績比較

	要精検者数	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	陽性反応的中度	結果報告
両日陽性	1,741	1,356	77.9% ***	83	4.77% ***	至急連絡
1日のみ陽性	6,194	4,405	71.1%	87	1.40%	通常連絡

表1の2日提出で要精検となった7,935名の成績を表2に示す。両日陽性は1,741名(21.9%)であった。両日陽性の精検受診率は77.9%と1日のみ陽性より有意に高率で、同じく陽性反応的中度は4.77%と有意に高率であった。

## 【考察】

実施成績(表1)では、2日提出の精検受診率が72.6%に対し1日提出では63.9%と有意に低率であると共に、がん発見率は1日提出が0.07%と明らかな有意差は認められないものの低率であったことから精密検査の受診意識を高める必要がある。

2日提出の成績比較(表2)では、両日陽性の陽性反応的中度は4.77%と1日のみ陽性の1.40%より有意に高率である。この傾向は当該年度のものに限ったものではなく、両日陽性者は精検勧奨を強く行うため当機構では結果を至急連絡し対応しており2日提出の精検受診率は77.9%と有意に高率となっている。

要精検率は(表1)、2日提出は5.4%で1日提出は4.2%と2日提出が有意に高率であることから、未提出の1日分の中に陽性が含まれる可能性があること、またその中には2日提出のがん発見率が高いことから類推するとがん発見の可能性は否定できないことが示唆される。

## 【まとめ】

1日提出または1日のみ陽性からもがん発見があることから、便潜血検査が陽性であれば精密検査が必要であり受診勧奨は重要である。

また、2日提出の両日陽性者は陽性反応的中度が高いことから精検受診の強い動機付けが重要であること、1日提出と比較し2日提出の成績が良好であること、未提出の1日提出に陽性が含まれる可能性が否定できないことから2検体の提出が必要であることを広く啓発していくことが重要となる。

## 軽度認知障害スクリーニング検査の実施成績

○後藤明美, 佐藤ひとみ, 齋藤良範, 後藤敏和, 菊地 惇  
(公益財団法人やまがた健康推進機構)

### 【はじめに】

平成 29 年版高齢社会白書(内閣府ホームページ)による 65 歳以上の認知症患者の推定有病率では, 2012 年の 15%から 2025 年は 20%に増加するとされている。また, 2019 年度には認知症施策推進大綱が閣議決定されており, 具体的な施策の一つに軽度認知障害(以下 MCI)を含む認知機能低下がある人の早期発見・早期対応(二次予防)があげられている。

山形県による認知症施策推進行動計画では, 2025 年に高齢者人口がピークとなるに伴い認知症高齢者の割合は 18.4%と増加の予測がされており, 認知症における予防の推進が施策の柱に新たに追加された。

当機構ではこれらの社会状況を鑑み, 人間ドックの新オプション項目に MCI のスクリーニング検査となる「MCI スクリーニング検査プラス」(以下 MCI 検査)を導入した。本検査は, アルツハイマー型認知症の病態進行に関わる 9 つのタンパク質の血中量を測定し, MCI のリスクを判定する検査である。

### 【対象と方法】

対象は, 令和 4 年度上半期 9 月 30 日までの人間ドック受診者 20,680 名のうち, MCI 検査を希望した 168 名(受診率 0.8%)とした。

MCI 検査の評価は, 低リスクとされる A 評価から, 高リスクとなる D 評価までの 4 段階に分類される。また, 病態進行に関わる 9 つのタンパク質を 4 つのカテゴリー「栄養群」「脂質代謝群」「炎症・免疫群」「凝固・線溶群」に分類し, カテゴリーごとのリスクレベルが 3 段階で評価される。統計解析は有意水準を 0.05 とし, 個人情報特定されない形で性・年齢別に集計し成績を検討した。

### 【結果】

MCI 検査の評価は, A 評価 26 名 15%, B 評価 85 名 51%, C 評価 29 名 17%, D 評価 28 名 17%であった。男女別 D 評価は, 男性 73 名中 8 名(11.0%), 女性 95 名中 20 名(21.1%)で男女間の有意差は認められなかった( $p=0.097$ ) (図 1)。

年齢別判定では, 50 歳以下の世代では, 評価 C、D は認めず, 51 歳以上の世代に評価 C、D を認めた。中リスクの評価 C と高リスクの評価 D は年齢層が高くなるにつれて, 割合が高くなっていた (図 2)。

栄養群は良好 93%・注意 7%・要注意 0%で良好が多くをしめていた。脂質代謝群は良好 51%・注意 43%・要注意 6%、炎症・免疫群は良好 15%・注意 76%・要注意 9%で注意を占める割合が高かった。凝固・線溶群は良好 62%・注意 36%・要注意 2%であった。(図 3、4、5、6)

図1 MCI 結果

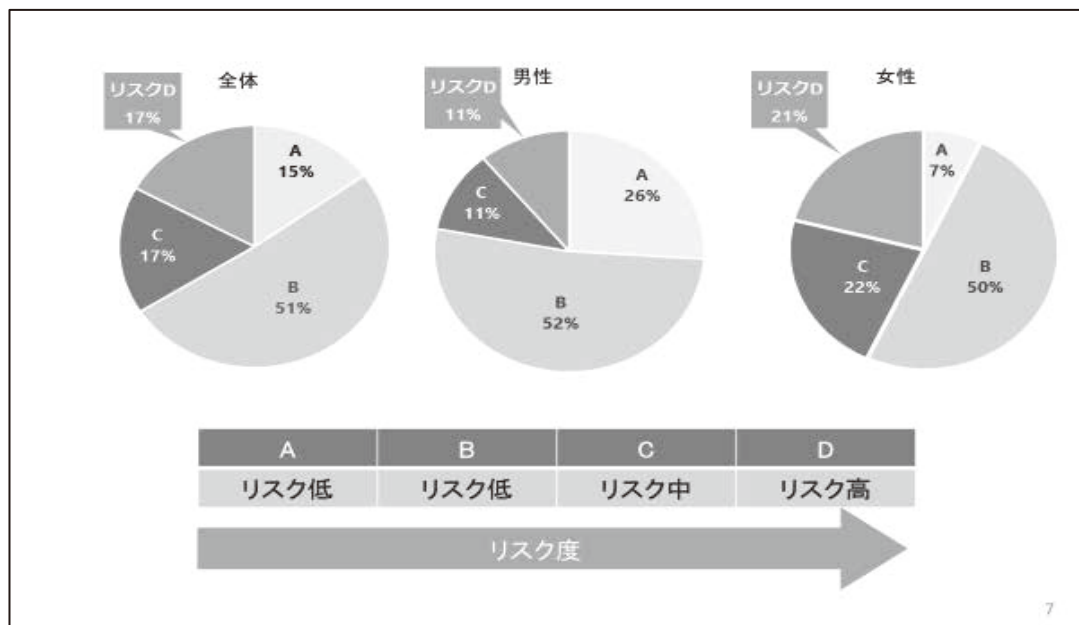


図2 年齢別判定 (全体)

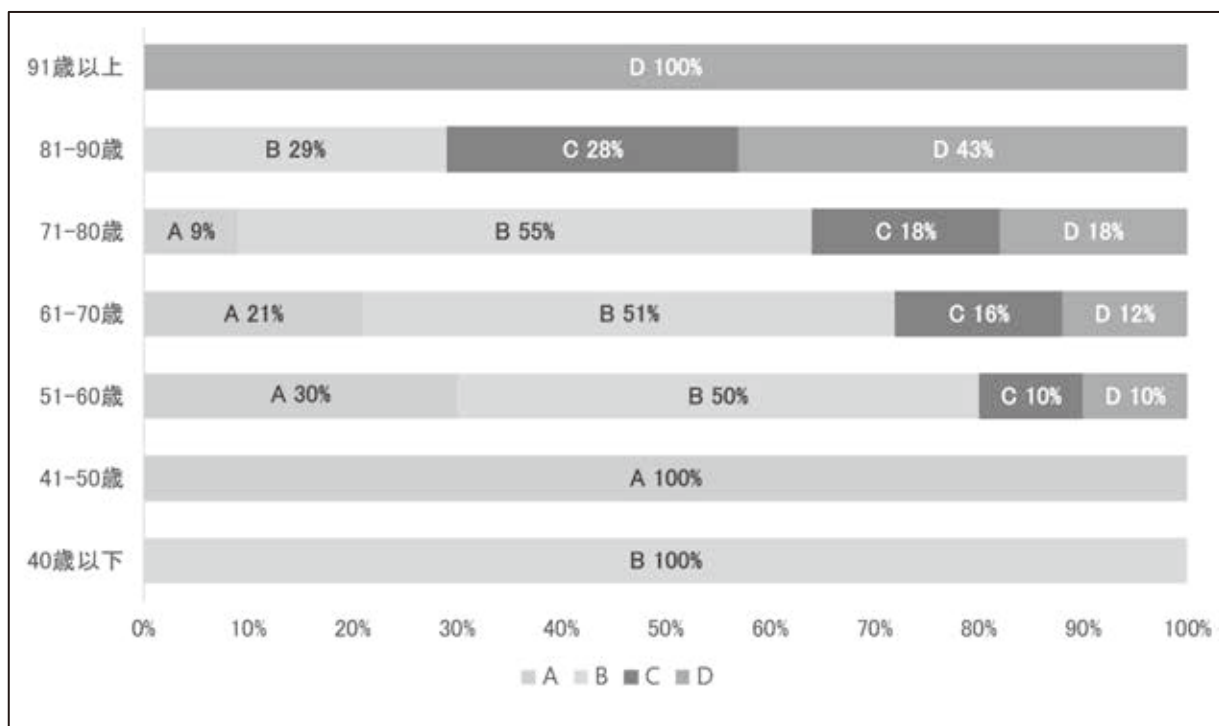




図3 栄養群

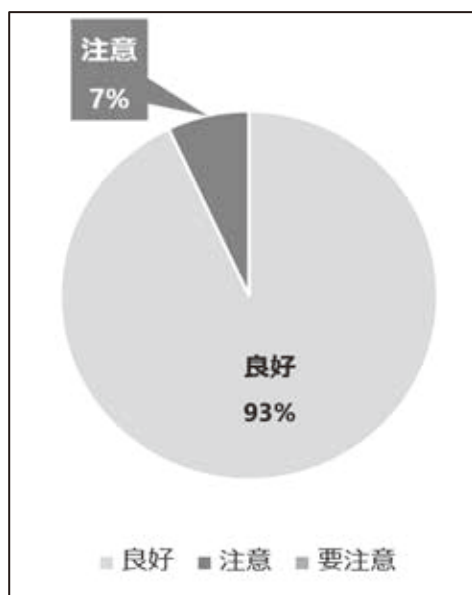


図4 脂質代謝群

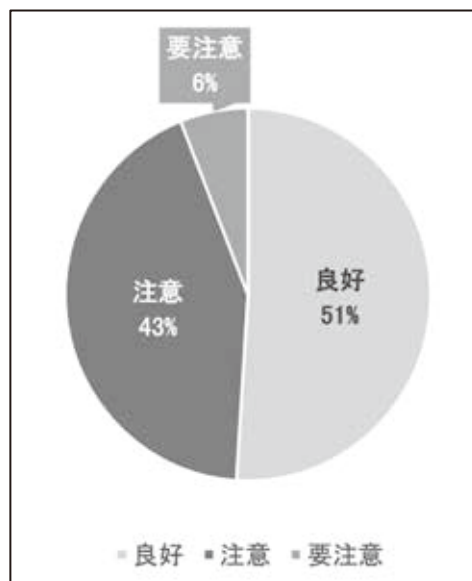


図5 炎症・免疫群

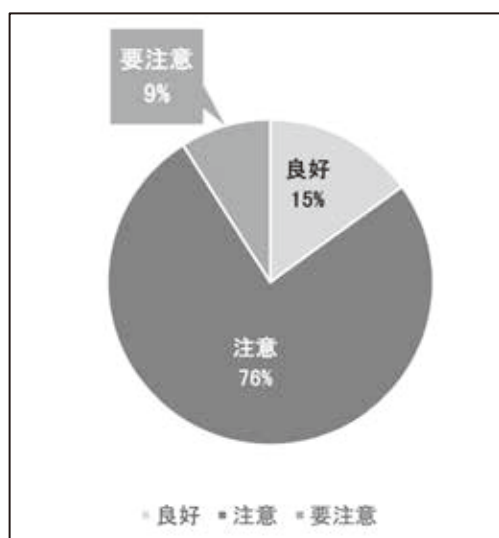
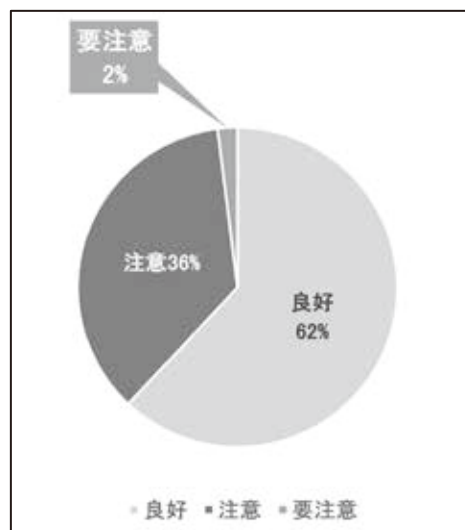


図6 凝固・線溶群



**【考察とまとめ】**

認知症に対し予防や早期発見・早期対応(MCI 含む)が施策の柱とされている。また、高齢者自らも認知症になるのを遅らせることなど予防に向けた取り組みが必要とされている。

認知症が発症した場合は、進行を遅らせたり緩和させたりすることが可能な場合はあるが、根本的な改善は困難とされる。MCIを放置すると認知症に移行するとされており、MCIの段階で適切な対処を行えば30%程度は健康に回復することが可能とされることから、MCI 検査を受診し評価を受けることは、認知症発症予防の強い動機付けとなることが期待される。

## 健診からみた心房細動有病率と治療の状況

齋藤良範 柴田香緒里 安達美穂 後藤明美 阿部明子 庄司久美  
正野宏樹 荒木隆夫 齋藤幹郎 横山紘一 後藤敏和 菊地 惇

### 要約

**目的：**心房細動(atrial fibrillation: AF)は、血栓性脳塞栓症の原因疾患であり予防には抗凝固療法が有用である。高齢者ほど有病率は増加するとされることから、健康診断受診者における有病率および治療の現状を把握し経年推移を検討した。

**方法：**2017年度の受診者175,462(男性86,923, 女性88,539)名の12誘導心電図(心電図)所見から、性・年代別のAF有病率および問診票より治療率を算出した。また、2013年から2017年度まで5年間のAF有病率の推移を検討した。

**結果：**AF有病率は1.13(男性1.81, 女性0.47)%で、加齢に伴い増加し各年代とも男性が高率であった。治療率は、60歳未満55.7%, 60歳代68.8%, 70歳代66.6%, 80歳以上63.9%で、60歳未満で低かった。CHADS<sub>2</sub>スコアが1以上となる75歳以上では65.0%であった。AF有病率の経年推移は、2013年度1.03%, 2014年度1.04%, 2015年度1.10%, 2016年度1.12%, 2017年度1.13%と増加傾向が認められたが、男女別の年齢調整後の有病率には差を認めず受診者の高齢化が原因と考えられた。

**結論：**AF有病率は1.13%で、男性に多く高齢になるほど増加した。60歳未満では未治療者が多く75歳以上でも35%は未治療であり、加療の必要性を啓蒙していく必要がある。

**キーワード** 心房細動, 心電図, 健康診断

### はじめに

心房細動(atrial fibrillation: AF)は、高齢者に多くみられる不整脈疾患である。血栓性脳塞栓症の原因疾患であり、広範囲に脳がダメージを受けることが多く重症化しやすいため予防が重要とされる。

近年、AFの治療はカテーテルアブレーション治療の進歩や、ワルファリンに代わる新規経口抗凝固薬(novel oral anticoagulants: NOAC)登場後のエビデンスが集積され、治療ガイドラインでは脳梗塞の発症リスクをCHADS<sub>2</sub>スコアで評価し、1点以上ではNOACまたはワルファリンによる抗血栓療法が推奨されている<sup>1)</sup>。

AFは、加齢とともに有病者が増加するため、高齢化の進行と相まって増加傾向にあるとされることから、当機構における健康診断データからAF有病率および治療状況を把握するとともに、過去5年の有病率の推移について検討した。

### 対象と方法

対象は、2017年度当機構の健康診断で12誘導心電図(心電図)を行った175,462(男性86,923, 女性88,539)名で、平均年齢は54.5±16.5(男性53.8±16.7, 女性55.1±16.4)歳。健診種別は、人間ドック・定期健康診断・特定健康診査の3種が含まれている。受診者の年齢構成は60歳代が最も多く、次に40歳未満の受診者が多い集団である(表1)。

AF有病者は心電図所見から特定し、性・年代別に比較検討した。AF治療については問診票で申告があるものを治療中として集計したが、薬剤の内容については記載欄がなかったため薬剤の範疇については評価できなかった。また、2013～2017年度にかけて5年間のAF有病率について推移を検討した。

統計学的検討は、比率の比較にはカイ2乗検定を使用し、年齢の比較にはMann-WhitneyU検定



表1 年代別受診者数およびAF有病者(2017年度)

年代		40歳未満	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	合計
受診者数	男性	19711	15534	15858	19279	12251	4290	86923
	女性	17354	15055	16207	21733	13727	4463	88539
	計	37065	30589	32065	41012	25978	8753	175462
AF有病者数	男性	4	20	146	485	598	319	1572
	女性	0	2	11	98	181	121	413
	計	4	22	157	583	779	440	1985
AF有病率	男性	0.02%	0.13%	0.92%	2.52%	4.88%	7.44%	1.81%
	女性	0%	0.01%	0.07%	0.45%	1.32%	2.71%	0.47%
	p値	0.128	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	計	0.01%	0.07%	0.49%	1.42%	3.00%	5.03%	1.13%

p<0.001

を使用しp<0.05を有意差ありとした。統計解析ソフトは、EZR ver1.36(自治医科大学附属病院・附属さいたま医療センター)を用いた。

なお、本研究はヘルシンキ宣言を遵守し、当機構の倫理委員会にて承認が得られている。また、サンプルデータを統計に用いる際には当機構の個人情報保護規定を遵守し、利用目的等を施設内に掲示しデータは受診者を特定する氏名等を消去して検討した。

## 結果

2017年度のAF有病者数は1,985(男性1,572,女性413)名で、平均年齢は72.0±9.1(男性71.3±9.1,女性74.9±8.2)歳であった。AF有病率は1.13(男性1.81,女性0.47)%で、男性の有病率は女性と比較し有意(p<0.001)に高率であった。年代別のAF有病率は、40歳未満0.01%,40歳代0.07%,50歳代0.49%,60歳代1.42%,70歳代3.00%,80歳以上5.03%と加齢に伴い有意(p<0.001)に増加した。40歳以上では、女性と比較

し男性が有意(p<0.001)に高率で加齢とともに顕著となった(表1)。

AF有病者の治療状況は、治療中が1,303名で治療率は65.6%であった。60歳未満は55.7%,60歳代は68.8%,70歳代は66.6%,80歳以上は63.9%で、CHADS<sub>2</sub>スコアが1以上となる75歳以上の治療率は65.0%にとどまっていた(表2)。

受診者の平均年齢は年々漸増し、2013年度53.6±16.0歳、2017年度54.5±16.5歳で5年間に0.9歳有意(p<0.001)に高くなっていた。

AF有病率の年次推移は、2013年度1.03%,2014年度1.04%,2015年度1.10%,2016年度

表2 問診による治療の状況(2017年度)

年代	AF有病者数	治療中	同左率
60歳未満	183	102	55.7%
60~69歳	583	401	68.8%
70~79歳	779	519	66.6%
80歳以上	440	281	63.9%
合計	1985	1303	65.6%
75歳以上 (CHADS <sub>2</sub> =1)	837	544	65.0%

表3 受診者数およびAF有病者の経年推移

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
受診者数	167394	169987	173309	173914	175462
平均年齢	53.6±16.0	53.8±16.2	54.1±16.3	54.3±16.5	54.5±16.5
AF有病者数	1729	1762	1899	1940	1985
AF有病率(%)	1.03	1.04	1.10	1.12	1.13
	p=0.006				
AF平均年齢	70.4±9.4	70.7±9.5	71.4±9.4	71.8±9.4	72.0±9.1
	p<0.001				

1.12%, 2017年度1.13%と増加しており, 5年間で0.10ポイント有意( $p = 0.006$ )に上昇していた。AF有病者の平均年齢は, 2013年度70.4±9.4歳, 2017年度72.0±9.1歳で, この5年間で1.6歳有意( $p < 0.001$ )に高くなっていった(表3)。2013年度と2017年度の受診者について, 各年代別に有病率を比較するといずれの年代も有意な差は認められなかった(図1)。さらに, 2013年度から2017年度にかけて男女別に年齢調整後の有病

率を比較すると, 有意な増加は認められなかった(図2)。

受診者全体に対する75歳以上の占有率は, 2013年度9.5(男性9.2, 女性9.7)%に対し2017年度では11.0(男性10.5, 女性11.4)%で男女とも有意( $p < 0.001$ )な増加が認められた。AF有病者に対する75歳以上の占有率は, 2013年度35.8(男性31.3, 女性51.4)%に対し2017年度では42.2(男性38.9, 女性54.7)%で, 女性には有意

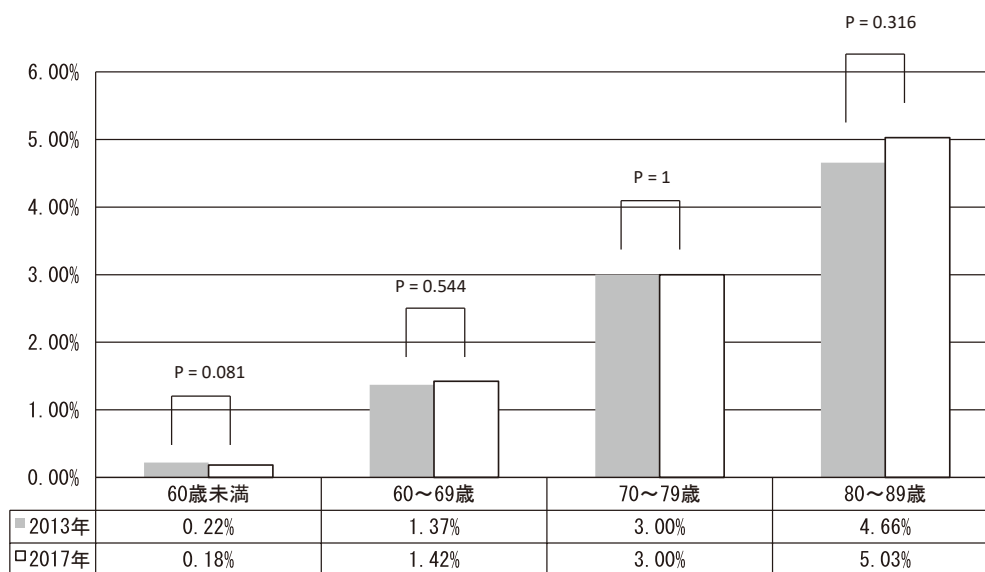


図1 年代別AF有病率の比較(2013年度・2017年度)

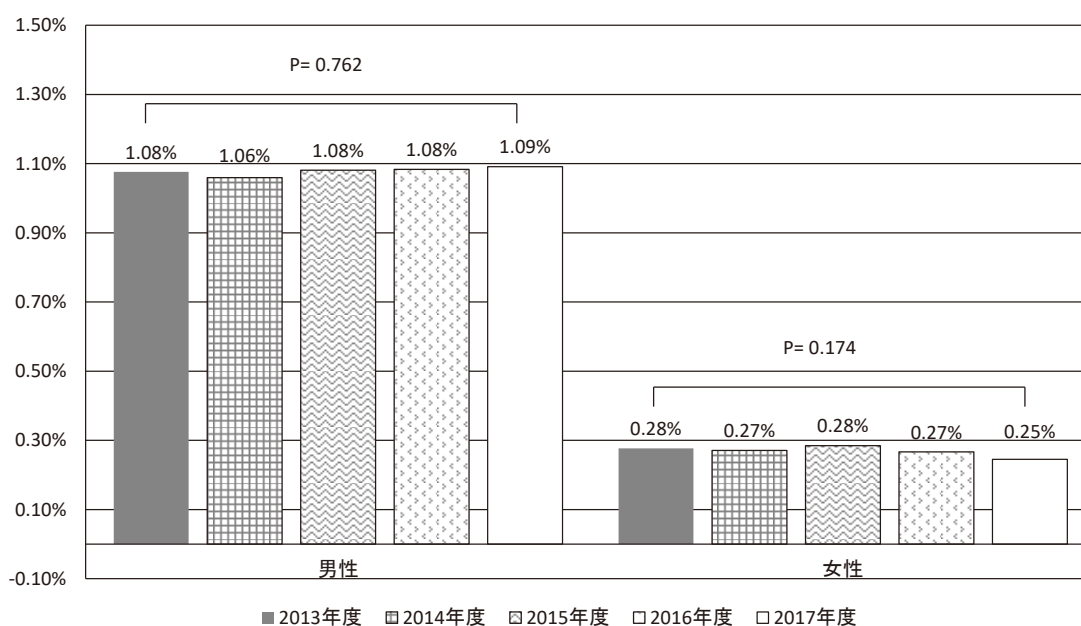


図2 AF有病率の経年変化(年齢調整)

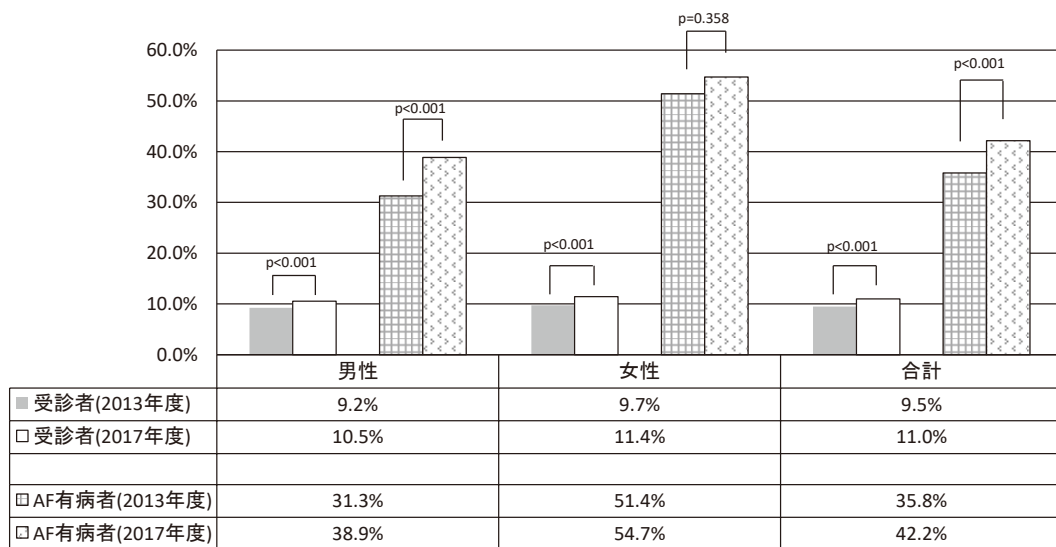


図3 受診者およびAF有病者に対する75歳以上(後期高齢者)の占有率

な差は認められないが男性では有意( $p < 0.001$ )な増加が認められた(図3)。

## 考察

今回の検討の対象者は、職域の定期健康診断も含んでおり40歳未満が全体の21.1%(37,065名)を占めている(図1)。40歳未満にもAF有病者が存在しAF有病率は0.01(男性0.02, 女性0)%であった。40歳以上のAF有病率は、1.43(男性2.33, 女性0.58)%であった。

AF有病率については、無作為に抽出された日本各地の300地区に居住し健康診断で心電図検査を受けた30歳以上の男女5,198名を対象としたコホート調査である2000年の第5次循環器疾患基礎調査(NIPPON DATA)<sup>2)</sup>のデータがある。これによれば30歳以上合計で0.9%, 30歳代0.0(男性0.0, 女性0.0)%, 40歳代0.1(男性0.0, 女性0.2)%, 50歳代0.6(男性0.4, 女性0.7)%, 60歳代0.9(男性1.4, 女性0.5)%, 70歳以上2.7(男性3.5, 女性2.1)%と報告している。

職域の定期健康診断受診者を除外した41,436名を対象とした倉敷市健診データ(2006年)<sup>3)</sup>では、40歳以上合計で1.6(男性2.4, 女性1.2)%, 40~59歳代0.3(男性0.5, 女性0.2)%, 60~70歳代1.5(男性2.3, 女性1.0)%, 80歳以上2.8(男性3.5, 女性2.5)%と報告している。これら2つ

の報告の対象は、今回の検討と同様に健康診断受診者であり、40歳未満を含むAF有病率は、当機構が1.13%, NIPPON DATAが0.9%と近似している。また、40歳以上のAF有病率は、当機構が1.43%, 倉敷市健診データが1.6%と近似している。それぞれ各年齢層において男性の有病率は女性と比較し高率であり、男女とも加齢とともに有病率が上昇する結果であった。

伏見心房細動患者登録研究(Fushimi AF Registry)<sup>4-6)</sup>は、医療機関に通院するAF患者を登録し、患者背景および治療の実態調査や予後追跡を行うもので、2014年までの登録患者数が3,985名で、人口で除して算出したAF有病率は1.4(男性1.7, 女性1.1)%, 70歳代6.0(男性7.1, 女性3.4)%, 80歳代7.6(男性10.5, 女性6.4)%であり、健康診断受診者を対象とした研究と比較し、高齢者で高率となっている。この差は、Fushimi AF Registryが医療機関を受診している症例を主な対象とし、発作性が46%, 持続性が7.3%, 永続性が46.7%の割合となっているのに対し、健康診断受診者については一過性AFが含まれない可能性があることが主な要因と考えられる。

当機構では、山形県健康診査実施要領<sup>7)</sup>の判定基準に準拠した判定を行っているが、2015年度にAFの判定を「要精密検査」から「要医療」に変更しており、加療の必要性を指示する位置付けと

なった。当機構では、心電図でAFを認め問診で未治療の申告があった場合は「要医療」の指示に加えて、必ず医療機関を受診するよう文書により勧奨している。「要医療」に変更される前の治療率は63.8%で変更後は65.7%と有意差( $p = 0.051$ )は認められないものの増加する傾向にあった。2017年度のAF有病者の治療率は、60歳未満では6割に満たず、60歳以上でも7割に満たない治療率であった。脳梗塞発症のリスクを評価するCHADS<sub>2</sub>スコアでは、年齢が75歳以上ではスコアが1点以上となり、NOACまたはワルファリンによる抗凝固療法が推奨される<sup>1)</sup>。AF患者に対する抗凝固療法に関する本邦でのこれまでの報告で、2009年に7,937名を対象としたJ-RHYTHM Registryで、CHADS<sub>2</sub>スコアが2以上では90%以上にワルファリンが投与されていたが、CHADS<sub>2</sub>スコアが0でも75%に投与されていた<sup>8)</sup>。また2012年のFushimi AF Registryでは、CHADS<sub>2</sub>スコアが2のワルファリンを中心とする抗凝固薬の投与は60%未満にとどまり、逆にCHADS<sub>2</sub>スコアが0でも20%以上に抗凝固薬が投与され、抗凝固薬が適切に使用されないことが報告されている。今回の検討では、問診で把握した75歳以上の治療率は65.0%であり、治療薬の内容については検討できていないが、抗凝固薬の投与率は得られた治療率よりもさらに低いことが類推され、NOACが普遍的に使用可能となった今日でも、抗血栓療法が十分になされていない現状が示唆される。

多くの人は、普段の生活を支障なく過ごすことができることや、治療による血栓形成の予防の重要性が認知されていないことなどから、医療機関受診を勧奨されても未受診のまま放置されていることが推察される。

健康診断における心電図の実施対象は、労働安全衛生法に基づく定期健康診断では35歳および40歳以上であるがAF有病率が比較的低い若年・中年が含まれる。特定健康診査は比較的高齢者が多い対象群であるが、当初は基本項目に心電図が含まれておらず、詳細な項目として医師が必要と判断した場合に実施するとされた。しかし当機構では、2015年度以降は特定健康診査を受診する

後期高齢者も心電図を実施しており75歳以上の受診者は年々増加している。

経年的な有病率は年々増加し、2013年度と2017年度では全体では有意な差を認めた。しかし2013年度と2017年度の年代別の有病率は各年代で有病率に差を認めなかった。さらに男女別の年齢調整後の発症率は、5年間で有意な差を認めなかった。Framingham studyの成績では、65歳から84歳の有病率は、1960年代の終わりに比べて1980年代の終わりには男性では約3倍に有意に増加していたが、女性では有意な増加を認めなかった。男性での有病率の増加の要因は明らかではないが、心筋梗塞の予後の改善が関係している可能性を示唆している<sup>9)</sup>。Copenhagen City Heart Studyでは、1976年から1994年までの50歳から89歳までのAF有病率を検討しているが、年齢調整後の発症率は男性では1976年～1978年の1.4%から1991年～1994年は3.3%に有意に増加したが、女性では1.5%から1.1%に減少し有意な変化ではなかった。男性における有意な増加は、合併症、体重、身長を調整した後も同様に認められ、男女の違いの原因は明らかでないとしている<sup>10)</sup>。これら2つの研究は、約20年にわたる経年変化を検討したもので、この間の医学の進歩や社会情勢の変化が男性における有病率の増加にかかわっている可能性がある。

今回の検討は近年の5年間における有病率の検討であり、年齢調整後是有病率の有意な増加はないが、有病者の75歳以上の占有率が男性では有意に増加しており、全体でのAF有病率の増加は後期高齢者の増加に伴う高齢化が要因と推測された。

この検討では、年1回の健康診査受診者を対象としていることから、発作性のAFは含まれない可能性があることや健康診断を受診しないAF有病者がおり、実際よりも低率となっている可能性がある。治療状況については、自己申告による問診票から集計しているため、状況を正しく申告できない受診者が含まれる可能性がある。また、治療薬の内容を検討しておらず、この研究の治療率は抗凝固薬の投与率ではないという制限がある。

## 結 語

健診からみたAF有病率は1.13%で、男性に多く高齢になるほど増加した。60歳未満では未治療者が44.3%と多く、CHADS<sub>2</sub>スコアが1以上となる75歳以上でも35.0%は未治療であった。AFを有する健診診断受診者に対し、治療の必要性を啓蒙していく必要がある。

本論文の要旨は第60回日本人間ドック学会学術大会(2019年岡山市)に発表した。

## 利益相反

本論文に関する利益相反はない。

## 文 献

- 1) 日本循環器学会：循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2012年度合同研究班報告)：心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013年改訂版)。 <http://www.j-circ.or.jp/guideline/index.htm>[2019.4.7]
- 2) Ohsawa M, Okayama A, Sakata K, et al: Rapid increase in estimated number of persons with atrial fibrillation in Japan: an analysis from national surveys on cardiovascular

diseases in 1980, 1990 and 2000. J Epidemiol 2005; 15: 194-196.

- 3) Iguchi Y, Kimura K, Aoki J, et al: Prevalence of atrial fibrillation in community-dwelling Japanese aged 40 years or older in Japan: analysis of 41,436 non-employee residents in Kurashiki-city. Circ J 2008; 72: 909-913.
- 4) Akao M, Chun YH, Wada H, et al: Current status of clinical background of patients with atrial fibrillation in a community-based survey: the Fushimi AF Registry. J Cardiol 2013; 61: 260-266.
- 5) Akao M, Chun YH, Esato M, et al: Inappropriate use of oral anticoagulants for patients with atrial fibrillation. Circ J 2014; 78: 2166-2172.
- 6) 赤尾昌治：心房細動の疫学，common diseaseとしての心房細動。日本内科学会雑誌 2019; 108: 196-203.
- 7) 山形県健康づくり推進課：山形県健康診査実施要領 心電図判定基準。 <https://www.pref.yamagata.jp/kenfuku/kenkou/gan/10090015kenkoushinsayouryouH21.html>[2019.4.8]
- 8) Atarashi H, Inoue H, Okumura K, et al: Present status of anticoagulation treatment in Japanese patients with atrial fibrillation: a report from the J-RHYTHM Registry. Circ J 2011; 75: 1328-1333.
- 9) Wolf PA, Benjamin EJ, Belanger AJ, et al: Secular trends in the prevalence of atrial fibrillation: the Framingham study. Am Heart J 1996; 131: 790-795.
- 10) Friberg J, Scharling H, Gadsbøll N, et al: Sex-specific increase in the prevalence of atrial fibrillation(The Copenhagen City Heart Study). Am J Cardiol 2003; 92: 1419-1423.

(論文受付日：2020.1.16 論文採択日：2020.4.13)



---

## Prevalence of Atrial Fibrillation and Status of Treatment during Medical Check-up

Yoshinori Saito, Kaori Shibata, Miho Adachi, Akemi Goto, Akiko Abe, Kumi Shouji, Hiroki Masano, Takao Araki, Mikio Saito, Koichi Yokoyama, Toshikazu Goto, Atsushi Kikuchi

Yamagata Medical Examination Center, Public Interest Foundation of Yamagata Health Promotion System

### Abstract

**Objective:** Atrial fibrillation (AF) is a causative disease of thrombotic cerebral embolism, and anti-coagulant therapy is used for its prevention. Since the prevalence rate is expected to increase with age, we examined the prevalence rate of AF and current state of treatment in medical check-ups and examined the changes over time.

**Methods:** Based on the findings of 12-lead electrocardiograms (ECG) of 175,462 patients (86,923 males, 88,539 females) in 2017, the treatment rates were calculated from the prevalence of sex and age and by using a questionnaire. We also examined the change in AF prevalence for 5 years from 2013 to 2017.

**Results:** The prevalence of AF was 1.13% (1.81 in males, 0.47 in women) and increased with age. Furthermore, a higher percentage was observed in males at each age. The treatment rates were 55.7% for those below 60 years of age, 68.8% for those in their 60s, 66.6% for those in their 70s, and 63.9% for those aged 80 years and above. In patients aged 75 years or older with a CHADS<sub>2</sub> score of 1 or more, the treatment ratio was 65.0%. The trend of the AF prevalence over time was 1.03% in 2013, 1.04% in 2014, 1.10% in 2015, 1.12% in 2016, and 1.13% in 2017. There was no difference observed in morbidity, probably due to the aging of the examinees.

**Conclusions:** The prevalence of AF was 1.13%, and was found to be higher in males and in older age groups. There are many untreated patients below 60 years of age, and approximately 35% cases above the age of 75 years remain untreated. Therefore, it is necessary to educate patients regarding the need for medical treatment.

**Keywords:** atrial fibrillation, ECG, medical check-up

---

## 過去5年間の当機構の超音波検査実施成績

○佐藤佳子, 齋藤知子, 齋藤良範, 軽部恵子, 鈴木克典

### 【はじめに】

当機構の腹部超音波検査事業を立ち上げたのが平成3年度、当初は1センターのみの実施でした。その後、5センターが足並みを揃えて検査を実施するようになったのが、平成10年度からとなります。今回、機構全体及び各センターの過去5年間の実施成績をまとめる機会がありましたので報告させていただきます。

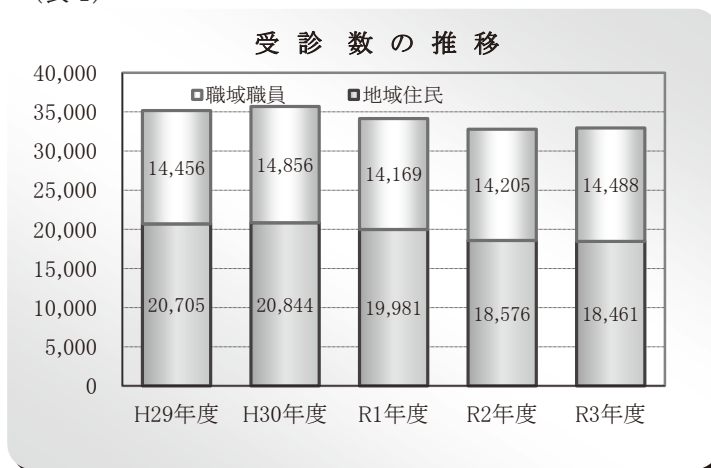
### 【報告】

#### 1. 腹部超音波受診者数の推移(表1)

過去5年間の機構全体の受診者数の推移をグラフで示しております。令和3年度の受診者数は、地域住民 18,461 件、職域職員 14,488 件、機構全体で 32,949 件でした。

平成29年度・平成30年度は受診者数 35,000 件台でしたが、それ以降は減少傾向にあります。近年、人間ドックの受診者数自体が減少傾向にあり、それに伴って超音波検査受診者数も減少していると考えています。また、腹部超音波検査は人間ドックのオプションとして希望した方へ実施していますが、人間ドックから特定健診への切り替えなど検診形態の変更から減少していることも要因と考えます。加えて、コロナ禍の影響も少なからず受けているかと思えます。

(表1)

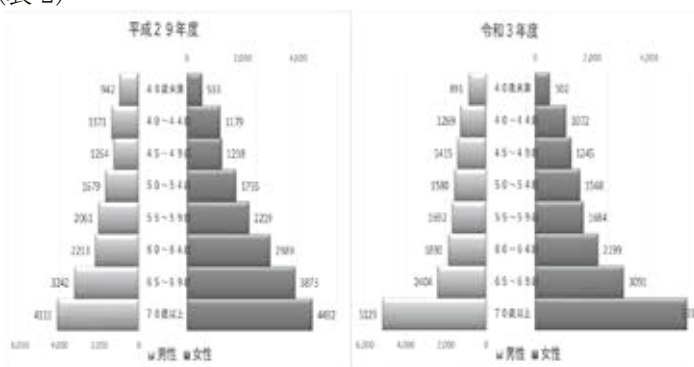


#### 2. 性別および年齢別でみる受診者数の推移(表2)

平成29年度と令和3年度を比較しました。向かって左側が男性、右側が女性を示しております。70歳未満の世代ではほぼ受診者数の減少を認め、特に50歳から60歳代で著しく減少していました。

一方、70歳以上の受診者数は増加を認めました。働き世代での受診者数の減少を認め、受診者の高齢化が進んでいます。

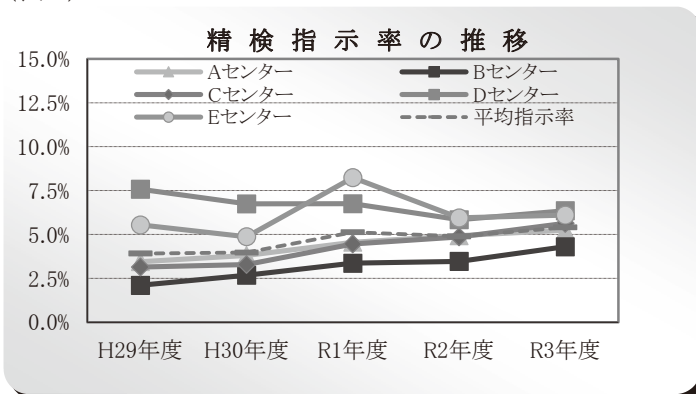
(表2)



### 3. 5センターの過去5年間の精検指示率の推移(表3)

平成29年度は3.9%、その後、右肩上がりに増加へ推移し、令和3年度は5.4%でした。平成29年度は5センター間で低い施設と高い施設との差が5.5%とバラツキがありましたが、令和3年度はその差が2.1%と是正され、全体的な平均値に収束しています。

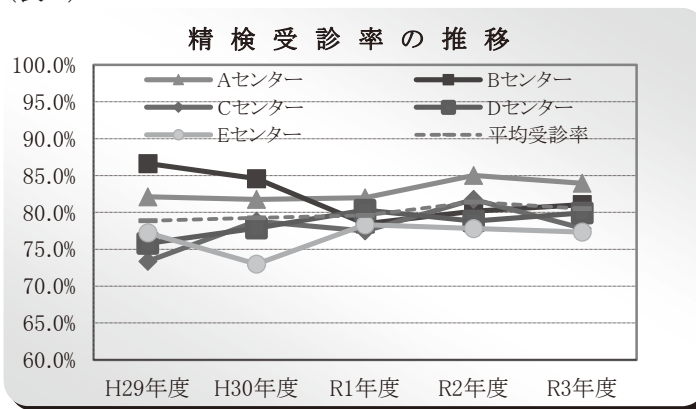
(表3)



### 4. 5センターの過去5年間の精検受診率の推移(表4)

精検受診率は各センターでの増減は認められるものの、過去5年間は80%前後を推移し、令和3年度の全体平均は80.5%でした。

(表4)



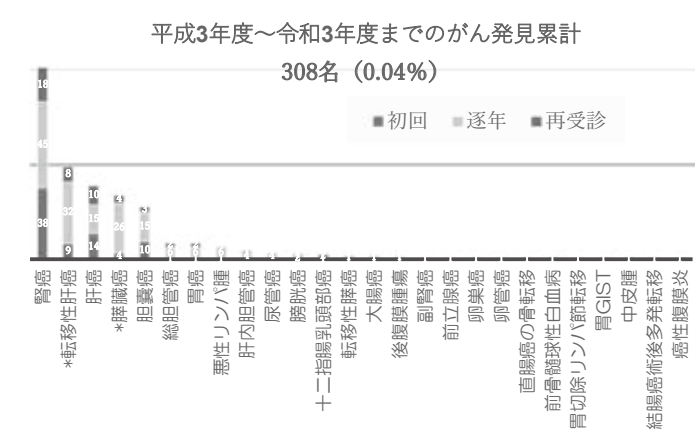
### 5. 平成3年度から令和3年度までの当機構のがん発見累計(表5)

過去31年間のがん発見者数は308名で発見率は0.04%です。

逐年は毎年受診、再受診は毎年ではない受診としました。発見癌の中では腎癌が累計で101件と一番多く、次いで転移性肝癌、肝癌、膵臓癌の順に発見されています。

全体的に逐年受診からの発見が多くなっており、他の癌と比較して、転移性肝癌と膵臓癌は逐年からの発見が有意に多くなっています。

(表5)





ここで、当機構の判定基準について補足させていただきます。

当機構の超音波検査判定基準は、平成 30 年度まで機構独自の判定基準を機構内で腹部超音波検査に関する事項を管轄する超音波検査委員会にて、委員の医師が作成し、それを基準に全センターの判定医師より読影をして頂いておりました。

その後、令和元年からは、平成 26 年度に日本消化器がん検診学会・日本超音波医学会・日本人間ドック学会の 3 学会共通で発表された腹部超音波検診判定マニュアル(2014 年)を主体とした基準を使用し、現在に至ります。

今回新たに同 3 学会から判定マニュアル改訂版(2021 年)が発表されたことを踏まえ、令和 5 年度より改訂版へ完全移行することになりました。

### 6. 総合カテゴリー区分と超音波判定(表 6)

令和 3 年度の結果成績を集計し、術者の総合カテゴリー区分から見た、医師の判定結果を比較しました。

カテゴリー[1] と分類した 99.1%が「異常なし」、カテゴリー[2] [3'] [4']と分類されたのが「要観察」、カテゴリー[3] 及び[4] は「要精査」で最も率が高くなっています。カテゴリー分類と超音波判定が関連した結果となりました。

(表 6)

	受診者数	%	判定結果										
			O:異常なし		A:要観察		B:要再検		C:要精査		D:要医療		
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
総合カテゴリー分類	[0]	9	0.0%	2	22.2%	4	44.4%	0	0.0%	3	33.3%	0	0.0%
	[1]	8,970	27.2%	8,892	99.1%	72	0.8%	4	0.0%	2	0.0%	0	0.0%
	[2]	19,707	59.8%	19	0.1%	19,351	98.2%	177	0.9%	158	0.8%	2	0.0%
	[3']	1,329	4.0%	0	0.0%	1,118	84.1%	122	9.2%	88	6.6%	1	0.1%
	[3]	2,252	6.8%	0	0.0%	742	32.9%	316	14.0%	1,191	52.9%	3	0.1%
	[4']	347	1.1%	0	0.0%	279	80.4%	16	4.6%	50	14.4%	2	0.6%
[4]	335	1.0%	0	0.0%	38	11.3%	7	2.1%	288	86.0%	2	0.6%	
[5]	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	32,949	100.0%	8,913	27.1%	21,604	65.6%	642	1.9%	1,780	5.4%	10	0.0%	

### 7. 臓器別カテゴリー区分(表 7)

良悪性の判定が困難となるカテゴリー[3]では胆嚢・胆道、肝臓、膵臓の順で割合が高く、悪性を疑うカテゴリー[4]では肝臓が多くなっています。

また、描出不能でカテゴリー[0]とされたのは膵臓が最も多く、次いで脾臓でした。今後も体位変換・呼吸による臓器移動も含め間接所見などを注意深く観察すると同時に、担当術者として極力、カテゴリー[0]を低減するように努めることが必要であると考えます。

(表 7)

カテゴリー分類	肝臓		胆嚢・胆道		膵臓		脾臓		腎臓	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
[0]	2	0.0%	26	0.1%	665	2.0%	475	1.4%	6	0.0%
[1]	16,883	51.2%	25,414	77.1%	31,646	96.0%	31,872	96.7%	22,557	68.5%
[2]	14,325	43.5%	5,792	17.6%	44	0.1%	555	1.7%	9,979	30.3%
[3']	556	1.7%	468	1.4%	251	0.8%	16	0.0%	156	0.5%
[3]	601	1.8%	1,218	3.7%	297	0.9%	28	0.1%	235	0.7%
[4']	325	1.0%	6	0.0%	12	0.0%	0	0.0%	5	0.0%
[4]	257	0.8%	25	0.1%	34	0.1%	3	0.0%	11	0.0%
[5]	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	32,949	100.0%	32,949	100.0%	32,949	100.0%	32,949	100.0%	32,949	100.0%

### 【症例提示】

68 歳、女性。 前は 4 年前に受診しており、結果は脂肪肝でした。

肝臓の S5(前下区域)に辺縁低エコー帯を伴う 44mm 大の腫瘍性病変を認めます。内部は高エコー部分と低エコー部分が混在し、モザイクパターンを呈しています。

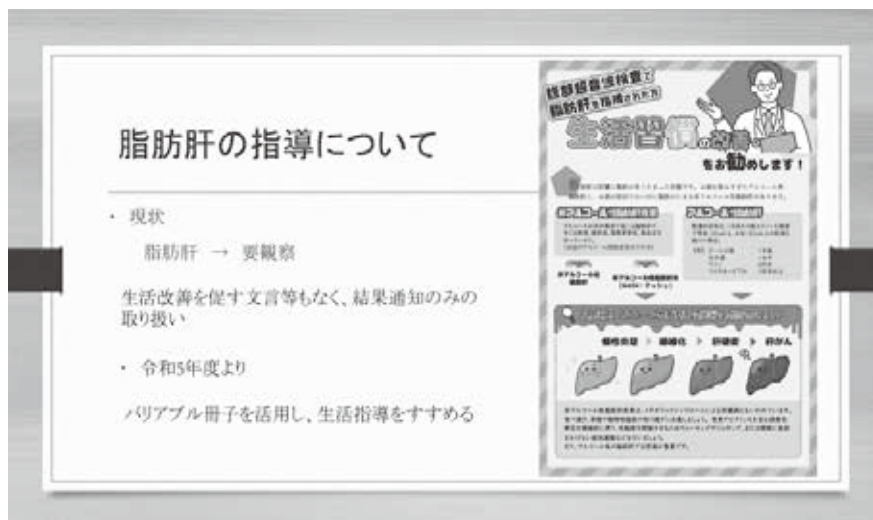
精検施設で腹部超音波検査(再検)やCT及びMRI検査などを行った結果、肝臓がんと診断され、入院し、外科的治療となりました。



この症例のように脂肪肝の一部に NAFLD といった非アルコール性肝疾患が存在し、放置、慢性化などの経過を辿り、線維化や肝硬変を経て肝臓がんになる恐れがあります。それを踏まえて脂肪肝の指導について見直しを図りました。

当機構では現在、超音波検査結果で「脂肪肝」の場合、所見と判定区分のみの結果通知となり、生活改善を促す文言等がなく「異常なし」とほぼ同じ扱いとなっているのが現状でした。

そこで、超音波検査委員会、委員医師から指導をいただき、令和5年度より、個人結果に健康情報等をまとめたバリエーション冊子の中へ、新たに脂肪肝について作成し、掲載することとしました。生活習慣の改善に繋がるように啓発し、これを機会に逐年受診に結び付けば良いと考えています。



令和4年度事業年報

令和6年3月

編集・発行 公益財団法人やまがた健康推進機構

〒990-9581

山形県山形市蔵王成沢字向久保田2220

TEL 023-688-8333